

令和5年 閉会中土木企業立地推進委員会

重点審査テーマ

「安全・安心で快適かつ強靱な  
新時代いばらきの社会インフラのあり方」  
関連資料

～現状、課題及び展開すべき今後の施策～

令和5年8月17日

土 木 部

# 目 次

	頁
○道路をはじめとした社会インフラの整備・維持管理	
・災害に強い強靱な道路ネットワークの構築（道路建設課・道路維持課）	3
・安全・安心で快適な道路環境の確保（道路維持課）	4
○次世代に向けたインフラ整備のあり方	
・インフラ分野におけるDXの推進（検査指導課・河川課）	5

【テーマ】  
道路をはじめとした社会インフラの整備・維持管理  
(災害に強い強靱な道路ネットワークの構築)

# 安全・安心で快適かつ強靱な 新時代いばらきの社会インフラのあり方

担当課 道路建設課、道路維持課

## <現状>

### 1 災害に備えた緊急輸送道路ネットワーク計画

- 緊急輸送道路は、災害直後から発生する緊急輸送（救助、救急、医療、消火活動、物資の供給等）を円滑かつ確実に実施するために必要な道路。
- 主要な交通軸として、高速道路や直轄国道からなる広域道路網及び地域間を連絡する道路を設定。
- また、災害時に主要な役割を担う防災拠点（災害拠点病院、空港、港湾、道の駅、IC等）を重要度により3区分に設定。
- 主要な交通軸を中心に、接続する防災拠点や道路の役割等により3区分のネットワークとして緊急輸送道路（県内延長：約2,700km）を設定。



図1 緊急輸送道路ネットワーク計画図

### 2 本県の緊急輸送道路ネットワークの現状

#### (1) 高速道路

- 県内の4本の高速道路のうち、常磐道、北関東道、圏央道（暫定2車線）が全線開通済み。
- 東関東水戸線の未開通区間及び圏央道の4車線化の整備を実施中。
- 高速道路の利便性が高まるスマートIC（（仮称）つくば、（仮称）つくばみらい、（仮称）笠間PA、（仮称）千代田PA）の整備を実施中。

表1 茨城県内の緊急輸送道路の延長

道路の種類	延長 (km)
高速道路	約300
直轄国道	約300
県管理国道	約1,800
市町村道	約300
合計	約2,700

#### (2) 直轄国道

- 県内の直轄国道の4車線化率は約35%（特に、国道6号は約27%と低い）となっており、慢性的な渋滞により走行速度が低下。
- 国道6号牛久土浦BPや千代田石岡BPなど4路線16箇所バイパス整備や拡幅事業を実施中。

#### (3) 県管理道路

- 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」（令和3～7年度）などの国の補助制度を活用し、バイパス整備や現道拡幅、橋梁の耐震化、無電柱化などによる緊急輸送道路ネットワークの機能強化や長寿命化修繕計画に基づく道路インフラの老朽化対策を実施中。

##### ○幹線道路の整備

- 緊急輸送道路ネットワークの機能強化のため、バイパス整備や現道拡幅（4車線化、交差点改良）などを実施中。

##### ○橋梁の耐震化

- 緊急輸送道路の橋梁の耐震化率は83%となっており、「茨城県橋梁長寿命化修繕計画（耐震補強計画）」に基づき、15m以上の橋梁の耐震補強を実施中。

## <課題>

激甚化・頻発化する自然災害や切迫する巨大地震などの大規模災害に備え、緊急輸送道路ネットワークの更なる機能強化が必要

## <展開すべき今後の施策>

### 1 広域的な幹線道路（高速道路・直轄国道）の整備促進

#### (1) 高速道路

##### 高規格道路のミッシングリンク解消及び4車線化

- 東関東水戸線、圏央道
  - 早期開通に向け、国等に対して整備推進を要望するとともに、国の用地取得等を支援。
- スマートIC、ICアクセス道路
  - 事業中及び検討中のスマートICについて、事業主体の市町村に技術的な助言等の支援。
  - 圏央道アクセス道路整備アクションプランなどに基づき、ICへのアクセス道路となる県管理道路を整備推進。

#### (2) 直轄国道

##### 高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワーク化

- 直轄国道の機能強化について、国に対して十分な予算の確保と整備推進及び未事業化箇所の新規事業化を要望。
- 土地開発公社を活用して用地取得を重点的に支援。

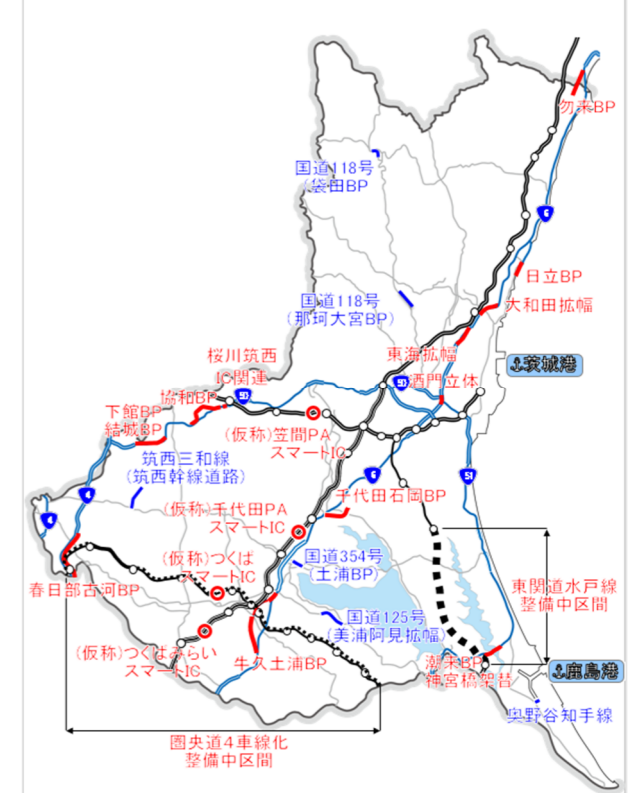


図2 県内の広域的な幹線道路等の整備状況

### 2 県管理道路の整備による緊急輸送道路ネットワークの機能強化

#### (1) バイパス整備



写真1 国道354号土浦バイパス



写真2 県道筑西三和線バイパス  
(筑西幹線道路)



写真3 国道125号美浦阿見拡幅



写真4 県道奥野谷知手線  
(交差点改良)

#### (2) 現道拡幅



写真5 国道408号長豊橋  
(橋梁耐震化)



- 「5か年加速化対策」予算も最大限に活用し、緊急輸送道路ネットワークの機能強化及び道路インフラの老朽化（長寿命化）対策等の防災・減災、国土強靱化の取り組みの加速化・深化を図る。
- 国に対して継続的かつ十分な予算確保を要望。

<現状>

1 茨城県内の道路状況

- ・本県は、約4,100kmの道路を管理しており、近年、路面補修や除草、交通安全に関する住民要望が年々増加。
- ・本県の特徴として、可住地面積が広く中小都市が分散しているため、産業面、生活面ともに道路交通への依存度が高いことから、道路の適切な維持管理を行い、道路環境の安全性や快適性を保つことが重要。

表1 茨城県における道路延長

道路の種類	道路延長	
	実延長(km)	全国順位
高速道路	約 300	18
直轄国道	約 300	22
県管理国道	約 4,100	12
市町村道	約 50,900	2
<合計>	約 55,600	2

2 安全・安心な道路環境の確保に向けた主な取り組み

(1) 県管理道路における日常管理

- ・県内全域の管理路線すべてを月2回定期的にパトロール。
- ・大雨や台風などの異常気象発生時に緊急的なパトロールを実施。
- ・県管理道路における道路除草については、原則年2回実施。
- ・通行に支障があると判断される場合に緊急的な除草を実施しているほか一部区間においては、道路ボランティアによる維持管理を実施。
- ・街路樹などの道路植栽についても、植生状況を勘案しながら、剪定等を適宜実施。



写真1 日常管理の状況

表2 グループ別管理水準の考え方

※ MCI	大型車地域特性	グループ1	グループ2	グループ3	グループ4	グループ5
		1,000台以上	500~1,000台	250~500台	250台未満 平地	250台未満 山地
2.0未満		打換え系				OL系
2.0以上 2.5未満		打換え系				OL系
2.5以上 3.0未満		オーバーレイ(OL)系				表面処理工法系 (シール・パッチング等)
3.0以上 3.5未満		オーバーレイ(OL)系				
3.5以上 4.0未満		オーバーレイ(OL)系				
4.0以上 4.5未満		オーバーレイ(OL)系				
4.5以上 5.0未満		日常管理				
5.0以上		日常管理				

※MCI・・・「ひび割れ率」「わだち掘れ量」「平坦性」の3要素より舗装の状態を総合的かつ定量的に評価する指標



写真2 歩道整備の対策例 (左: 対策前、右: 対策後)

(3) 通学路の安全対策

- ・各市町村で策定している「通学路交通安全プログラム」や令和3年6月に発生した千葉県八街市の事故を受けた通学路合同点検結果に基づき、安全対策を実施。

<課題>

- 1 限られた維持管理費で効率的・効果的に維持管理を実施することが必要。
- 2 通学路の安全対策については、歩道整備等において、用地状況などにより時間を要する場合、対策完了までの、安全確保が必要。

<展開すべき今後の施策>

1 効率的・効果的な維持管理の実施

- (1) 防草対策など維持管理費の縮減
  - ・新設道路における防草タイプ製品の使用や、供用済みの道路における中央分離帯などのコンクリート被覆や防草シートの設置など、防草対策の推進による除草の効率化。
  - ・安全な歩行者空間の確保を目的に、地元住民との合意形成や、地元自治体のまちづくりの方針を踏まえ、え高木化・老朽化した街路樹の伐採。



写真3 防草対策の実施例

(2) 維持管理支援システムの利用促進

クラウド上で受発注者間の情報共有が可能で行政相談内容や維持補修履歴などを一元管理することができる「維持管理支援システム」の利用促進。



写真4 安全な歩行空間の確保事例

(3) 舗装修繕における新技術の活用

茨城県舗装維持修繕計画に基づく計画的な舗装修繕を着実に実施するとともに、新しい舗装材料を試験的に施工し、経済性や有効性を検証中。

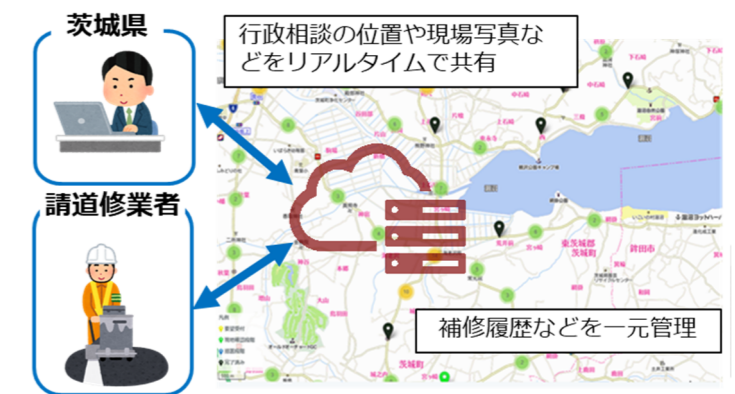


図1 維持管理支援システムイメージ

2 通学路における即効性のある対策の実施

歩道整備等について、用地取得を伴うなど対策完了までに時間を要する場合は、路面標示などの即効性のある対策を行うことにより、通学路における安全安心な通行空間を確保。



写真5 即効性のある対策の実施例 (左: 路肩カラー化、中央: 防護柵設置、右: 注意喚起看板設置)

表3 舗装における新材料の例

通常舗装	ひび割れ抑制シート	本TM-改質As(リフレクションック抑制)	ポリマー改質As(中温施工)
再生密粒度As	ひび割れ抑制シート+再生密粒度As	次世代長寿命改質As7766	中温ポリマー改質Asアスファルト
道路整備時の舗装	リフレクションックを抑制As舗装補強材	ひび割れに強いAs リフレクションックを抑制	高冷時期の施工に対応 初期ワレクション、わだち掘れ抑制
表層(再生密粒As)			
基層(再生粗粒As)			

<現状>

1 社会・経済活動を支えるインフラと建設業

・「平成 27 年関東・東北豪雨」や「令和元年東日本台風」、「令和 5 年梅雨前線による大雨及び台風第 2 号」など、近年、自然災害は頻発化・激甚化していることから、県民の生命・財産を守り、企業の経済活動や日常生活を支えるインフラの強靱化の必要性は、ますます高まっている。

・一方で、インフラ分野を取り巻く現状は、建設業就業者数の減少に加え、高齢化や担い手不足が進行している。



令和5年6月 梅雨前線等による豪雨  
(法面崩壊箇所の応急復旧)

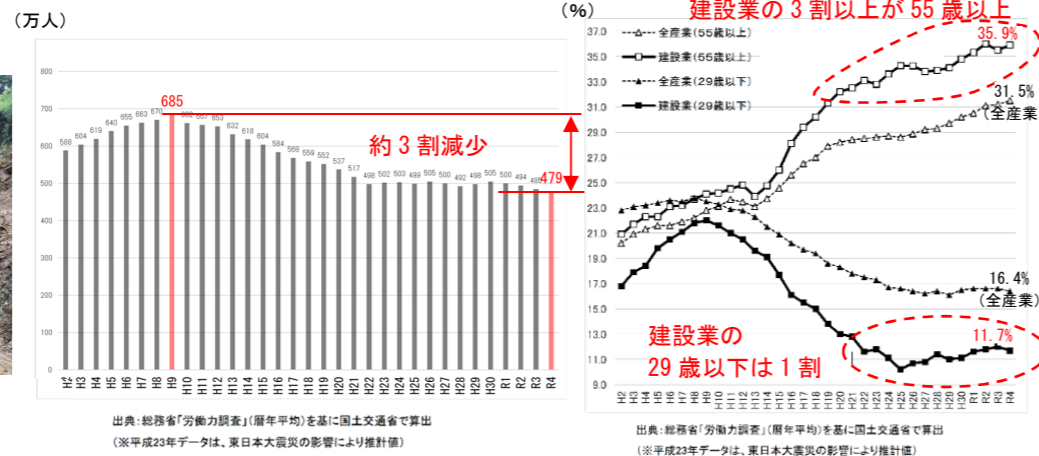


図1 建設業における就業者数の推移

図2 各産業における年齢別就業人口の推移

・さらに、建設業界における時間外労働の上限規制の適用、いわゆる『2024年問題』まで8カ月を切り、建設業における働き方改革は待ったなしの状況。

2 インフラ分野のDX

・i-Construction（建設現場の生産性向上を主目的とした取組）に加え、インフラ分野のDX（デジタルトランスフォーメーション：業務、組織、プロセス、働き方などの変革を目的とした取組）を推進。

・これまで、導入コストを抑えたICTの活用「チャレンジいばらき簡単活用型」を実施するなど、中小企業のICT機器導入を促進。

・さらに、建設現場の生産性向上を図るため、県発注工事においては、令和5年度から情報共有システム及び遠隔臨場を原則実施とするなど、ICTの活用100%を目指す。

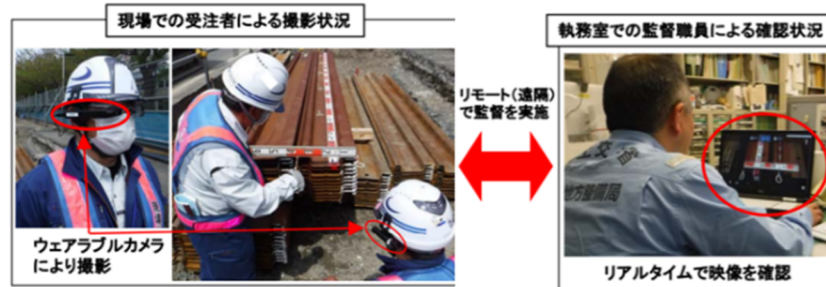


写真2 遠隔臨場の活用イメージ



写真3 ドローンによる施設点検  
(岸壁の状況をカメラで確認の様子)

<課題>

○ 将来の担い手不足への対応や建設業における働き方改革を推進するためには、調査設計、施工、維持管理の全てのプロセスにおいて、デジタル技術を活用した生産性の向上が必要。

<展開すべき今後の施策>～デジタル技術の活用による生産性の向上～

調査設計

【測量作業の効率化・設計の可視化】  
・ドローンの活用  
・オンライン電子納品（試行）  
・3次元設計データによる成果の普及

【さらなる効率化・可視化】  
・3次元モデルの活用（BIM/CIM）

○設計の可視化を推進（3次元設計データで現場を見える化）

・2次元図面では、土工事の擦り付け処理、複雑な配筋や配管の設計において、現場との不整合が生じる場合がある。

↓

・3次元設計データを作成することで、完成イメージを可視化し、設計での細かなミスを防止するとともに、関係者間でイメージを共有し易くする。

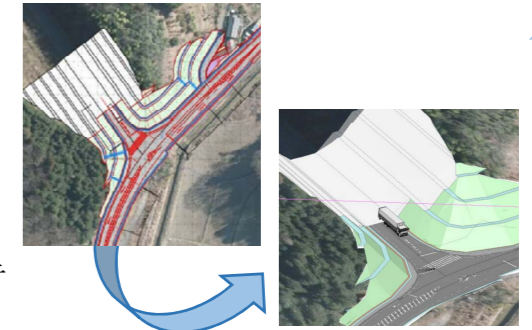


図3 平面図（2次元）と3次元設計データ

施工

【現場作業の効率化・安全性の向上】  
・遠隔臨場  
・情報共有システム  
・ICT機器の活用促進

【さらなる効率化・安全性の向上】  
・無人化、遠隔施工  
・遠隔監視で完成検査  
・AIを活用した工程管理

○現場作業の効率化・安全性の向上を推進

・土工におけるこれまでの重機操作は、物理的な目印（丁張、水糸等）により施工目標を設置した上で、補助作業員と連携しながら施工。

↓

・3次元設計データを活用し、ICT機器により施工することで、物理的な目印の設置が不要になり、工期が短縮されるとともに、補助作業員も不要となることから、省人化や安全性の向上にも寄与。



写真4 3次元設計データによる土工

維持管理

【維持管理の効率化】  
・点検作業の効率化（ドローン）  
・AIで流入量予測  
・ダム遠隔支援システム

【さらなる効率化】  
・AIの活用（舗装・橋梁診断など）

○維持管理の効率化を推進（ダム遠隔支援システム）

・これまで、各ダム管理事務所に配置された高度な技術力を有する熟練の職員により、洪水の都度、放流量を判断し、ダムゲートを操作。

↓

・今後は、AIを活用してダムへの流入量を予測するとともに、カメラ中継により、ダムへの流入状況等を県庁・土木事務所とダム管理事務所がリアルタイムで確認することで、ゲート操作時の判断を支援。



図4 ダムゲート操作支援（イメージ）

令和5年 閉会中土木企業立地推進委員会

令和5年市町村要望及び対応状況等資料

令和5年8月17日

土 木 部

## 令和5年市町村要望 第1順位事項一覧

説明	市町村	頁	第1順位要望	担当課	事務所
	水戸市	3	都市計画道路中大野中河内線の整備促進	道路建設課	水戸
	日立市	6	一般国道245号(久慈大橋、日立港区北拡幅事業)の早期完成	道路建設課	高萩
○	土浦市	8	県道土浦港線(都市計画道路荒川沖木田余線)の整備促進	道路建設課	土浦
	古河市	10	一級河川女沼川の整備促進	河川課	境
○	石岡市	12	一般県道飯岡石岡線バイパスの整備促進(幸町・田島下線含む)	道路建設課	土浦
○	結城市	14	一級河川田川改修の整備促進	河川課	筑西
	龍ヶ崎市	16	主要地方道美浦栄線バイパスの整備促進	道路建設課	龍ヶ崎
	下妻市	18	国道125号(下妻・八千代バイパス)の早期着工	道路建設課	常総
○	常総市	20	鬼怒川ふれあい道路(取手豊岡線バイパス)の整備促進	道路建設課	常総
	常陸太田市	22	国道293号常陸太田東バイパスの整備促進	道路建設課	常陸太田
	高萩市	24	2市連絡幹線道路整備事業及び都市計画道路安良川赤浜線(3・5・9)整備事業の促進	道路建設課	高萩
	北茨城市	26	一般県道高萩塙線(2市連絡幹線道路)の整備促進	道路建設課	高萩
	笠間市	28	一般県道稲田友部線の整備促進(現道拡幅(歩道整備)・バイパス整備)	道路建設課・道路維持課	水戸
	取手市	30	一級河川相野谷川改修事業の早期完成	河川課	龍ヶ崎
	牛久市	32	国道408号歩道狭小箇所の拡幅整備促進	道路維持課	龍ヶ崎
	つくば市	34	一般国道125号バイパスの整備促進	道路建設課	土浦
○	ひたちなか市	36	一級河川中丸川河川改修の促進	河川課	常陸大宮
	鹿嶋市	38	主要地方道茨城鹿島線(都市計画道路宮中佐田線)の早期完成及び延伸計画の実現	道路建設課	潮来
	潮来市	40	一級河川前川の景観・環境・水質浄化に配慮した河川改修の整備促進	河川課	潮来
	守谷市	42	都市軸道路(野田牛久線)利根川渡河部の整備促進、小貝川渡河部の早期完成	道路建設課	龍ヶ崎
○	常陸大宮市	44	国道123号の整備及び那珂川大橋架替の促進	道路建設課	常陸大宮
	那珂市	46	国道118号の4車線化事業の促進	道路建設課	常陸大宮
	筑西市	48	主要地方道筑西つくば線バイパスの整備促進	道路建設課	筑西
	坂東市	50	主要地方道結城坂東線バイパス(都市計画道路沓掛橋岩井線)の整備促進	道路建設課	境
	稲敷市	52	国道125号バイパスの整備促進(桜川・東地区)	道路建設課	龍ヶ崎
	かすみがうら市	54	一般県道牛渡馬場山土浦線の歩道整備促進	道路維持課	土浦
	桜川市	56	一般県道東山田岩瀬線整備事業促進	道路建設課	筑西
○	神栖市	58	県道深芝浜波崎線拡幅整備(波崎消防署付近)	道路建設課・道路維持課	潮来
	行方市	60	主要地方道水戸神栖線の整備促進	道路建設課・道路維持課	鉾田
	鉾田市	62	一般県道大竹鉾田線(バイパス)の整備促進	道路建設課	鉾田
○	つくばみらい市	64	主要地方道つくば野田線の整備促進	道路建設課	土浦
	小美玉市	66	主要地方道玉里水戸線バイパスの整備促進	道路建設課	水戸
	茨城町	68	主要地方道大洗友部線(駒渡～小鶴)の整備促進	道路建設課	水戸
	大洗町	70	都市計画道路「吉沼磯浜線」の早期事業化	道路建設課	水戸
	城里町	72	国道123号バイパス(那珂川大橋架替事業含む)の整備促進	道路建設課	水戸
	東海村	74	「国道245号久慈大橋」の4車線化に向けた整備促進	道路建設課	常陸大宮
	大子町	76	一級河川久慈川の改修促進	河川課	大子
○	美浦村	78	国道125号バイパスの整備促進	道路建設課	龍ヶ崎
	阿見町	80	主要地方道土浦龍ヶ崎線バイパス(都市計画道路阿見・小池線)の整備促進	道路建設課	龍ヶ崎
	河内町	82	主要地方道取手東線生板バイパス整備促進	道路建設課	龍ヶ崎
	八千代町	84	国道125号(下妻・八千代バイパス)の早期着工	道路建設課	常総
	五霞町	86	一般県道西関宿栗橋線の歩道整備	道路維持課	境
○	境町	89	国道354号境岩井バイパス及び古河境バイパスの整備促進	道路建設課	境
	利根町	91	一級河川新利根川河川改修の整備促進	河川課	龍ヶ崎

※各市町村の要望書は令和5年6月1日時点のものです。

## 【要望の種類】

- 道路の整備(37市町村)
- 河川・海岸の整備(7市町)

# 要 望 書

水戸市長 高橋 靖

## 1 要望事項

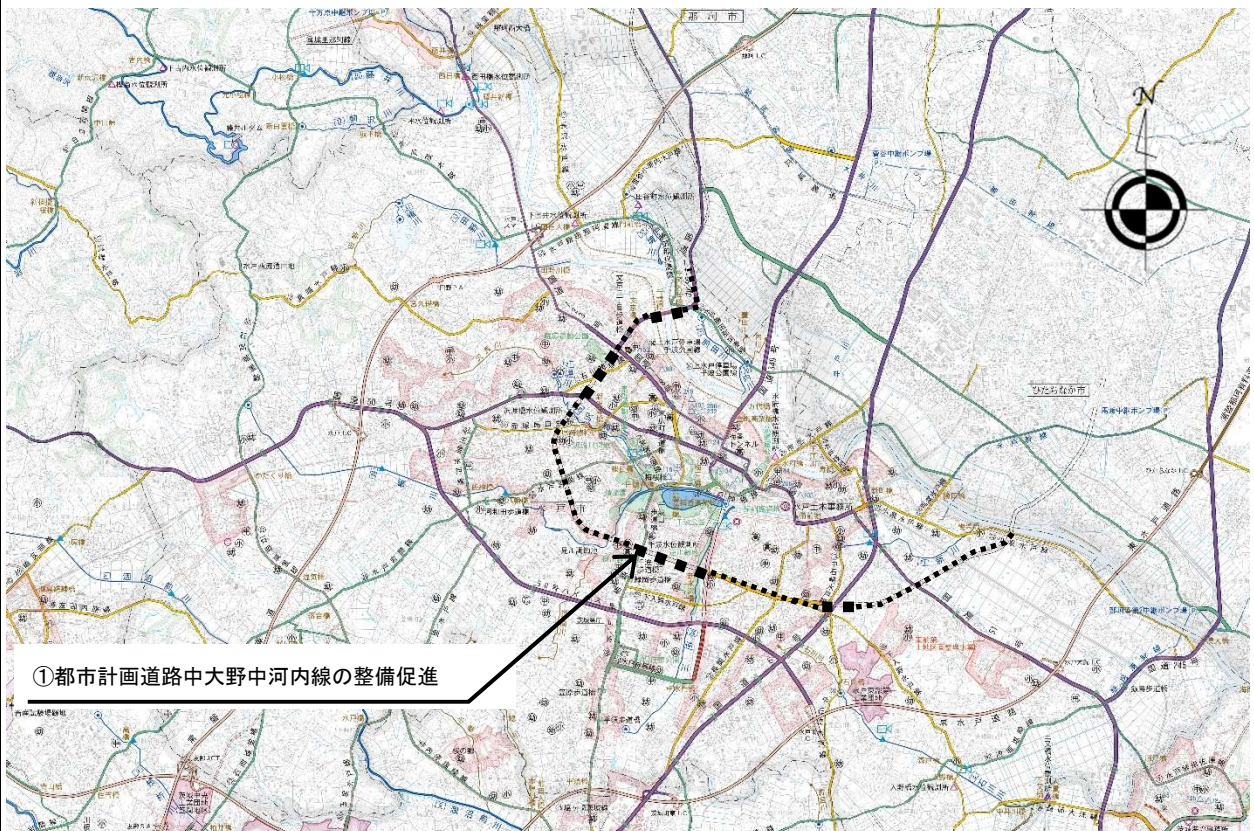
都市計画道路3・3・2号中大野中河内線

## 2 要望主旨

水戸市の道路体系は、中心市街地に主要な国県道が集中していることにより交通混雑が発生しており、その解消を図るための道路として水戸・勝田環状道路の一部である都市計画道路3・3・2号中大野中河内線の整備が急務となっております。この路線は、水戸市、ひたちなか市及び那珂市を広域的に連絡する路線であり、地域間交通体系の強化や中心市街地に集中する自動車交通の分散による渋滞緩和にとって非常に重要な性格を有しております。

このような中、茨城県と水戸市では役割分担し、それぞれ連携を図りながら整備を進めているところでありますので、引き続き、早期完成に向け一層の整備促進が図られますよう要望いたします。

## 3 位置図





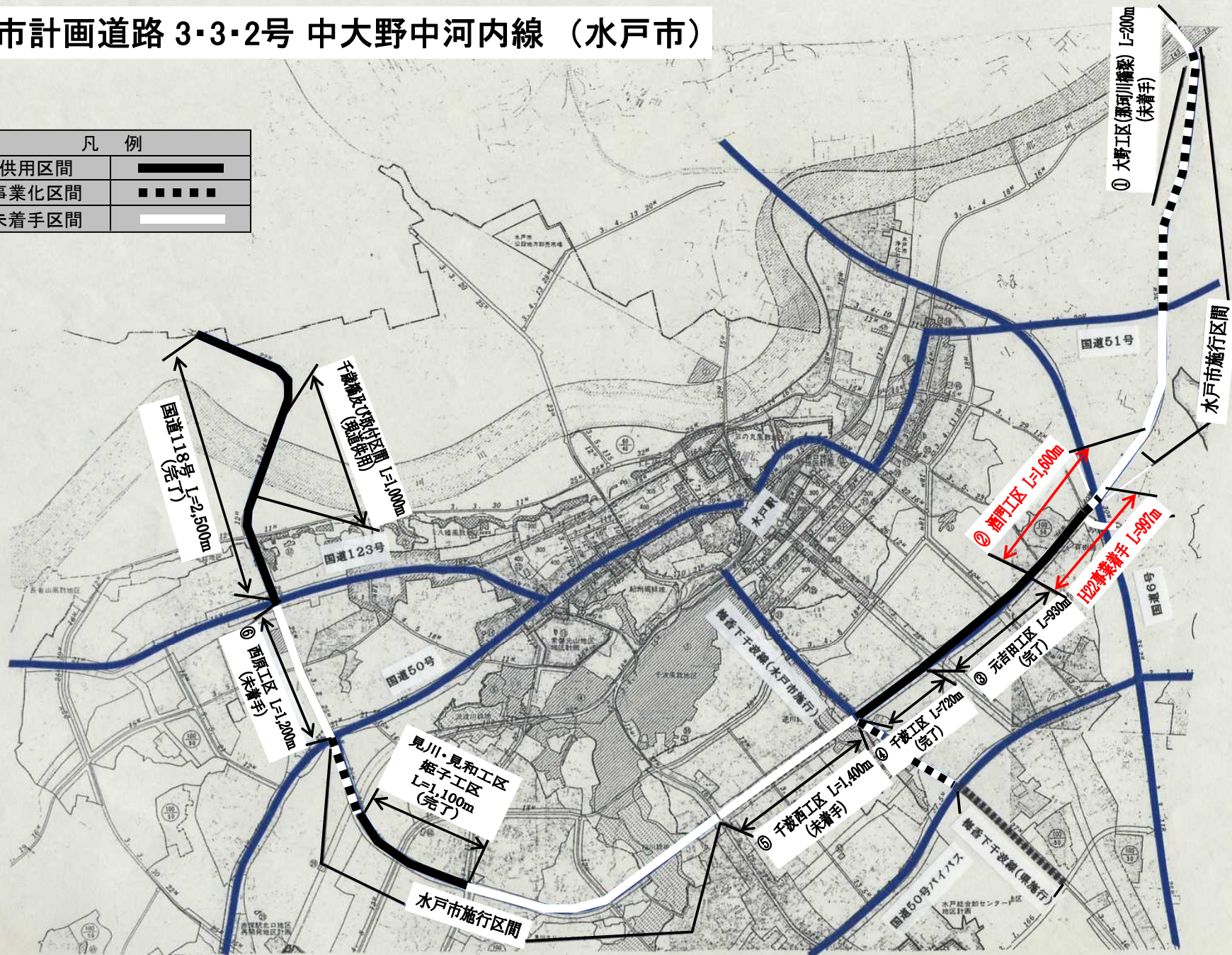
# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	水戸市
要望事項	都市計画道路中大野中河内線の整備促進
現況	本路線は、水戸市、ひたちなか市及び那珂市を広域的に連絡する水戸勝田環状道路の一部を構成しており、中心市街地の渋滞緩和や都市間の連携強化等に多大な効果が期待される幹線道路であることから、県と水戸市が役割分担して整備を進めている。
対応状況	<p><b>【概要】</b>            全体計画（県施工区間） 合計延長：8,550m</p> <p>H11年度供用 「元吉田工区」 延長 930m            H13年度供用 「国道118号区間」 延長 2,500m（うち現道共用1,000m）            H21年度供用 「千波工区」 延長 720m            現在事業中 「酒門工区」 延長 1,600m（うち事業中997m）            未着手 「千波西工区」 延長 1,400m            未着手 「西原工区」 延長 1,200m            未着手 「大野工区（橋梁部）」 延長 200m</p> <p><b>【進捗状況】</b>            （酒門工区）延長：997m 事業費：40億円            H22年度 事業着手            R3まで 事業費：3,272百万円（進捗率：87%）                調査、測量、設計、用地取得、工事            R4 事業費：150百万円（進捗率：91%）                用地取得、工事            R5 事業費：200百万円（進捗率：96%）                用地取得、工事</p>
今後の対応・課題等	<p><b>【事業化区間（県）】</b>            ・酒門工区 —— 別添図面中②            国道6号より西側区間の工事を進めるとともに、国道6号より東側区間の用地取得を行い、早期着工を目指す。</p> <p><b>【未着手区間（県）】</b>            ・大野工区＜那珂川橋梁部＞ —— 別添図面中①            水戸市側及びひたちなか市側の橋梁影響区間の進捗状況を踏まえ、整備時期を検討していく。            ・千波西工区、西原工区 —— 別添図面中⑤、⑥            整備中である酒門工区の進捗状況を踏まえ、整備時期を検討していく。</p>

# 都市計画道路 3・3・2号 中大野中河内線 (水戸市)

凡 例	
供用区間	—————
事業化区間	■■■■■
未着手区間	———





# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	日立市																
要望事項	一般国道245号（久慈大橋、日立港区北拡幅事業）の早期完成																
現況	<p>一般国道245号は、水戸市から日立市へ至る茨城県北部地域の沿岸部を南北に縦断する緊急輸送道路であることから、大変重要な路線である。</p> <p>久慈大橋、日立港区北拡幅においては、個別補助を活用し、整備推進を図る。</p>																
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>①一般国道245号 久慈大橋</td> <td>②一般国道245号 日立港区北拡幅</td> </tr> <tr> <td>箇所名</td> <td>東海村豊岡～日立市留町</td> <td>日立市久慈町～水木町</td> </tr> <tr> <td>延長幅員</td> <td>L=1,000m W=25m（4車線）</td> <td>L=1,880m W=22m（4車線）</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>R1年度～</td> <td>H27年度～</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約100億円</td> <td>約50億円</td> </tr> </table> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>① 一般国道245号久慈大橋</p> <p>R3まで 事業費 400百万円（進捗率4%）              路線測量、地質調査、橋梁詳細設計、道路詳細設計、用地取得</p> <p>R4 事業費 14百万円（進捗率4%）用地取得</p> <p>R5 事業費 50百万円（進捗率5%）測量設計・工事</p> <p>② 一般国道245号日立港区北拡幅</p> <p>R3まで 事業費 2,777百万円（進捗率55%）              測量設計、用地取得、擁壁工</p> <p>R4 事業費 366百万円（進捗率63%）用地取得、擁壁工</p> <p>R5 事業費 446百万円（進捗率72%）用地取得、擁壁工</p>		事業名	①一般国道245号 久慈大橋	②一般国道245号 日立港区北拡幅	箇所名	東海村豊岡～日立市留町	日立市久慈町～水木町	延長幅員	L=1,000m W=25m（4車線）	L=1,880m W=22m（4車線）	事業期間	R1年度～	H27年度～	事業費	約100億円	約50億円
事業名	①一般国道245号 久慈大橋	②一般国道245号 日立港区北拡幅															
箇所名	東海村豊岡～日立市留町	日立市久慈町～水木町															
延長幅員	L=1,000m W=25m（4車線）	L=1,880m W=22m（4車線）															
事業期間	R1年度～	H27年度～															
事業費	約100億円	約50億円															
今後の対応・課題等	<p>① 一般国道245号久慈大橋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延長約1.0kmについて、令和元年度に新規補助事業化。</li> <li>・令和5年度は、用地取得に向けた測量を実施するとともに、橋梁工事に係る河川管理者との協議を進める。</li> </ul> <p>② 一般国道245号日立港区北拡幅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延長約1.9kmについて、平成27年度に新規事業化し、令和元年度に補助事業化。</li> <li>・令和5年度は、工事及び用地取得を進める。</li> </ul>																

# 要 望 書

土浦市長 安藤 真理子

## 1 要望事項

県道土浦港線の整備促進について  
(都市計画道路荒川沖木田余線)

## 2 要望主旨

県道土浦港線のうち、土浦駅東駐車場前交差点から川口運動公園前交差点区間は、市道一級 11 号線と接続し、都市計画道路荒川沖木田余線として、土浦駅周辺の中心市街地の環状道路であるとともに、かすみがうら市方面や牛久市方面を連絡する重要な幹線道路となっております。

土浦駅東側にある港橋から牛久市方面は、都市計画幅員 25m の 4 車線で整備されておりますが、港橋以北については幅員 18m の 3 車線となっているため、ボトルネックとなり、朝夕の通勤時間帯をはじめとして、慢性的な交通渋滞が発生しております。

このような状況から、本市では土浦協同病院と市街地のアクセス道路となる湖北一丁目から国道 354 号バイパスまでの 1.3km 区間について、4 車線化に向けて整備を進めており、残りの区間のうち、県道区間につきましては、現在 4 車線化に向けた調査を行っていただいているところですが、恒常的な交通渋滞を引き起こしていることから、当該路線の現状や重要性をご賢察いただき、荒川沖木田余線の事業促進につきまして、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	土浦市
要望事項	県道土浦港線（都市計画道路荒川沖木田余線）の整備促進
現況	都市計画道路荒川沖木田余線は、土浦市と阿見町、牛久市の JR 常磐線沿線の各駅を中心とした市街地間を結ぶ都市軸道路であるとともに、国道 6 号を補完する重要な幹線道路であり、交通渋滞の緩和や地域住民の利便性の向上に効果が期待されることから、県と土浦市で役割分担をして事業を進めている。
対応状況	<p><b>【概要】</b> 都市計画道路 荒川沖木田余線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箇所名：土浦市川口地内</li> <li>・延長幅員：L=370m W=25m（4車線）</li> <li>・事業期間：令和3年度～</li> <li>・事業費：17億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>R3 まで 事業費：110 百万円（進捗率：6%） 調査、予備設計、測量</p> <p>R4 事業費：380 百万円（進捗率：29%） 設計・測量</p> <p>R5 事業費：320 百万円（進捗率：48%） 用地取得</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業区間である土浦駅から北側区間 L=1,000m について、県と土浦市で一体的に整備を進める。</li> <li>・特に事業区間が土浦駅の周辺で既成市街地内であることから、地権者の理解を得て、速やかに用地取得を進めることが重要となっている。</li> </ul>

# 要 望 書

古河市長 針 谷 力

## 1 要望事項

一級河川女沼川の整備促進

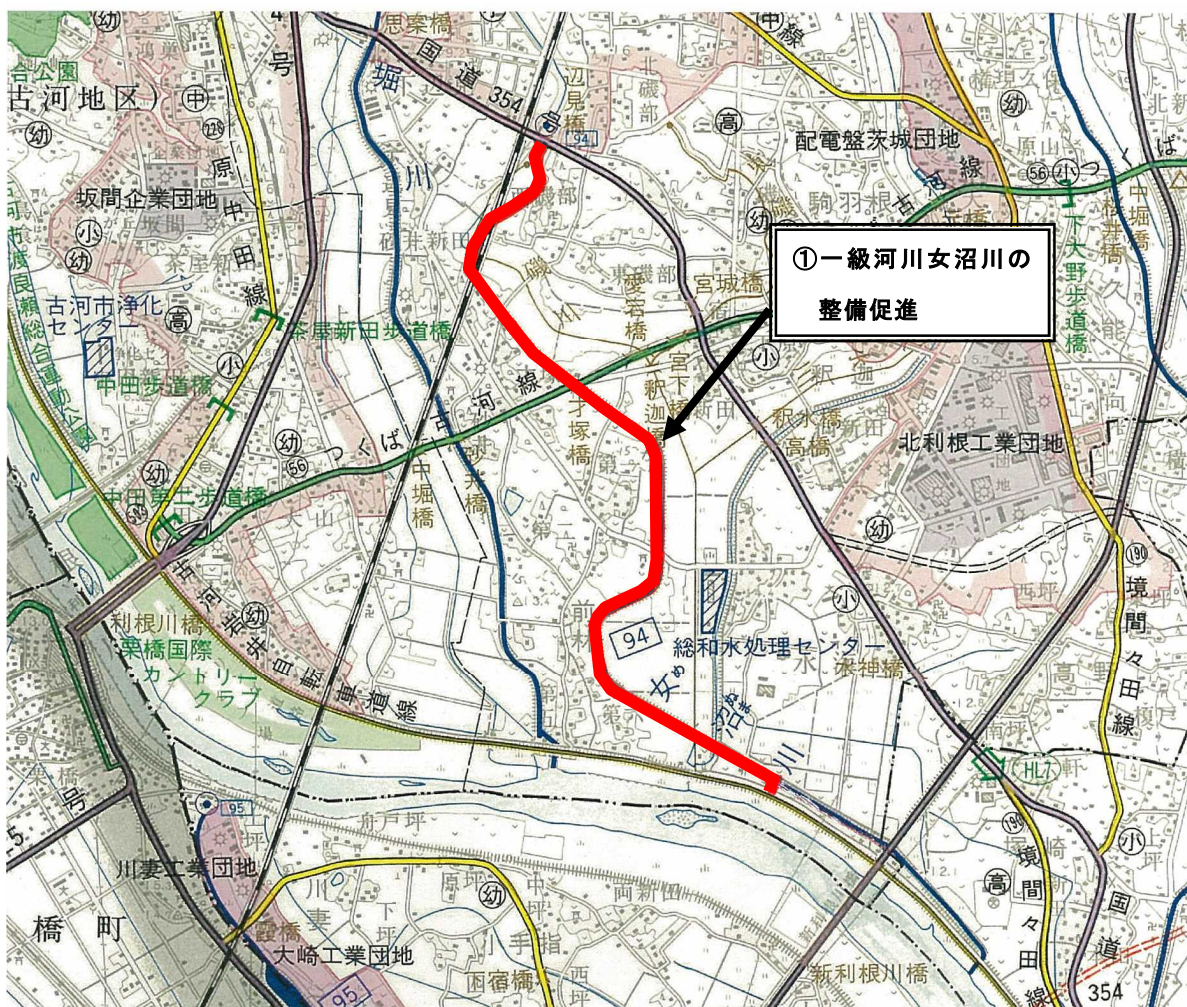
## 2 要望主旨

女沼川改修につきましては、平成3年度の事業採択以降、県道つくば古河線才塚橋下流側においては、河道の改修とともに、市道橋の架け替えや伏せ越し等の工事が進められております。

本河川は、上流部における開発に伴って雨水流出量が年々増加しており、大雨時には住宅地への被害が発生しております。

つきましては、災害を未然に防止する為、更なる整備推進及び予算の確保を要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	古河市
要望事項	一級河川女沼川の整備促進
現況	女沼川は、利根川合流部の积水水門から古河市下辺見地先の国道354号下辺見橋までの5,500m区間について、河川改修を進めている。
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業延長：5,500m（平成3年度着手）</li> <li>・全体事業費：7,200百万円</li> <li>・令和元年度末までに「积水水門」から下流部約900m区間の整備が完了</li> <li>・令和2年5月には、国が新たに整備した「积水水門」の完成にあわせて、河道を付け替え、通水開始</li> </ul> <p>R3年度まで：工事、用地買収等 事業費 5,219百万円 進捗率 79.4%</p> <p>R4年度：工事、用地買収等（R3補正含む） 事業費 530百万円 進捗率 86.1%</p> <p>R5年度：工事、用地買収等（R4補正含む） 事業費 540百万円 進捗率 87.3%</p> <p>(概略図)</p> 
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・积水水門から才塚橋区間の橋梁や伏越の改築を早期に完成させる。</li> <li>・才塚橋から下辺見橋区間については、下流側の進捗に合わせて整備を進めていく。</li> </ul>



# 要 望 書

石岡市長 谷 島 洋 司

## 1 要望事項

①一般県道飯岡石岡線バイパスの整備促進（幸町・田島下線を含む）について

## 2 要望主旨

一般県道飯岡石岡線バイパスは、国道6号と一般県道飯岡石岡線現道までの2.3kmを結ぶ主要幹線道路であり、一部区間は、国道6号バイパスのアクセス道路として都市計画決定されています。また、この付近は、国道6号バイパスの工事も着手されており、本市では、このバイパスを国道355号バイパス（恋瀬橋北交差点地先）と共に市街地の渋滞解消を図る重要な環状道路として位置付けています。

既に一部区間においては、改良工事が進められておりますが、なお一層の事業促進を要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	石岡市
要望事項	一般県道飯岡石岡線バイパスの整備促進（幸町・田島下線含む）
現況	<p>本路線は、石岡市中心部とかすみがうら市を結ぶ重要な生活道路となっている。現道は、幅員が狭く、歩道も未整備のため、歩行者や自動車の安全で円滑な通行に支障が生じている状況であることから、バイパス整備を実施している。</p> <p>また、本バイパスの一部区間は、国道6号千代田石岡バイパスへのアクセス道路として都市計画決定されており、国道6号バイパス整備とともに、市街地の緩和に資する道路となることから、本バイパスの整備により、地域住民の交通安全確保と地域間の連絡強化が図られる。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <p>一般県道 飯岡石岡線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箇所名：石岡市中津川～国府</li> <li>・延長幅員：L=2,300m W=15m（2車線）</li> <li>・事業期間：平成18年度～</li> <li>・事業費：約21億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>R3まで 事業費 1,316百万円（進捗率63%） 用地取得、道路改良工事</p> <p>R4 事業費 320百万円（進捗率78%） 道路改良工事</p> <p>R5 事業費 300百万円（進捗率92%） 道路改良工事</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得が完了したことから、道路改良工事を進めていく。</li> </ul>

# 要 望 書

結城市長 小林 栄

## 1 要望事項

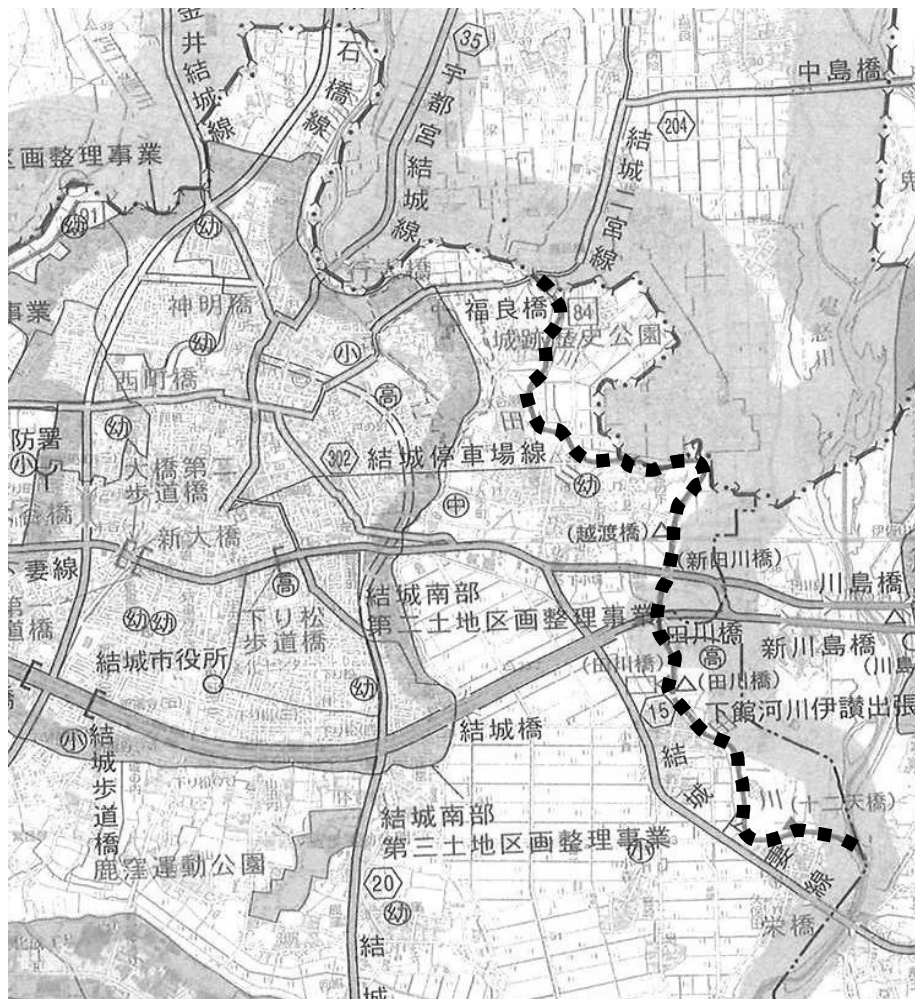
### ① 一級河川田川改修の整備促進

## 2 要望主旨

平成27年関東東北豪雨及び令和元年台風19号による記録的な大雨により、度重なる田川の氾濫に見舞われました。市内の各所で道路や農地が冠水したほか、住宅や工場など床下・床上浸水・工場操業停止など甚大な被害が生じました。

田川については、鬼怒川の合流点から福良橋までの約4.5kmの整備区間を茨城県が、利根川水系利根川圏域河川整備計画に基づき堤防整備を進めていただいておりますが、地域住民の安全及び資産を守るため、早期完成を要望します。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	結城市
要望事項	一級河川田川改修の整備促進
現況	田川は、鬼怒川合流部から結城市大谷瀬地先の県道結城二宮線福良橋までの4,500m区間について、河川改修を進めている。
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業延長 : 4,500m (平成 29 年度着手)</li> <li>・全体事業費 : 2,162 百万円</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">R 3 年度まで : 調査、設計、用地買収等                  事業費 382 百万円 進捗率 38.5%</p> <p style="margin-left: 40px;">R 4 年度 : 工事、用地買収等 (R 3 補正含む)                  事業費 450 百万円 進捗率 57.0%</p> <p style="margin-left: 40px;">R 5 年度 : 工事、用地買収等 (R 4 補正含む)                  事業費 450 百万円 進捗率 59.3%</p> <p>(概略図)</p> 
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鬼怒川合流点から上流区間について、順次、用地取得及び改修工事を進めていく。</li> </ul>

# 要 望 書

龍ヶ崎市長 萩 原 勇

## 1 要望事項

主要地方道美浦栄線バイパスの整備促進

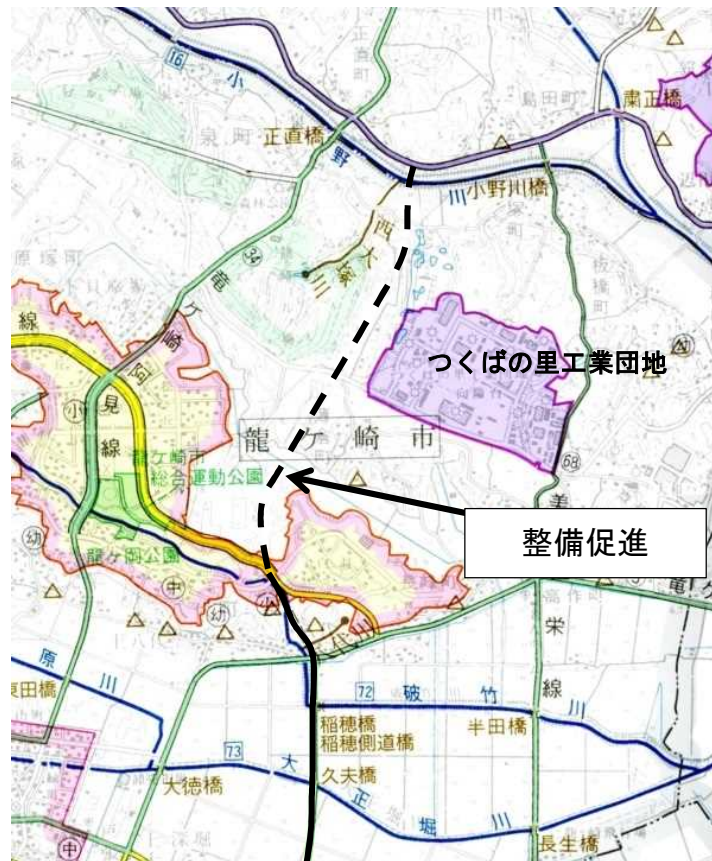
## 2 要望主旨

主要地方道美浦栄線バイパスは、千葉・茨城両県の連絡性を強化するとともに、茨城県都市計画マスタープランにおける県際連携都市群の機能を高めていくための重要路線であり、沿線地域の振興にも大きく寄与する路線として期待されています。

本市におきましても、市域東部と首都圏の広域幹線道路網の一翼を担う圏央道を連結する重要路線と位置づけており、特に重要課題であるつくばの里工業団地周辺における企業誘致の取り組みを推進していくためには、本バイパス整備による圏央道方面へのアクセス性向上が不可欠なものと考えております。

令和5年3月現在、有料道路の若草大橋を含む国道356号から県道八代庄兵衛新田線までの区間が開通しておりますが、以上のようなことから、引き続き、本バイパスの整備促進について強く要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	龍ヶ崎市													
要望事項	主要地方道美浦栄線バイパスの整備促進													
現況	<p>本路線は、美浦村から龍ヶ崎市を經由し、千葉県印旛郡栄町に至る幹線道路である。現道は、幅員が狭く、歩道が整備されていない箇所も多く、歩行者や自動車の安全で円滑な通行に支障が生じている状況であることから、バイパス整備を実施している。</p> <p>本バイパスは、南北に縦貫し広域ネットワークを形成する重要な路線であり、つくばの里工業団地へのアクセス道路となるほか、竜ヶ崎阿見線バイパスの計画とあわせて圏央道阿見東 IC へのアクセス道路となることから、本バイパスの整備により、物流や交流の活性化が図られる。</p>													
対応状況	<p><b>【概要】</b> 主要地方道 美浦栄線</p> <table border="1"> <tr> <td>箇所名</td> <td>①龍ヶ崎市白羽～利根町加納新田～千葉県栄町北（南工区）</td> <td>②牛久市島田町～龍ヶ崎市白羽（北工区）</td> </tr> <tr> <td>延長幅員</td> <td>L=7,500m、W=30m（暫定2車線）</td> <td>L=3,400m、W=23m（4車線）</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成7年度～令和2年度</td> <td>令和元年度～</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約240億円</td> <td>約90億円</td> </tr> </table> <p><b>【進捗状況】</b> H18：L=1,700m 供用（若草大橋有料道路開通） H23：L=3,100m 供用（竜ヶ崎潮来線～美浦栄線現道） H26：L=2,200m 供用（美浦栄線現道～取手東線） R2：L=500m 供用（八千代庄兵衛新田線～竜ヶ崎潮来線）</p> <p>① 南工区 R3.3.26 全線約7.5kmを供用。</p> <p>② 北工区 R3まで 事業費1,175百万円（進捗率13%） 用地取得 R4 事業費550百万円（進捗率19%） 用地取得、道路改良工事 R5 事業費680百万円（進捗率27%） 用地取得、道路改良工事</p>		箇所名	①龍ヶ崎市白羽～利根町加納新田～千葉県栄町北（南工区）	②牛久市島田町～龍ヶ崎市白羽（北工区）	延長幅員	L=7,500m、W=30m（暫定2車線）	L=3,400m、W=23m（4車線）	事業期間	平成7年度～令和2年度	令和元年度～	事業費	約240億円	約90億円
箇所名	①龍ヶ崎市白羽～利根町加納新田～千葉県栄町北（南工区）	②牛久市島田町～龍ヶ崎市白羽（北工区）												
延長幅員	L=7,500m、W=30m（暫定2車線）	L=3,400m、W=23m（4車線）												
事業期間	平成7年度～令和2年度	令和元年度～												
事業費	約240億円	約90億円												
今後の対応・課題等	<p>・整備中の北工区については、令和元年度から圏央道へのアクセス道路として竜ヶ崎阿見線バイパスと共に事業着手し、圏央道の4車線化に合わせて整備を推進していく。</p>													

# 要 望 書

下妻市長 菊池 博

## 1 要望事項

国道125号（下妻・八千代バイパス）の早期着工について

## 2 要望趣旨

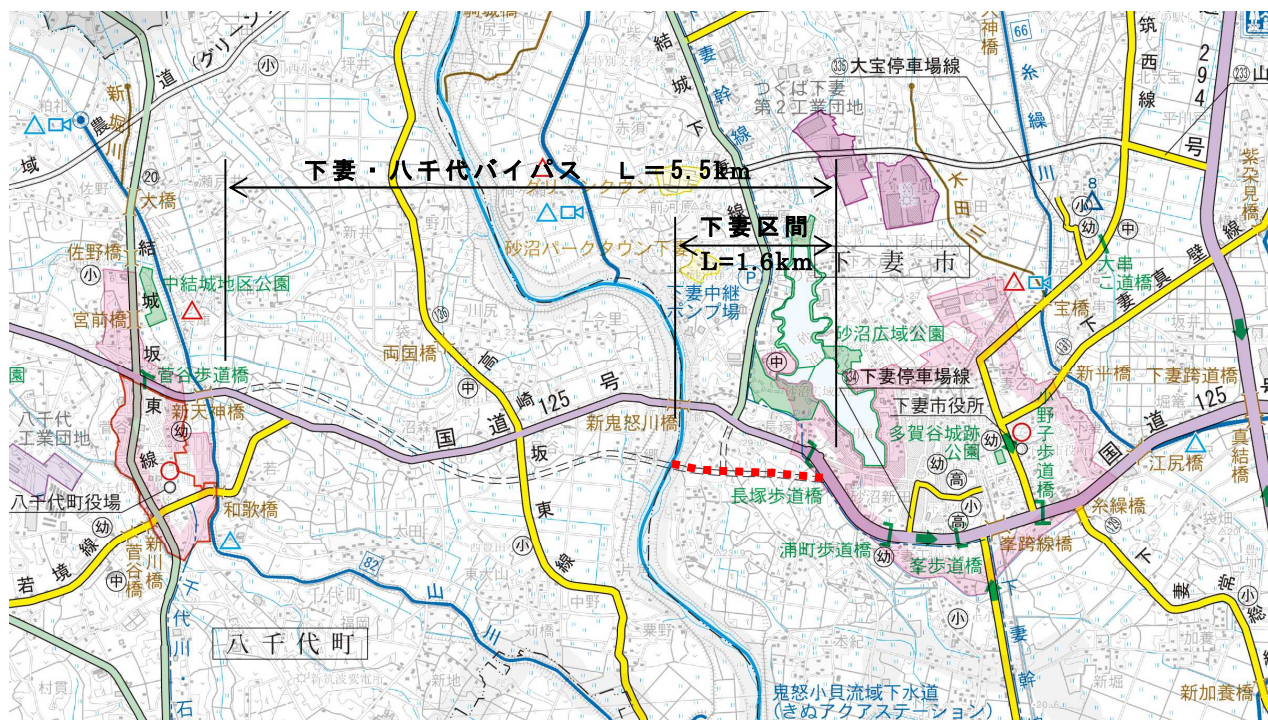
筑波研究学園都市と国道4号バイパスなどを結ぶ国道125号の整備につきましては、平成17年4月に堀籠地内の4車線化が完成し、高道祖から長塚三差路交差点までの区間が全線供用となっております。

さて、近年当路線には、大型商業施設などの進出もあり、平成27年度における交通量は、1日当たり17,357台で、そのうち4,741台と大型車の占める割合が多い中、日増しにバイパス化の要望が高まっております。特に幅員が狭小である市内長塚地区においては、朝夕の通勤時間帯の交通渋滞は著しく、住宅が連担していることから、交通安全上危険な箇所となっております。

また、新市建設計画においても、当路線は骨格となる東西の広域連絡軸として位置づけをしており、道路網の基幹となる重要な路線であります。

つきましては、交通安全対策及び円滑な広域ネットワークを構築するためにも、当国道125号（下妻・八千代バイパス）の早期整備が重要であり、最優先課題であります。

## 3. 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	下妻市
要望事項	国道125号（下妻・八千代バイパス）の早期着工
現況	<p>国道125号は、県南・県西地域を東西に結び、物流や観光などの地域の産業や、通勤通学など日常生活を支える重要な幹線道路である。下妻市内及び八千代町内の市街地では交通量が多く、通勤時間帯をはじめ慢性的な渋滞が発生している状況であり、関連事業2箇所の改良事業と併せ、下妻・八千代バイパスの着手に向けた調査を進めている。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b>            一般国道125号下妻八千代バイパス            ・箇所名：下妻市長塚 ～ 八千代町菅谷<sup>すげのや</sup>            ・延長幅員：L=5,500m W=26m（4車線）            ・事業期間：未着手</p> <p><b>【進捗状況】</b>            R3まで 事業費134百万円（県単基礎調査、県単道工調等）            地形図作成、地質調査、中心線測量、予備設計、橋梁予備設計、交通量調査</p> <p>※県西農林事務所と下妻市今泉地区 畑地帯総合整備事業との事業調整協議            R4 事業費 0百万円</p> <p>※県西農林事務所と下妻市今泉地区 畑地帯総合整備事業との事業調整協議            R5 事業費 0百万円</p> <p>※県西農林事務所と下妻市今泉地区 畑地帯総合整備事業との事業調整協議</p>
今後の対応・課題等	<p>・本バイパスは、鬼怒川を渡河する橋梁の整備など事業費が多額となり、整備期間も長期にわたることが想定されることから、当面の渋滞対策として、現道の貝谷交差点及び砂沼公園入口交差点の改良事業を実施した。</p> <p>・貝谷交差点については令和元年9月、砂沼公園入口交差点は令和3年3月にそれぞれ整備が完了したところであり、引き続き、本バイパスの着手に向けて、関係機関との協議調整を進める。</p>



# 要 望 書

常総市長 神達 岳志

## 1 要望事業

鬼怒川ふれあい道路（取手豊岡線バイパス）の整備促進

## 2 要望主旨

取手豊岡線バイパスは、鬼怒川ふれあい道路の一部として位置付けされており、当市の鬼怒川西部地域の振興発展に寄与するものと多に期待されております。

当市では、合併市町村幹線道路緊急整備支援事業の指定を受け、都市計画道路鹿小路細野線（県道取手豊岡線バイパスの一部）の整備を鋭意進めておりましたが、令和3年3月に主要地方道つくば野田線から主要地方道取手豊岡線区間を供用開始致しました。つきましては、取手豊岡線バイパスの主要地方道取手豊岡線から国道354号までの残区間についても早期の開通を要望します。

さらに、国道354号バイパスから高崎坂東線までの区間についても、事業の具現化に向けた調整が図られるよう要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	常総市
要望事項	鬼怒川ふれあい道路（取手豊岡線バイパス）の整備促進
現況	<p>市内を南北に流れる主要河川に挟まれる常総市においては、東西方向の広域道路網やそれに接続する国県道網が慢性的に混雑していることから、渋滞対策・安全性向上を目的としたバイパス整備を計画している。</p> <p>また、本路線沿線には複数の工業団地（坂手、内守谷など）が点在しており、交通網の強化による物流の効率化が求められている。</p> <p>当該箇所の整備により、円滑な走行性が確保されることで、渋滞緩和による地域の安全性の向上、及び各工業団地へのアクセス性向上により、県西地域の物流の効率化が図られる。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b>            主要地方道 取手豊岡線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 箇所名：常総市坂手町～豊岡町</li> <li>・ 延長幅員：L=1,500m W=25m（暫定2車線）</li> <li>・ 事業期間：平成8年度～</li> <li>・ 事業費：約34億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>R3まで 事業費 2,808百万円（進捗率83%）            橋梁上部工事、道路改良工事</p> <p>R4 事業費 441百万円（進捗率96%）            用地取得、道路改良工事</p> <p>R5 事業費 200百万円（進捗率100%）            用地取得、道路改良工事</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 整備効果の早期発現を図るため、暫定2車線で整備を進めていく。</li> <li>・ 用地取得が完了したことから、道路改良工事を進めていく。</li> <li>・ なお、国道354号バイパスから高崎坂東線までのルート未決定区間の整備主体や整備手法などについては、引き続き常総市と協議していく。</li> </ul>

# 要望書

常陸太田市長 宮田 達夫

## 1. 要望事項

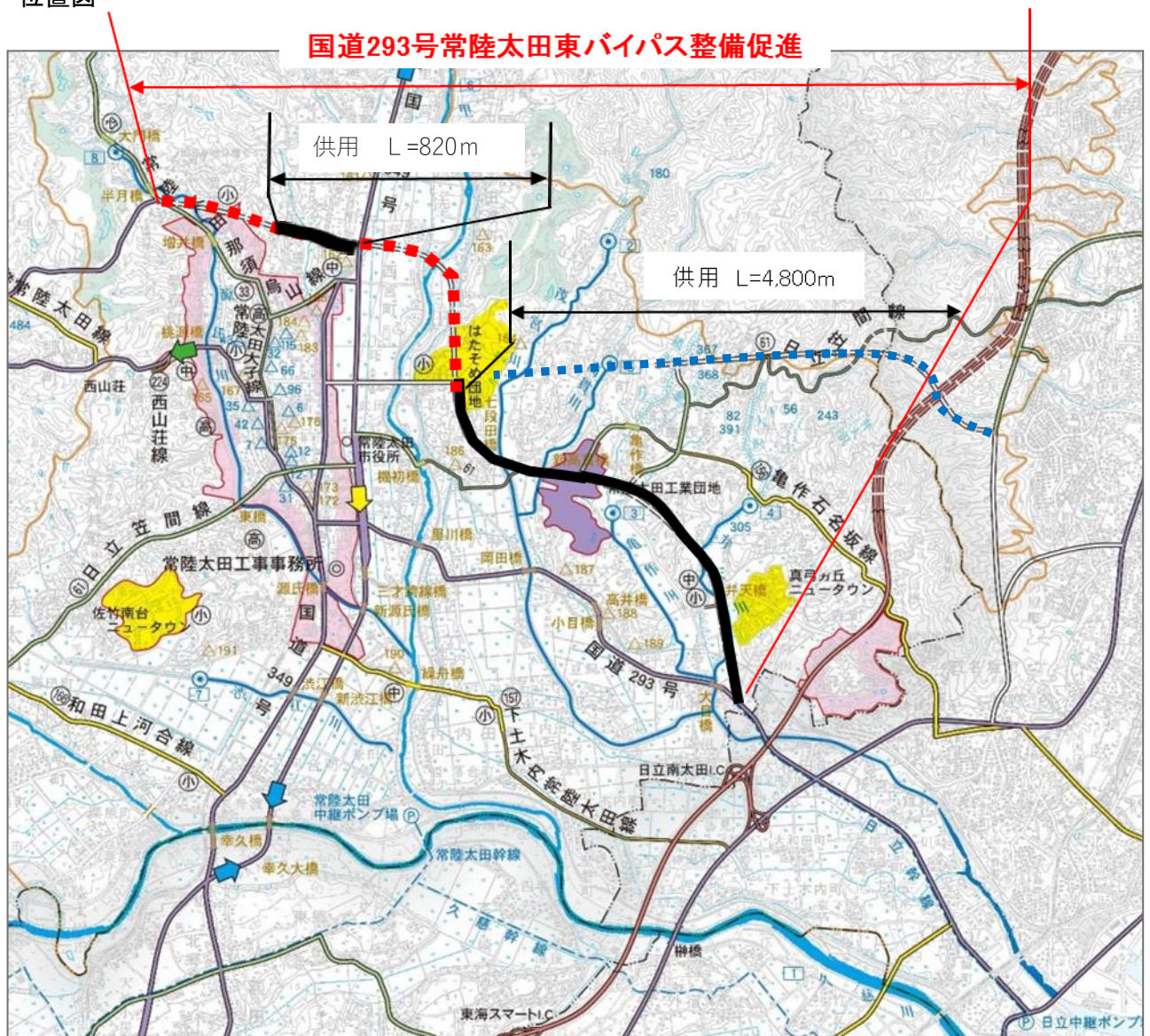
### 国道 293 号常陸太田東バイパスの整備促進

## 2. 要望趣旨

国道 293 号は県北地域を東西に結ぶ広域的幹線道路ですが、中心市街地を通過している道路で狭小区間や歩道が無い区間が多く、朝夕の通通勤時や海水浴などの行楽シーズン時に、慢性的な交通渋滞が発生し、円滑な交通に支障をきたしております。

これまで、県当局、関係機関のご配慮により、国道 293 号常陸太田東バイパスは、平成 27 年度にバイパス区間の東側約 4.8km、令和 3 年度までに西側約 0.8km が供用されておりますが、平成 30 年度より本市が市道 0139 号線として整備する路線についても、国道 293 号バイパスへ接続する計画としていることから、整備後の交通負荷を軽減するためにも残る西側区間につきまして引き続き整備促進を要望いたします。

## 3. 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	常陸太田市
要望事項	国道293号常陸太田東バイパスの整備促進
現況	本路線は、常陸太田市街地の交通混雑緩和による円滑な交通の確保を目的とした2車線バイパス事業である。また、緊急輸送道路に指定されていることから早期に整備を行う必要がある。
対応状況	<p><b>【概要】</b>            一般国道293号常陸太田東バイパス            ・箇所名 : 常陸太田市大森町 ~ 増井町            ・延長幅員 : L=8,990m W=15~18m (2車線)            ・事業期間 : 平成5年度 ~            ・事業費 : 約214億円</p> <p><b>【進捗状況】</b>            H16 : 常陸太田工業団地~はたそめ団地間 1,860m 供用            H27 : 国道293号現道~常陸太田工業団地間 2,940m 供用            R2 : 国道349号西側 380m 供用            R3 : 瑞龍町~増井町間 440m 供用</p> <p>R3まで 事業費 15,751百万円 (進捗率74%)            橋梁工・道路改良舗装工・用地取得・道路設計・測量調査・函渠工</p> <p>R4 事業費 234百万円 (進捗率75%)            道路改良舗装工</p> <p>R5 事業費 28百万円 (進捗率75%)            用地取得・道路改良舗装工</p>
今後の対応・課題等	<p>・これまでに、常陸太田市大森町の国道293号現道からはたそめ団地までの約4.8kmと国道349号より西側0.8kmを供用しており、現在は、国道349号より西側の供用済区間から増井町までの約1.3kmの整備を進めている。</p> <p>・令和5年度は、残る用地の取得を進めるとともに、改良舗装工を実施していく。</p>

# 要 望 書

高萩市長 大部 勝規

## 1. 要望事項

2市連絡幹線道路整備事業及び都市計画道路安良川赤浜線（3・5・9）整備事業の促進について

## 2. 要望主旨

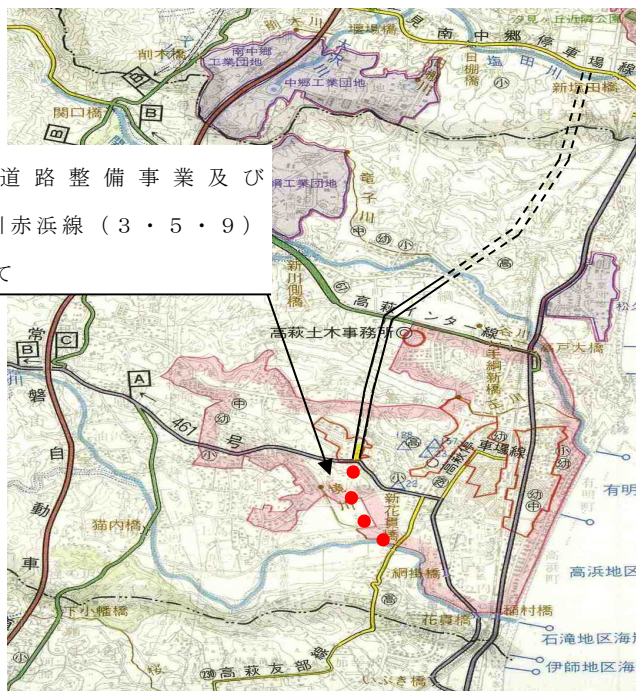
本路線は、北茨城市中郷町の一般県道里見南中郷停車場線と高萩市安良川の一般県道高萩友部線とを南北に結び、地域連携及び発展に資する主要幹線道路であります。

並走する国道6号は、朝夕の通勤時間帯に慢性的な渋滞を引き起こすなど、円滑な交通流動に支障をきたしております。また、東日本大震災時には国道6号が北茨城市において津波により通行止めとなったことを踏まえ、国道6号の代替道路整備が急務となっております。現在整備中である2市連絡幹線道路の効果を活かすためにも、都市計画道路安良川赤浜線（3・5・9）の早急な整備が不可欠であります。

将来的には、北茨城市より高萩市を經由し日立市へアクセスする、国道6号のバイパス機能の重要な役割を担い渋滞緩和、また、周囲の都市基盤の整備を促進する道路として大きな期待が寄せられております。

2市連絡幹線道路整備事業の取り組みにご尽力いただき感謝申し上げますとともに、引き続き都市計画道路安良川赤浜線（3・5・9）の国道461号から南側について、早期完成が図られるよう要望致します。

## 3. 位置図



① 2市連絡幹線道路整備事業及び都市計画道路安良川赤浜線（3・5・9）整備事業の促進について

# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	高萩市																			
要望事項	2市連絡幹線道路整備事業及び都市計画道路安良川赤浜線（3・5・9）整備事業の促進																			
現況	<p>一般県道高萩塙線は、高萩市と北茨城市を結ぶ2市連絡幹線道路として、南北広域幹線道路の渋滞緩和及び津波避難道路や都市基盤の整備に重要な路線として位置付けられている。</p> <p>また国道461号から南側についても、慢性的な国道6号の渋滞緩和や津波被害時の代替道路形成を目的として、都市計画道路安良川赤浜線が整備されている。</p>																			
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>①一般県道高萩塙線 (2市連絡幹線道路)</th> <th>②都市計画道路 安良川赤浜線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>箇所名</td> <td>高萩市下手綱～北茨城市中郷町</td> <td>高萩市安良川</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>道路事業</td> <td>街路事業</td> </tr> <tr> <td>延長幅員</td> <td>L=3,650m W=13m (2車線)</td> <td>L=864m W=16m (2車線)</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>H22～</td> <td>H30～</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約80億円</td> <td>約18億円</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>① 一般県道高萩塙線</p> <p>R3まで 事業費6,366百万円（進捗率80%） 道路改良舗装工事</p> <p>R4 事業費 660百万円（進捗率88%） 道路改良舗装工事</p> <p>R5 事業費 472百万円（進捗率94%） 道路改良舗装工事</p> <p>② 安良川赤浜線</p> <p>R3まで 事業費：339百万円（進捗率：19%） 設計、測量、地質調査</p> <p>R4 事業費：150百万円（進捗率：27%） 用地取得</p> <p>R5 事業費：300百万円（進捗率：44%） 用地取得、工事</p>		地区名	①一般県道高萩塙線 (2市連絡幹線道路)	②都市計画道路 安良川赤浜線	箇所名	高萩市下手綱～北茨城市中郷町	高萩市安良川	区分	道路事業	街路事業	延長幅員	L=3,650m W=13m (2車線)	L=864m W=16m (2車線)	事業期間	H22～	H30～	事業費	約80億円	約18億円
地区名	①一般県道高萩塙線 (2市連絡幹線道路)	②都市計画道路 安良川赤浜線																		
箇所名	高萩市下手綱～北茨城市中郷町	高萩市安良川																		
区分	道路事業	街路事業																		
延長幅員	L=3,650m W=13m (2車線)	L=864m W=16m (2車線)																		
事業期間	H22～	H30～																		
事業費	約80億円	約18億円																		
今後の対応・課題等	<p><b>【2市連絡幹線道路（一般県道高萩塙線）】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>道路改良舗装工事を進め、早期の工事完成に努める。</li> </ul> <p><b>【都市計画道路 安良川赤浜線】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き用地取得を進めていくほか、用地がまとまって取得できた箇所について、順次工事に着手していく。</li> </ul>																			

# 要 望 書

北茨城市長 豊 田 稔

## 1 要望事項

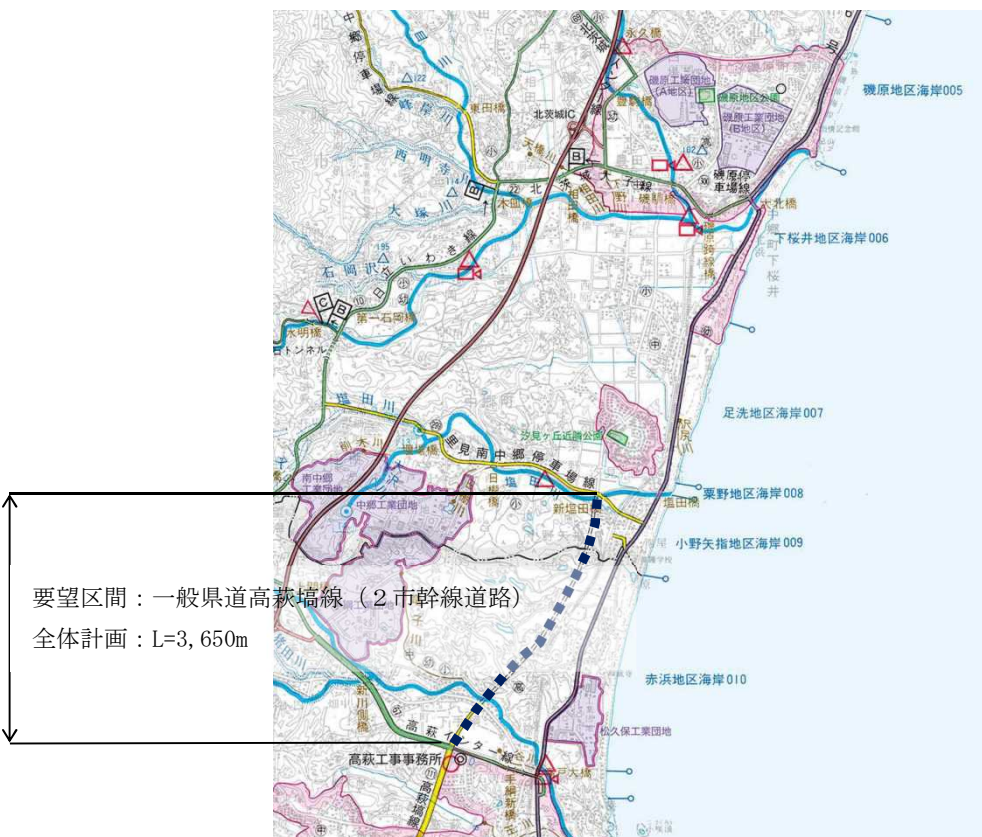
一般県道高萩塙線バイパス（2市幹線道路）の整備促進

## 2 要望主旨

本路線は、県北臨海3市を南北に結ぶ国道6号のバイパス機能を担う新陸前浜街道（高萩・北茨城2市連絡幹線道路）として位置づけられており、渋滞緩和や災害時の緊急輸送など道路ネットワーク形成の観点から重要な役割を果たすことが期待されています。

また、本市南部の JR 常磐線南中郷駅西側のまちづくりの核となる道路であることから、市民の生活基盤及び産業基盤として早急な整備完了が望まれておりますので、早期開通に向けた整備促進を要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	北茨城市
要望事項	一般県道高萩塙線（2市連絡幹線道路）の整備促進
現況	<p>一般県道高萩塙線は、高萩市と北茨城市を結ぶ2市連絡幹線道路として、南北広域幹線道路の渋滞緩和及び津波避難道路や都市基盤の整備に重要な路線として位置付けられている。</p> <p>このため、高萩市内の県道高萩インター線から北茨城市内の県道里見南中郷停車場線までの延長約3.7キロメートル区間について、国の復興予算や社会資本整備総合交付金を活用して、重点的に整備を進めている。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <p>一般県道高萩塙線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箇所名：高萩市下手綱～北茨城市中郷町</li> <li>・延長幅員：L=3,650m W=13m（2車線）</li> <li>・事業期間：平成22年度～</li> <li>・事業費：約80億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>H28：L=660m 供用</p> <p>H29：L=80m 供用</p> <p>R3まで 事業費 6,366百万円（進捗率80%） 道路改良舗装工事</p> <p>R4 事業費 660百万円（進捗率88%） 道路改良舗装工事</p> <p>R5 事業費 472百万円（進捗率94%） 道路改良舗装工事</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路改良舗装工事を進め、早期の工事完成に努める。</li> </ul>



# 要 望 書

笠間市長 山口 伸樹

## 1 要望事項

一般県道稲田友部線の整備促進について(現道拡幅(歩道整備)・バイパス整備)

## 2 要望主旨

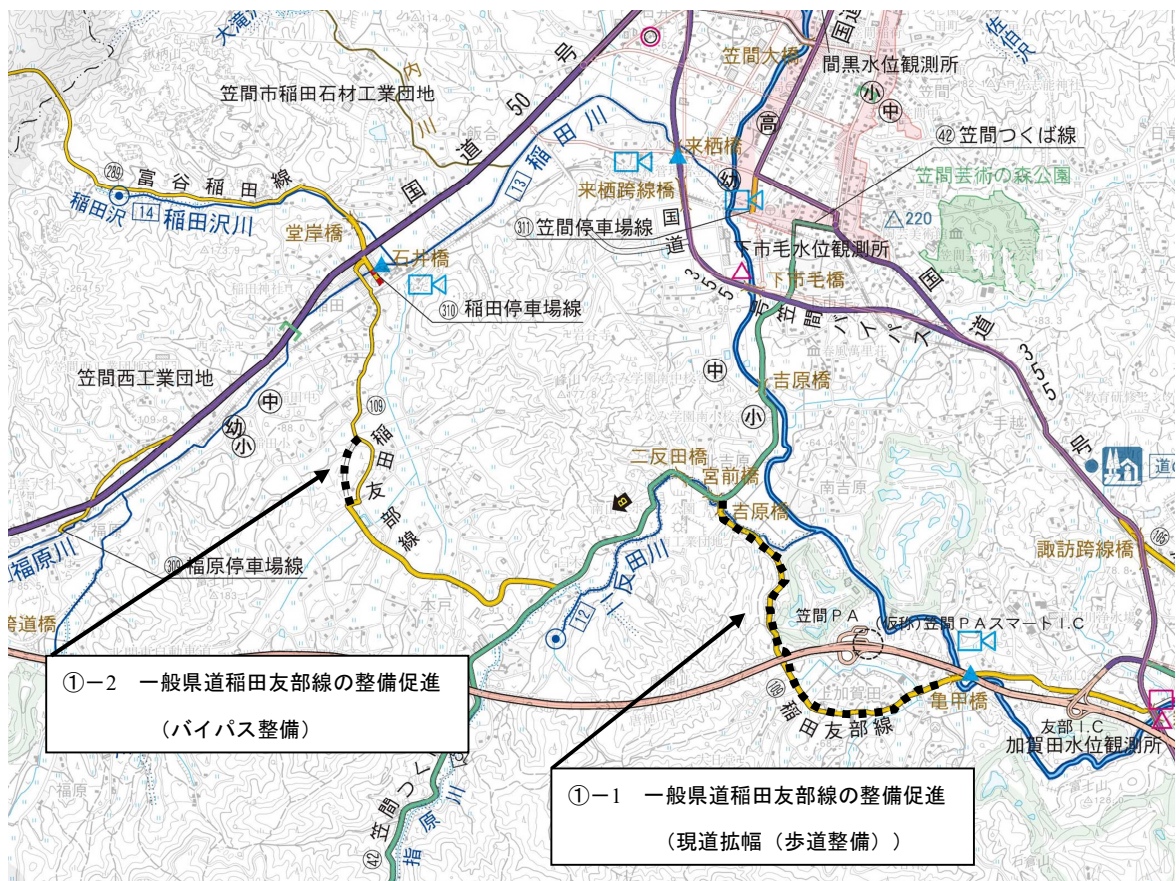
一般県道稲田友部線は、国道355号(笠間市平町)と国道50号線(笠間市稲田)までを結ぶ幹線道路であり、笠間地区と友部地区をアクセスする本市にとって重要な路線であります。

本路線は、国道355号から本戸地区までの区間については整備されておりますが、現道の一部が狭隘であるため普通自動車のすれ違いに支障をきたし、歩行者等の通行も危険な状況であります。

また、笠間パーキングエリアスマートインターチェンジの整備に伴い、アクセス道路と接続する本路線については、児童の通学路に指定されておりますが、歩道の整備がされていないことや、道路線形が悪く円滑な交通に支障をきたしている状況にあります。今後、スマートインターチェンジの整備により、交通量の増加が見込まれることから、通学路の安全を確保する必要があります。

つきましては、上加賀田地区における安全安心な道路空間を構築するための歩道整備並びに、本戸地区における未改良区間の早期バイパス整備が図られますよう要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課・道路維持課

市町村	笠間市
要望事項	一般県道稲田友部線の整備促進（現道拡幅（歩道整備）・バイパス整備）
現況	<p>一般県道稲田友部線は、国道 355 号（笠間市平町）と国道 50 号（笠間市稲田）を結ぶ幹線道路である。</p> <p>このうち本戸地区内の現道の一部では、幅員が大変狭小で線形も屈曲していることから、円滑な走行や歩行者の安全確保を目的に、バイパス整備を進めている。</p> <p>また、上加賀田地区においては、笠間パーキングスマートインターチェンジの整備に伴い交通量の増加が見込まれている。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <p>一般県道 稲田友部線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箇所名：笠間市本戸地内</li> <li>・延長幅員：2,315m W=8～11m（2車線）</li> <li>・事業期間：平成 10 年度～</li> <li>・事業費：約 12 億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>H25 まで L=1,616m 供用</p> <p>R3 まで 事業費 772 百万円（進捗率 65%） 測量・設計、用地取得、工事</p> <p>R4 事業費 30 百万円（進捗率 68%） 用地取得、工事</p> <p>R5 事業費 30 百万円（進捗率 70%） 埋蔵文化財調査、工事</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得が完了したことから、埋蔵文化財調査や工事を進め、早期の完成に努める。</li> <li>・歩道整備については、通学路交通安全プログラムへ位置付けた内容を踏まえ、関係機関と協議しながら対応を検討する。</li> </ul>

# 要 望 書

取手市長 中 村 修

## 1 要望事項

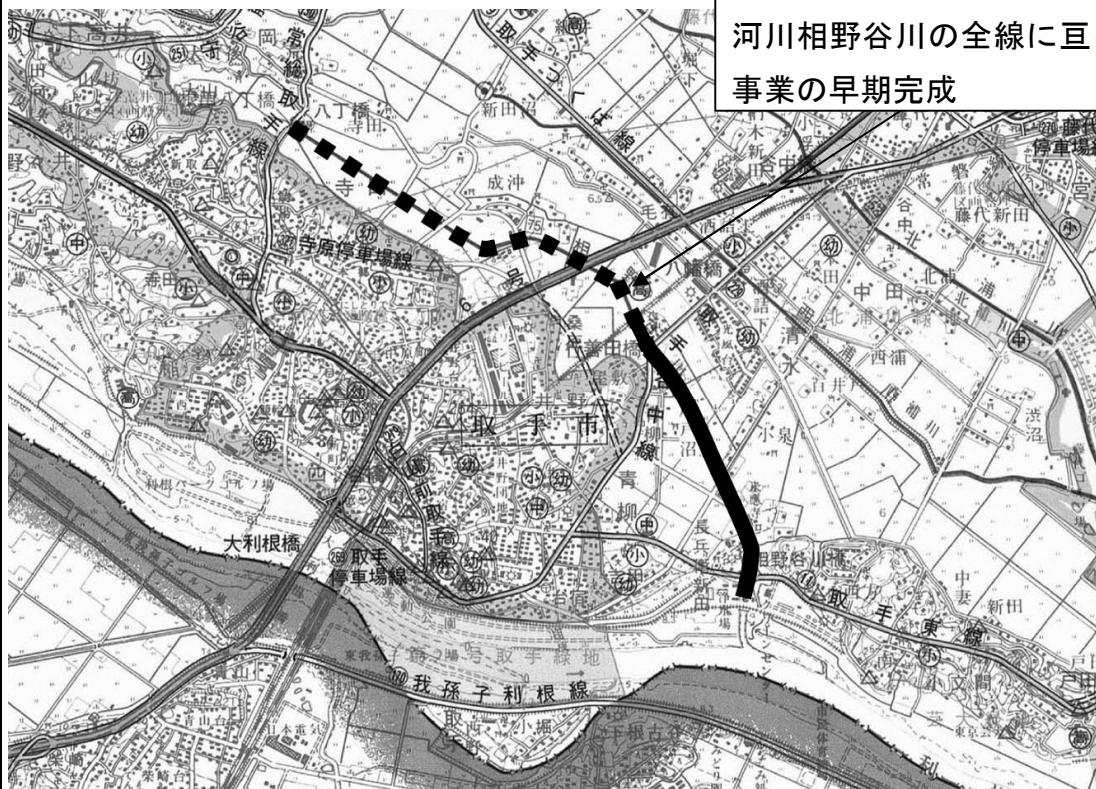
都市排水機能充実のため一級河川相野谷川の全線に亘る改修事業の早期完成

## 2 要望主旨

一級河川相野谷川は、取手市寺田に源を発し、取手市小文間の排水機場で利根川へ合流する全長約5.4 Kmの河川です。この都市排水路流域では首都圏のベッドタウンとして急激な開発による都市化が進んだため、台風や集中豪雨時などに内水による道路冠水被害が毎年発生しています。この冠水問題解決のため、新取手地区の雨水排水整備を行うと共に、この排水流末である下高井雨水幹線の整備を実施いたしました。しかしこの事業完成による冠水被害の解消を図るためには、放流先である相野谷川の全線に亘る改修事業の早期完成が必要となります。

茨城県におかれましては厳しい財政状況の中、JR常磐線下改修が完了し、その上流側についても河川境界を決定し、現在国道6号下の改修に着手されております。つきましては引き続き当該事業を推進して頂けるよう要望いたします。また、現河川の機能確保のため除草や河道掘削を含めた維持管理についても重ねて要望いたします。

## 3 位置図



都市排水機能充実のため、一級河川相野谷川の全線に亘る改修事業の早期完成

# 市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	取手市
要望事項	一級河川相野谷川改修事業の早期完成
現況	相野谷川は、利根川合流部の相野谷川排水機場から取手市寺田地先の県道常総取手線八丁橋下流までの5,375m区間について、河川改修を進めている。
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業延長 : 5,375m (昭和 54 年度着手)</li> <li>・ 全体事業費 : 12,304 百万円</li> <li>・ 平成 21 年度までに利根川合流部から JR 常磐線までの約 2.2km 区間の整備が完了</li> <li>・ JR 常磐線橋梁の改築は、平成 28 年 6 月に完成</li> <li>・ 令和元年度より国道 6 号橋梁改築について補助事業化 (大規模特定河川事業) 現在、下部工及び護岸を施工中。</li> </ul> <p style="margin-left: 40px;">R 3 年度まで : 工事、用地買収、補償等 事業費 11,062 百万円 進捗率 92.3%</p> <p style="margin-left: 40px;">R 4 年度 : 工事、補償等 (R 3 補正含む) 事業費 560 百万円 進捗率 97.1%</p> <p style="margin-left: 40px;">R 5 年度 : 工事、補償等 (R 4 補正含む) 事業費 510 百万円 進捗率 98.6%</p> <p>(概略図)</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道 6 号橋梁の改築について、道路管理者 (国土交通省) と協議・調整を図りながら、早期の完成に向けて整備を進めていく。</li> </ul>

# 要 望 書

牛久市長 根本 洋 治

## 1. 要望事項

国道408号歩道狭小箇所の拡幅整備促進

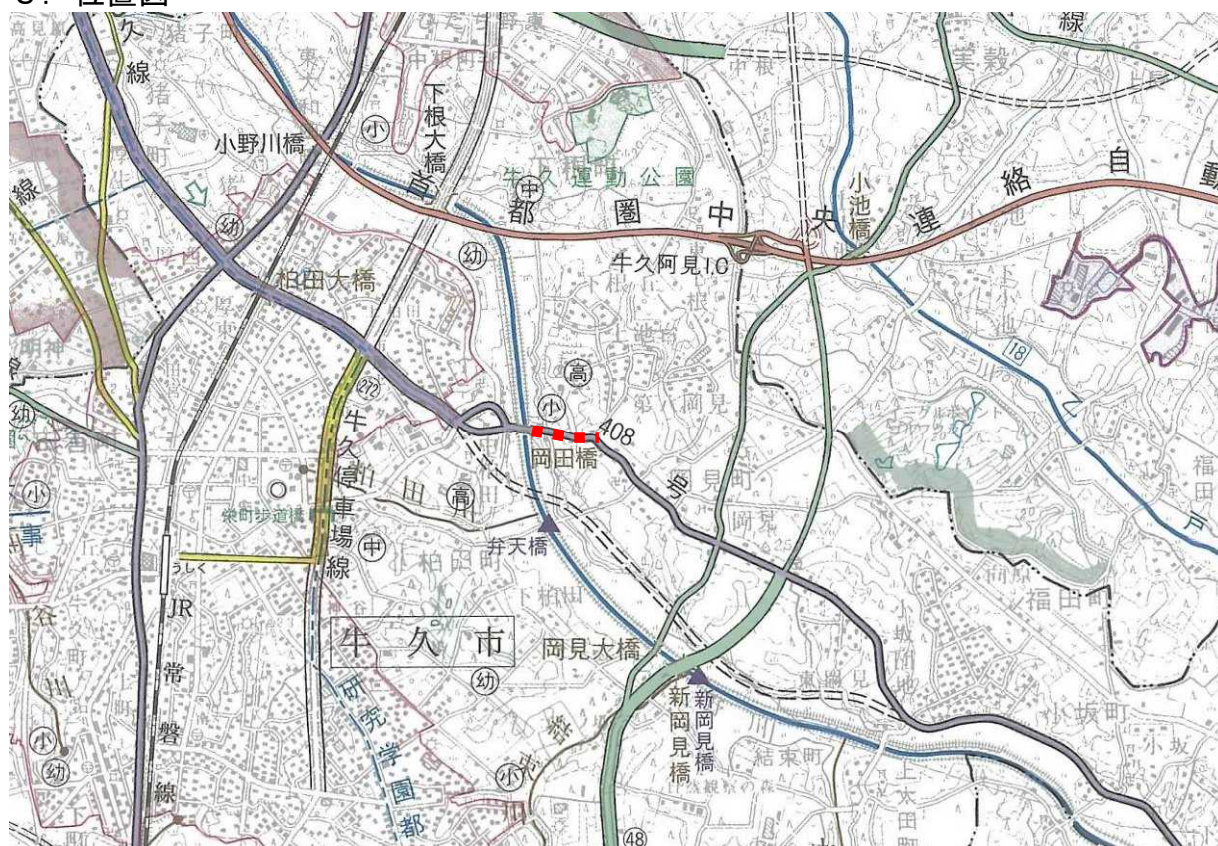
## 2. 要望主旨

牛久市岡見町地内における国道408号沿線には、市立岡田小学校があり、特に岡田橋から上池団地入口交差点までの区間については、全児童が通る主要な通学路となっております。また、隣接して県立牛久高等学校があるとともに、市立牛久第一中学校の通学路にもなっていることから、多くの自転車通学者もおります。

自転車通学者につきましては、本来路側帯を通行すべきところではありますが、車道が狭く、路側帯も狭小であり、さらに大型車の通行が非常に多いことから、歩道を通行しなければならない状況にあります。

このような通学路環境のなかで、当該箇所は歩道の幅員が狭小であるため、通学児童及び自転車通学者が錯綜し、大変危険であることから、地元住民、市議会議員、並びにPTAをはじめとする学校関係者等から多くの整備要望が出されておりますので本市におきましては、国道408号の歩道狭小箇所の拡幅整備促進を要望致します。

## 3. 位置図



## 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路維持課

市町村	牛久市
要望事項	国道408号歩道狭小箇所の拡幅整備促進
現況	本路線は、千葉県成田市を起点に、茨城県南東部を横断し、つくば市へ通じる幹線道路である。牛久市岡見町地内では、通学路に指定されているが、近隣学校の通学時間においても多数の大型車両が往来しており、歩道が狭いため、通学児童と車両との事故の恐れがある。
対応状況	<p>全体計画 延長幅員：L=400m、L=2.5m（歩行スペースあり W=0.5～1.8m）          事業期間：平成28年度～          事業費：300百万円</p> <p>R3まで 事業費78百万円（進捗率26%）          路線測量、設計、用地測量、工事</p> <p>R4 事業費7百万円（進捗率28%）          用地補償、工事</p> <p>R5 事業費14百万円（進捗率33%）          工事</p>
今後の対応・課題等	引き続き、事業進捗を図っていく。

# 要 望 書

つくば市長 五十嵐 立青

## 1 要望事項

一般国道 125 号バイパスの整備促進について  
(つくば市寺具地内～北条地内)

## 2 要望主旨

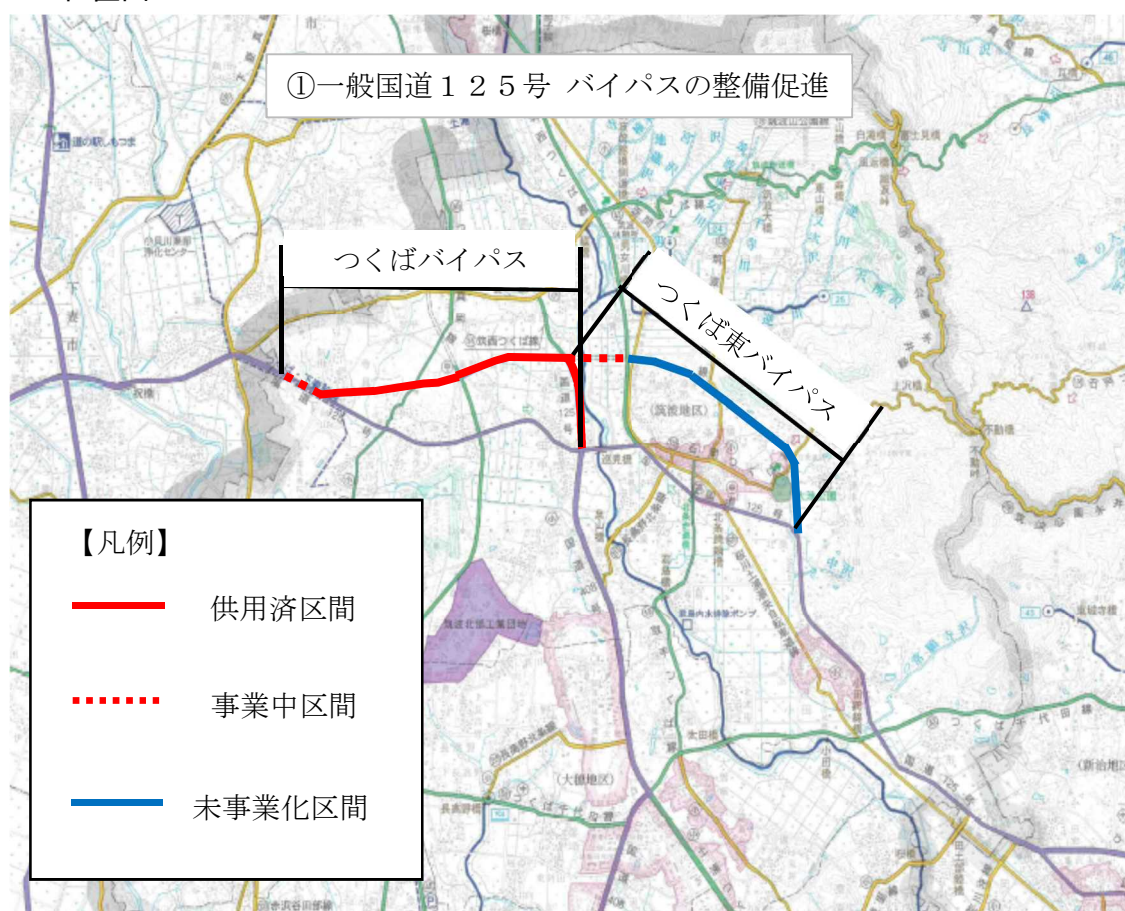
国道 125 号は、つくば市を經由し、県南・県西地区を東西に結ぶ、地域社会の経済や文化の発展に欠かすことのできない広域幹線道路となっております。

国道 125 号の整備については、茨城県の御尽力により、平成 22 年度に田中交差点から池田南交差点までの区間が、筑西つくば線バイパスと合わせて供用開始され、平成 26 年度には、池田南交差点から明石北交差点までの区間が、つくば真岡線バイパスと合わせて供用開始されました。さらに、明石北交差点から寺具までの区間につきましても、令和 2 年 3 月に供用開始されたことから、つくばバイパス区間全線が開通しましたことに、深く敬意を表しますとともに、心より感謝を申し上げます。

しかしながら、いまだバイパスの未整備区間や現道拡幅及び歩道整備が必要な箇所も残されており、近年の交通量の増加及び周辺地域の著しい変化により、通行上危険な箇所が見受けられる状況です。

つきましては、寺具から西側の現道拡幅の区間について整備促進を要望するとともに、令和 2 年度に事業化されましたつくば東バイパスの池田南交差点から主要地方道筑西つくば線までの区間についても早期着工していただきますよう要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	つくば市																
要望事項	一般国道125号バイパスの整備促進																
現況	本路線は、重要物流道路圏央道の代替路・災害時拠点である（株）田島屋筑波倉庫への補完路である。当該箇所の整備により、現道の渋滞箇所である内町下交差点、田中差点の交通混雑緩和及び安全で円滑な交通の確保が図られ、災害時における代替路としての活用が図られるため、早期に整備を行う必要がある。																
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>①一般国道125号 つくばバイパス</td> <td>②一般国道125号 つくば東バイパス</td> </tr> <tr> <td>箇所名</td> <td>つくば市田中～寺具</td> <td>つくば市池田～小和田</td> </tr> <tr> <td>延長幅員</td> <td>L=5,920m（つくば市区間） W=25m</td> <td>L=1,100m W=25m（暫定2車線）</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>H2年度～</td> <td>R2年度～</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約112億円</td> <td>約40億円</td> </tr> </table> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>① 一般国道125号つくばバイパス  H15：下妻区間 L=600m 供用  H22：南北方向 L=1,360m 供用  H26：L=1,440m 供用  R1：東西方向 L=2,000m 供用  R3まで 事業費 10,811百万円（進捗率97%）  道路改良舗装工、交差点改良舗装工、道路舗装工、交通安全施設工  R4 事業費 145百万円（進捗率98%）用地取得、道路改良舗装工  R5 事業費 150百万円（進捗率99%）道路改良舗装工</p> <p>② 一般国道125号つくば東バイパス  R3まで 事業費 187百万円（進捗率5%）  地質調査、測量、道路詳細設計、橋梁詳細設計  R4 事業費 25百万円（進捗率5%）地質調査、用地測量、用地取得  R5 事業費 150百万円（進捗率9%）用地測量、用地取得</p>		事業名	①一般国道125号 つくばバイパス	②一般国道125号 つくば東バイパス	箇所名	つくば市田中～寺具	つくば市池田～小和田	延長幅員	L=5,920m（つくば市区間） W=25m	L=1,100m W=25m（暫定2車線）	事業期間	H2年度～	R2年度～	事業費	約112億円	約40億円
事業名	①一般国道125号 つくばバイパス	②一般国道125号 つくば東バイパス															
箇所名	つくば市田中～寺具	つくば市池田～小和田															
延長幅員	L=5,920m（つくば市区間） W=25m	L=1,100m W=25m（暫定2車線）															
事業期間	H2年度～	R2年度～															
事業費	約112億円	約40億円															
今後の対応・課題等	<p>① 一般国道125号つくばバイパス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南北方向の田中交差点から池田南交差点までの約1.4km区間と、東西方向のバイパス区間の約4.0km区間が供用した。</li> <li>・令和5年度は、大型補償案件があることから、引き続き市の協力を得ながら現道拡幅区間の用地取得に努めるとともに改良舗装工事を進める。</li> </ul> <p>②一般国道125号つくば東バイパス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度補正新規事業化。測量、道路詳細設計を実施。</li> <li>・令和5年度は、物件補償調査、用地取得を進める。</li> </ul>																



# 要 望 書

ひたちなか市長 大谷 明

## 1 要望事項

一級河川中丸川河川改修の促進について

## 2 要望主旨

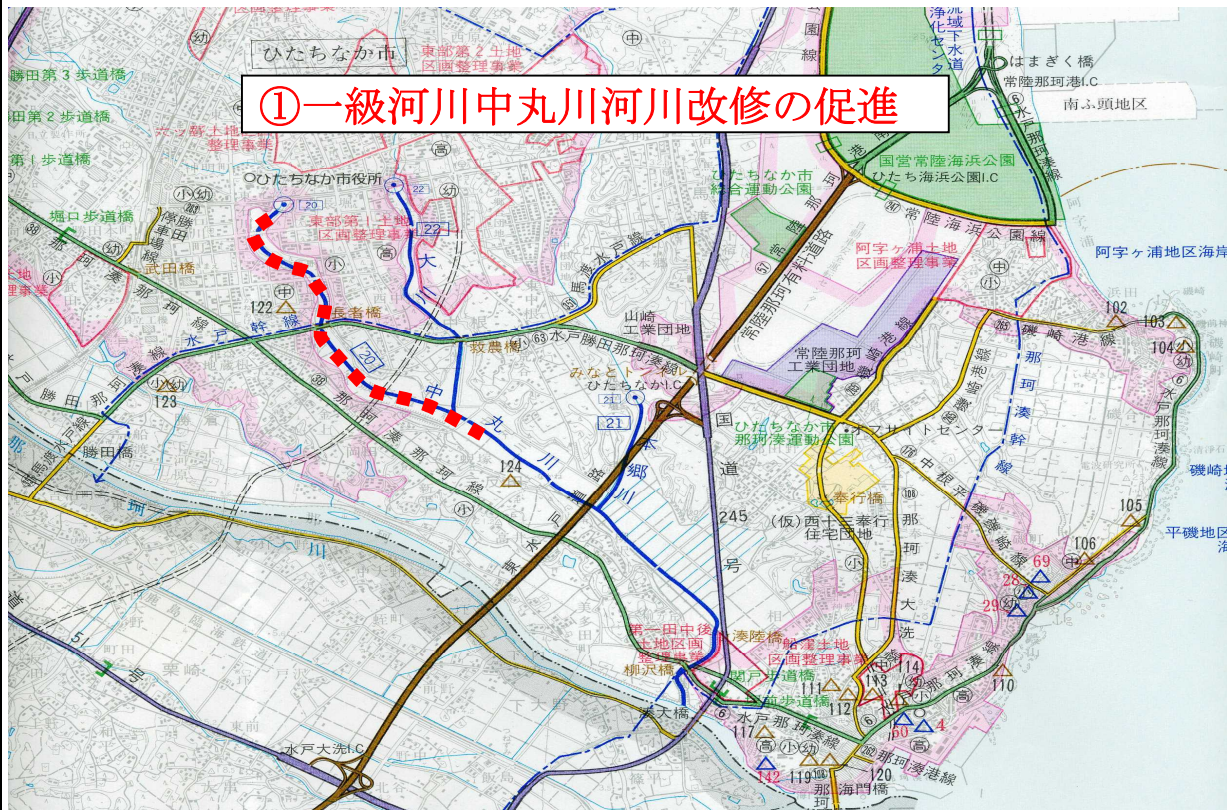
中丸川は、ひたちなか市の西部地区(大字田彦)付近に源を発して、中心市街地を経て水田地帯を流下しながら大川及び本郷川を合して、那珂川に架る湊大橋付近左岸に注ぐ流域面積40.2km<sup>2</sup>、流路延長11kmを有する一級河川です。

本河川の整備については、計画延長6,400mを昭和55年度から用地買収に着手し、現在、那珂川合流点から大川合流点の下流付近まで約3,600mの改修工事が完了し、その上流の整備が進められております。

しかし、上流に位置する市街化区域の都市化の進展及び中丸川の上流にあたる大島雨水幹線が平成24年度に一部完成したことに伴い、これまで以上に大雨時には水量が増大し、河川・水路が氾濫し、沿川家屋や農作物等に多大な被害が発生しています。

この背景をもとに、都市型水害から市民の生命、財産、暮らしを守ることが喫緊の課題であるため、一級河川中丸川河川改修の促進を強く要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	ひたちなか市
要望事項	一級河川中丸川改修の促進
現況	<p>中丸川は、那珂川合流部からひたちなか市東石川地先の昭和通りまでの 6,400m 区間について、河川改修と多目的調節池の整備を進めている。また、支川の本郷川は、合流部から 1,200m 区間について河川改修を進めている。</p>
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業延長 : 7,600m (中丸川 6,400m + 本郷川 1,200m) (昭和 55 年度着手)</li> <li>・全体事業費 : 11,200 百万円</li> <li>・令和 2 年度末までに下流から道栄橋下流までの 3,800m 区間 (本郷川 200m を含む) が完了</li> <li>・多目的調節池事業については、令和元年度より補助事業化 (大規模特定河川事業)</li> <li>・ひたちなか市内の浸水被害を軽減するため、下水道事業と連携し令和元年 9 月に「100mm/h 安心プラン」を策定。これに伴い、道栄橋から大川合流点までの区間について、令和 2 年度より補助事業化 (事業間連携河川事業)、令和 5 年度完了見込み。</li> </ul> <p>R 3 年度まで : 工事、用地買収等                      事業費 7,828 百万円    進捗率 73.9%</p> <p>R 4 年度 : 工事、用地買収等 (R3 補正含む) 事業費 900 百万円    進捗率 81.0%</p> <p>R 5 年度 : 工事、用地買収等 (R4 補正含む) 事業費 436 百万円    進捗率 81.8%</p> <p>(概略図)</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調節池及び道栄橋から大川合流点区間 (600m) の河道改修について、早期の完成に向けて整備を進めていく</li> </ul>

# 要 望 書

鹿嶋市長 田口 伸一

## 1 要望事項

主要地方道茨城鹿島線，都市計画道路宮中佐田線の早期完成及び延伸計画の実現

## 2 要望主旨

主要地方道茨城鹿島線（都市計画道路宮中佐田線）は，鹿嶋市を南北に縦断し，国道51号及び国道124号の広域幹線を結ぶ主要な幹線道路であります。

本路線は，朝夕の通通勤時間帯やカシマサッカースタジアムでのJリーグ等の開催時において慢性的な交通渋滞が発生しております。また，令和2年9月には鹿島港・外港地区が洋上風力発電事業に係る基地港湾に指定されたところであり，鹿島港及び鹿島臨海工業地帯へのアクセス向上により，物流機能を充足させる道路体系の整備が急務であることはもちろんのこと，災害時における緊急輸送路や避難路として重要な役割を果たしている道路であります。

つきましては，現計画で残る須賀工区の整備促進及び国道124号バイパスから県道粟生木崎線までの延伸計画決定を含め，早期の整備促進を強く要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	鹿嶋市																
要望事項	主要地方道茨城鹿島線（都市計画道路宮中佐田線）の早期完成及び延伸計画の実現																
現況	本路線は、鹿嶋市を南北に縦断する幹線道路で、鹿島港外港地区における物流機能の充実、交通渋滞の緩和、災害時の緊急輸送道路の役割など、多大な効果が期待されることから、整備が求められている。																
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>地区名</td> <td>① 須賀工区</td> <td>② 延伸計画区間</td> </tr> <tr> <td>箇所名</td> <td>鹿嶋市須賀</td> <td>鹿嶋市木滝～栗生</td> </tr> <tr> <td>延長幅員</td> <td>L=1,310m、W=16m</td> <td>L=1,800m、W=22m (都決箇所と同じと仮定)</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>平成23年度～</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約27億円</td> <td>約100億円</td> </tr> </table> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>①須賀工区          全体延長 L=1,310m のうち、県道拡幅区間 L=480m を優先工区として事業中。          市道拡幅区間 L=830m については、県道と市道の交換手続きを進める。</p> <p><b>【優先工区】</b> 全体事業費 650 百万円          R3 まで 事業費 567 百万円（進捗率 87%）                    用地取得、道路改良工事          R4 事業費 0 百万円（進捗率 87%）          R5 事業費 5 百万円（進捗率 88%）                    用地補償調査                  残る用地（残3名4筆）の取得交渉を進める。</p> <p><b>【市道拡幅区間】</b> 全体事業費 約2,000 百万円          R5 県道と市道の交換手続き調整。</p> <p>②延伸計画区間          未着手</p>		地区名	① 須賀工区	② 延伸計画区間	箇所名	鹿嶋市須賀	鹿嶋市木滝～栗生	延長幅員	L=1,310m、W=16m	L=1,800m、W=22m (都決箇所と同じと仮定)	事業期間	平成23年度～	—	事業費	約27億円	約100億円
地区名	① 須賀工区	② 延伸計画区間															
箇所名	鹿嶋市須賀	鹿嶋市木滝～栗生															
延長幅員	L=1,310m、W=16m	L=1,800m、W=22m (都決箇所と同じと仮定)															
事業期間	平成23年度～	—															
事業費	約27億円	約100億円															
今後の対応・課題等	<p>①須賀工区          優先工区の残る用地の取得に努めるとともに、市道拡幅箇所の県道と市道の交換手続きを進める。</p> <p>②延伸計画区間          計画の具体化に向けて、公団混乱地区など用地の課題解決を進めるとともに、街づくりの観点から、道路の必要性を高めていくことが重要。          (参考)          ○宮中・佐田工区：全線4車線供用済み。（L=1,955m、W=22m）          ○須賀工区：事業延長480mのうち、320mが整備済み。</p>																

# 要 望 書

潮来市長 原 浩道

## 1 要望事項

一級河川前川の景観・環境・水質浄化に配慮した河川改修の整備促進

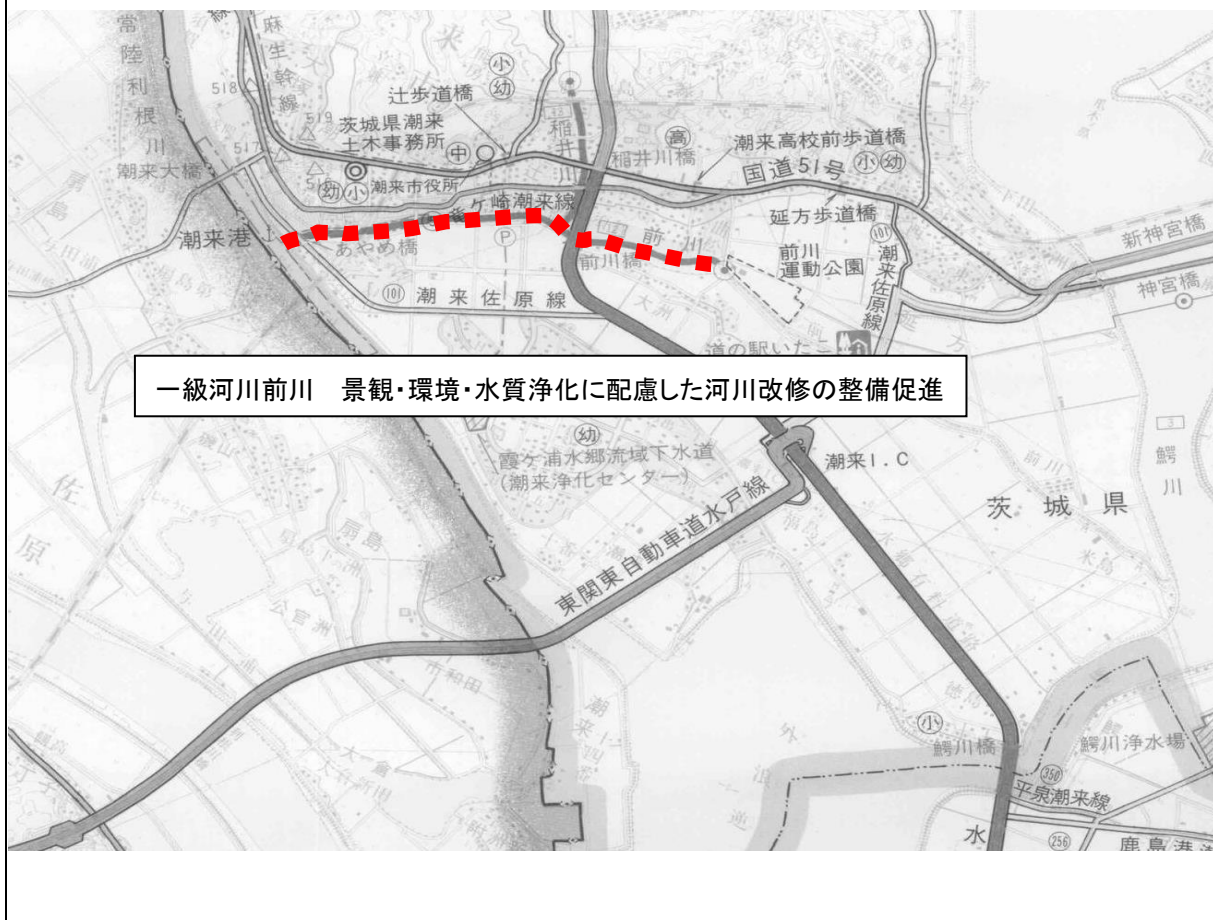
## 2 要望主旨

一級河川前川は、江戸時代より水運の中継地として賑わい、水郷潮来の象徴として観光交流の拠点であります。

近年、台風等による浸水被害が多く早期の治水対策が望まれてきましたが、国の事業により河口部に前川水門と一体となる強制排水施設が平成22年3月に完成し、今後の治水対策に大きな効果をもつものと期待されています。また、水害被害軽減を目的とした前川中流部の拡幅及び管理用通路の整備が進められています。

引き続き、前川河川改修に合わせた遊歩道の修復・再生・回遊経路の確保の整備にあたり治水防災対策を優先しつつ、景観・環境・水質浄化に配慮した一体的な整備を要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	潮来市
要望事項	一級河川前川の景観・環境・水質浄化に配慮した河川改修の整備促進
現況	前川は、常陸利根川合流部から潮来市大洲地先の大洲閘門までの 3,120m 区間について、河川改修を進めている。
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業延長 : 3,120m (平成元年度着手)</li> <li>・全体事業費 : 2,671 百万円</li> <li>・平成 16 年 3 月に「前川ふるさとの川整備事業」の認定を受け、景観・環境や舟からの視点に配慮した護岸等の整備(鋼矢板前面への丸太設置、管理用通路の土系舗装)を進めてきた。</li> <li>・国(霞ヶ浦河川事務所)により、河口部に内水排除ポンプ施設が整備された。 (H22.4.25 竣工式)</li> <li>・中流部の流下能力不足区間(約 800m)については、潮来市との調整により二列河川を現川拡幅計画に見直し、平成 23 年度に「前川かわまちづくり計画」を策定</li> </ul> <p>R 3 年度まで: 工事、用地買収等 事業費 1,348 百万円 進捗率 54.2%</p> <p>R 4 年度 : 工事、用地買収等 (R 3 補正) 事業費 100 百万円 進捗率 65.4%</p> <p>R 5 年度 : 工事、用地買収等 (R 4 補正含む) 事業費 330 百万円 進捗率 66.6%</p> <p>(概略図)</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あやめ橋から前川橋までの 2,000m 区間において、「前川かわまちづくり計画」に基づき、景観・環境・水質浄化に配慮した護岸整備を進めていく。</li> <li>・特に、出島橋から上米橋まで区間(800m)について、優先的に整備を進めていく。</li> </ul>

# 要 望 書

守谷市長 松丸修久

## 1. 要望事項

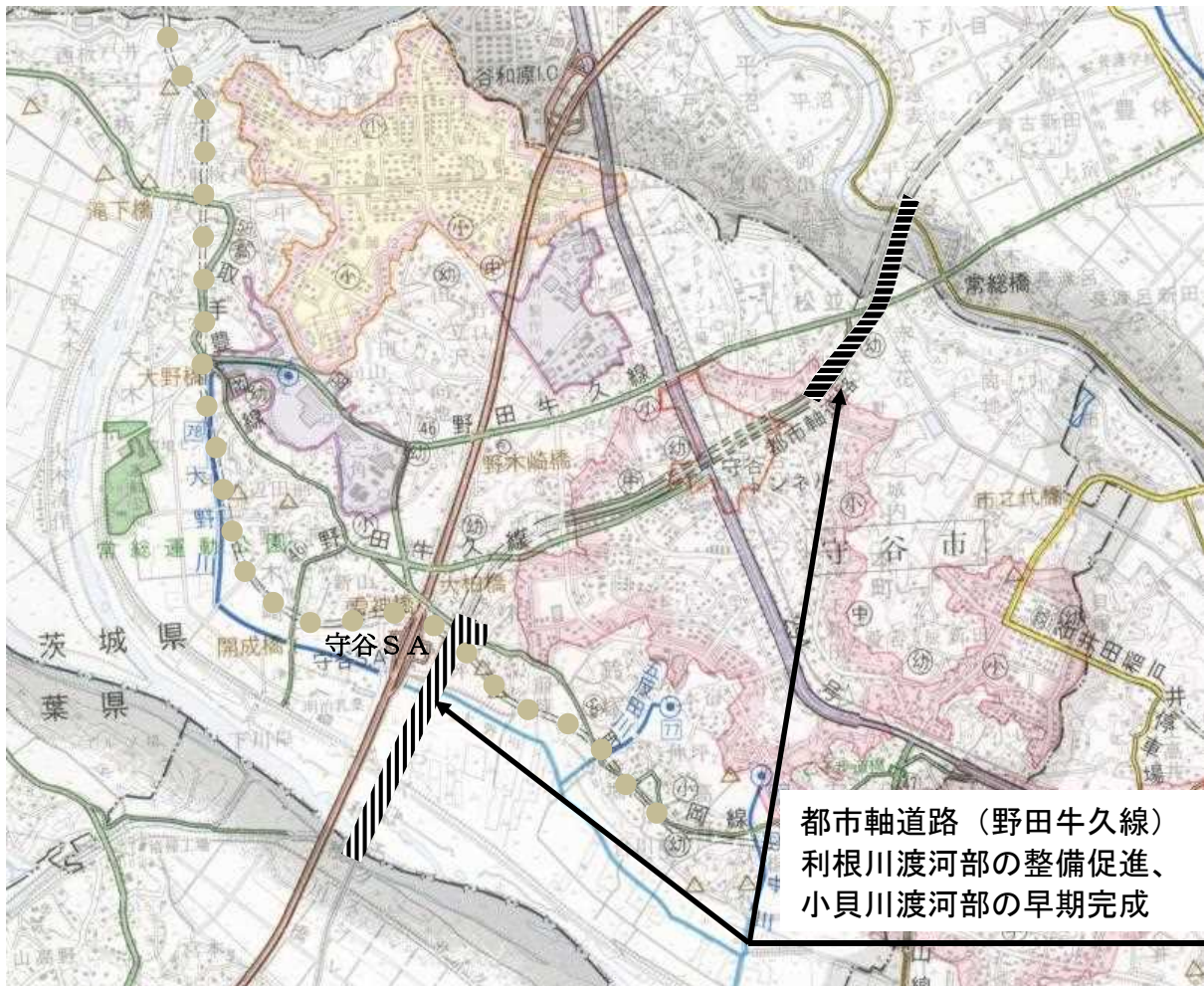
都市軸道路（野田牛久線）利根川渡河部の整備促進、小貝川渡河部の早期完成

## 2. 要望主旨

都市軸道路（野田牛久線）は、埼玉県、千葉県及び茨城県のつくばエクスプレス沿線地域の骨格軸を形成する広域幹線道路であり、更なるつくばエクスプレス沿線のネットワークの形成を図るためにも利根川渡河部の整備促進及び小貝川渡河部の早期完成が急務となっております。

特に、都市軸道路の利根川渡河部の整備は、新たなまちづくり・交流の促進が図られるだけでなく、本市が計画している（仮）守谷SAスマートICと都市軸道路及び都市計画道路供平板戸井線が一体的に機能することで常磐自動車道や国道6号などの慢性的な渋滞の解消や首都圏の物流の効率化が期待されることから、一日でも早い整備促進を要望するものです。

## 3. 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	守谷市
要望事項	都市軸道路（野田牛久線）利根川渡河部の整備促進、小貝川渡河部の早期完成
現況	都市軸道路（野田牛久線）は、埼玉県、千葉県及び茨城県のつくばエクスプレス沿線地域の骨格軸を形成する広域幹線道路である。特に都市軸道路の利根川渡河部の整備は、常磐自動車道や国道 6 号などの慢性的な渋滞の緩和や首都圏の物流の効率化が期待されることから、早期の整備が求められている。
対応状況	<p>○都市軸道路（主要地方道 野田牛久線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箇所名：守谷市大柏～つくばみらい市東檜戸</li> <li>・延長幅員：L=9.9km W=30～40m（4車線）</li> <li>・事業期間：平成7年度～</li> <li>・事業費：約922億円</li> <li>・H25年度までに8.4km供用（2車線）</li> </ul> <p>（利根川渡河部）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R1年度～ 利根川渡河部の基礎調査実施</li> </ul> <p>（小貝川渡河部・柳島高架橋）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度まで 事業費：42,320百万円（進捗率：46%） 測量・設計、用地取得、橋梁工事、道路改良工事</li> <li>・R4年度 事業費：883百万円（進捗率：47%） 橋梁工事、道路改良工事</li> <li>・R5年度 事業費：1,145百万円（進捗率：48%） 橋梁工事、道路改良工事</li> </ul>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小貝川渡河部を優先的に整備するとともに、引き続き県道常総取手線までの4車線化を進めていく。</li> <li>・令和5年度は、小貝川渡河部の橋面舗装工事及び柳島高架橋上部工事を実施する。</li> <li>・利根川渡河部については、補助調査費を活用し、千葉県と基礎調査を進めていく。また、早期着手に向けて、国及び千葉県との調整を進めていく。</li> </ul>



# 要 望 書

常陸大宮市長 鈴木 定 幸

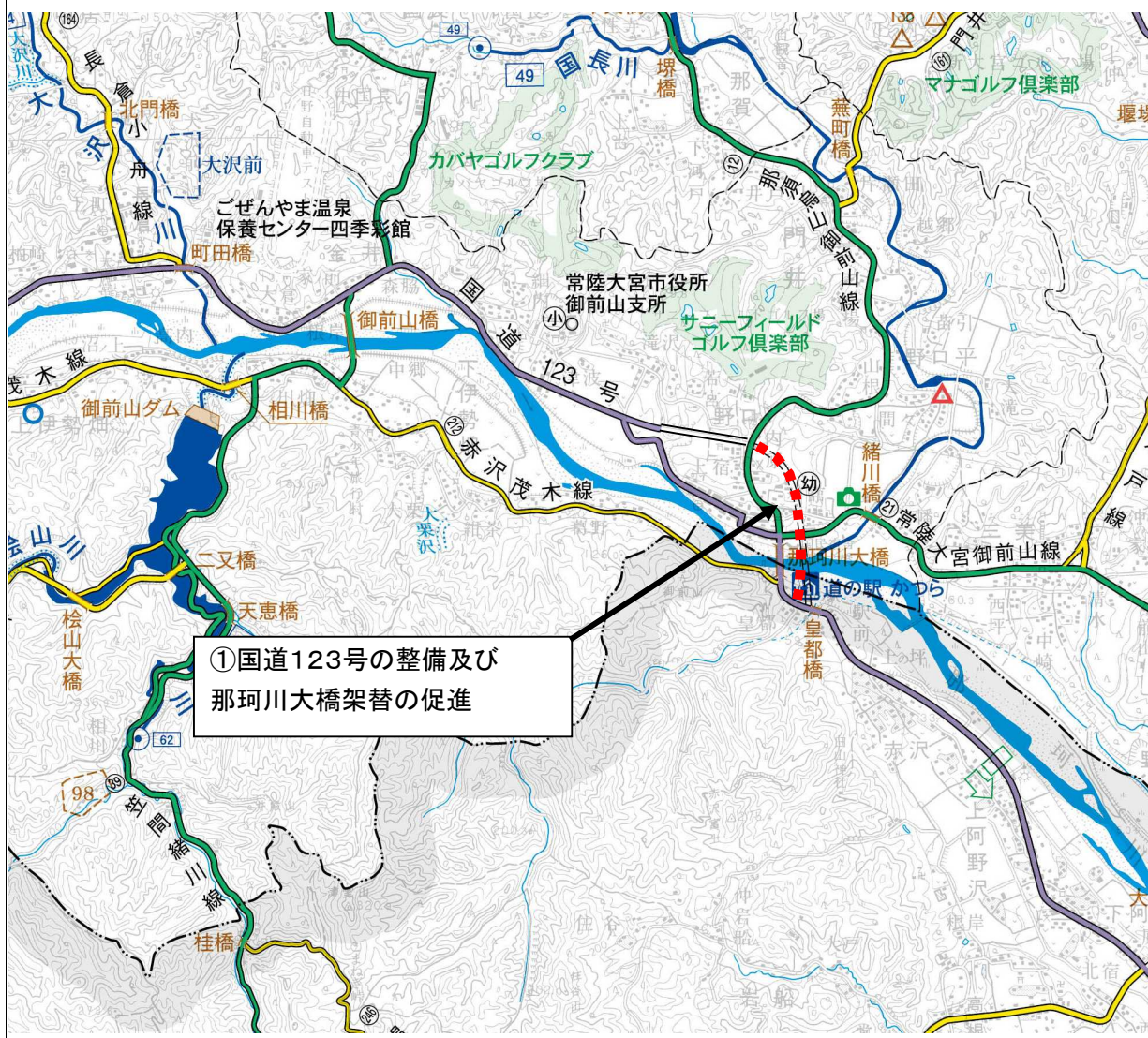
## 1. 要望事項

国道123号の整備及び那珂川大橋架替の促進（野口地内）

## 2. 要望主旨

国道123号の那珂川大橋については、幅員が狭く大型車の交互通行が困難な状態にあります。  
本道路は、本市御前山地域から県庁所在地である水戸市への重要なアクセス道路であるばかりでなく、通勤・通学等にも利用されており生活の基盤として大変重要な道路でありますので、橋梁の取付区間（バイパス部）の整備と共に那珂川大橋架替の促進を要望いたします。

## 3. 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	常陸大宮市																
要望事項	国道123号の整備及び那珂川大橋架替の促進																
現況	<p>本路線は、緊急輸送道路にも指定されており、通常時だけでなく緊急時にも地域の輸送等を支える道路である。</p> <p>当該箇所の整備により、那珂川大橋の幅員狭小が解消されるとともに、災害時における代替路としての活用が図られるため、早期に整備を行う必要がある。</p>																
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>①一般国道123号 御前山バイパス</td> <td>②一般国道123号 那珂川大橋</td> </tr> <tr> <td>箇所名</td> <td>常陸大宮市野口</td> <td>常陸大宮市野口～城里町御前山</td> </tr> <tr> <td>延長幅員</td> <td>L=700m W=12m (2車線)</td> <td>L=800m W=12m (2車線)</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>R2年度～</td> <td>R2年度～</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約35億円</td> <td>約65億円</td> </tr> </table> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>① 一般国道123号御前山バイパス</p> <p>R3まで 事業費 70百万円 (進捗率2%) 地質調査、設計</p> <p>R4 事業費 10百万円 (進捗率2%) 用地測量、用地測量</p> <p>R5 事業費 50百万円 (進捗率4%) 用地取得</p> <p>② 一般国道123号那珂川大橋</p> <p>R3まで 事業費 318百万円 (進捗率5%) 地質調査、設計、用地測量</p> <p>R4 事業費 156百万円 (進捗率7%) 物件調査、用地取得</p> <p>R5 事業費 100百万円 (進捗率9%) 用地取得</p>		事業名	①一般国道123号 御前山バイパス	②一般国道123号 那珂川大橋	箇所名	常陸大宮市野口	常陸大宮市野口～城里町御前山	延長幅員	L=700m W=12m (2車線)	L=800m W=12m (2車線)	事業期間	R2年度～	R2年度～	事業費	約35億円	約65億円
事業名	①一般国道123号 御前山バイパス	②一般国道123号 那珂川大橋															
箇所名	常陸大宮市野口	常陸大宮市野口～城里町御前山															
延長幅員	L=700m W=12m (2車線)	L=800m W=12m (2車線)															
事業期間	R2年度～	R2年度～															
事業費	約35億円	約65億円															
今後の対応・課題等	<p>① 一般国道123号御前山バイパス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度は、用地取得を進める。</li> </ul> <p>② 一般国道123号那珂川大橋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度は、用地取得を進める。</li> <li>那珂川大橋の架け替えについて、常陸河川国道事務所と協議中。</li> </ul>																

# 要 望 書

那珂市長 先崎 光

## 1. 要望事項

国道118号の4車線化事業の促進

## 2. 要望主旨

国道118号は、那珂ICを利用した行楽地へ向かう観光客や、沿線の工業団地への物流道路として利用されていますが、観光シーズンや平日朝夕の通勤時間帯における著しい渋滞が発生し、円滑な交通に大きな支障をきたしております。

また本路線につきましては、各拠点をつなぐ道路ネットワークによる地域経済の活性化や、安全・安心の地域づくり、広域連携を含めた災害時の緊急避難路・重要物流道路の強化などの防災に資する道路としての観点から、早期の4車線での整備促進を要望いたします。

## 3. 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	那珂市
要望事項	国道118号の4車線化事業の促進
現況	本路線の整備により、那珂市内の交通混雑の緩和が図られるとともに、緊急輸送道路に指定していることから、災害時における代替路としての活用が図られるため、早期に整備を行う必要がある。
対応状況	<p><b>【概要】</b>            一般国道118号那珂大宮バイパス            ・箇所名 : 那珂市飯田 ~ 常陸大宮市下村田            ・延長幅員 : L=8,300m W=28m (4車線)            ・事業期間 : 平成8年度 ~            ・事業費 : 約226億円</p> <p><b>【進捗状況】</b>            H23 : 常陸大宮市下村田地内の延長1,600mを4車線で供用            R2 : 那珂市瓜連地内から常陸大宮市下村田地内までの1,600mを4車線で供用            R3まで 事業費 14,163百万円 (進捗率63%)                      用地取得、改良舗装工、橋梁上下部工            R4 事業費 275百万円 (進捗率64%)                      用地取得、改良舗装工            R5 事業費 100百万円 (進捗率64%)                      測量設計、用地取得</p>
今後の対応・課題等	<p>・全体計画8.3kmのうち、平成23年9月までに北側の約1.6kmを4車線供用。            これに続く南側、玉川橋から(都)平野・杉本線までの約3.1km区間を優先的に整備しており、令和3年3月には北側の約1.6kmを4車線で供用した。            さらに南側の県道日立笠間線交差点から(都)平野・杉本線交差点南側までの約1.5km区間については、令和4年11月に4車線で供用した。            ・令和5年度は、(都)平野・杉本線交差点南側から(都)菅谷飯田線までの約3.6km区間について、測量設計を進める。</p>

# 要 望 書

筑西市長 須藤 茂

## 1. 要望事項

主要地方道筑西つくば線バイパスの整備促進について

## 2. 要望主旨

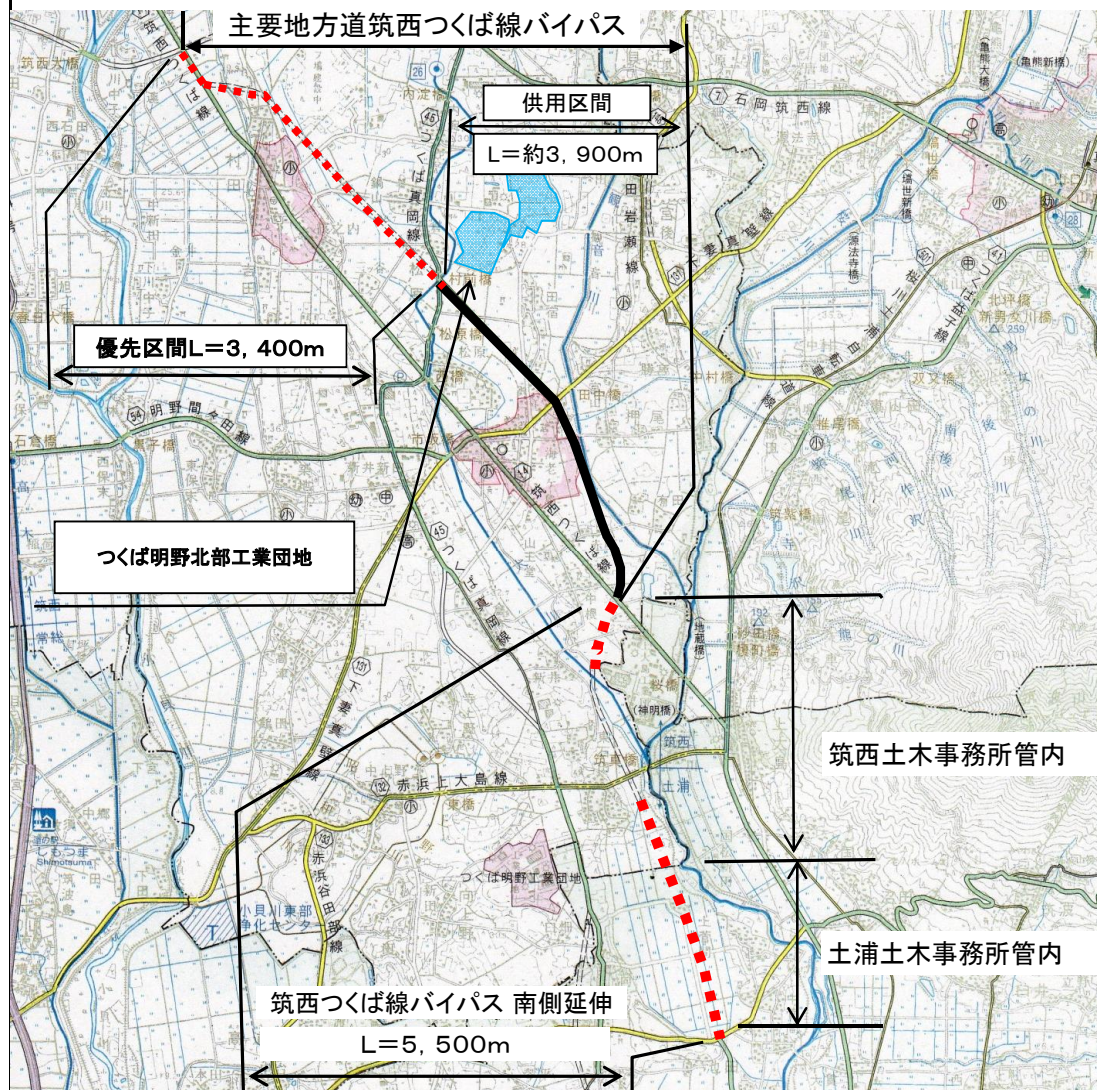
主要地方道筑西つくば線は、県西の北部地域と研究学園都市のあるつくば市へ連絡している重要な路線であり、地域間交流や産業振興に大きな影響を得るものであります。

バイパス沿線においては、つくば明野北部工業団地があり、令和3年には24haの拡張造成が完了し、現在も7haの拡張造成中であるため、将来的には、物流の重要な役割を担う幹線道路であります。

また、当該路線は、県道つくば真岡線から南側への現道に接続する約3,900mが暫定2車線により供用開始しております。今後、北側へ延伸し、筑西幹線道路へ接続することにより、国道4号方面やつくば市へのアクセス機能の充実を図る重要な道路であります。

当市といたしましては、企業が活動しやすい道路整備を進め、併せて災害に強い広域ネットワークを構築し、代替性の道路ネットワークの確保のため、南側延伸を含め全線の早期整備促進を要望いたします。

## 3. 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	筑西市
要望事項	主要地方道筑西つくば線バイパスの整備促進
現況	<p>本路線は、つくばエクスプレスの開業により、新たな都市発展を見込むつくば地域と筑西地域を結ぶ重要な路線である。筑西市村田から中根地内においては、現道の沿道に人家が連担し、幅員が狭く、歩道がなく、歩行者や自動車の安全で円滑な通行に支障が生じている状況であることから、バイパス整備を実施している。</p> <p>本バイパスは、つくば明野北部工業団地へのアクセス道路となり、本バイパスの整備により、物流や交流の活性化が図られる。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <p>主要地方道 筑西つくば線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箇所名：筑西市村田～中根</li> <li>・延長幅員：L=6,960m W=27m（暫定2車線）</li> <li>・事業期間：平成7年度～</li> <li>・事業費：約89億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>H19：L=600m 供用（工業団地進入路～市道田宿猫島線）  H21：L=500m 供用（工業団地進入路～つくば真岡線）  H25：L=600m 供用（市道田宿猫島線～下妻真壁線）  H29：L=2,180m 供用（下妻真壁線～筑西つくば線現道）</p> <p>R3まで 事業費 4,463 百万円（進捗率 50%）  測量、設計、用地取得、道路改良舗装工事</p> <p>R4 事業費 175 百万円（進捗率 52%）  用地取得</p> <p>R5 事業費 300 百万円（進捗率 55%）  用地取得、道路改良工事</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・つくば真岡線から北側の区間については、平成29年度から着手しており、筑西市の協力を得ながら、引き続き用地取得を進め、用地が取得できた区間から工事に着手していく。</li> <li>・なお、本バイパスの南側への延伸については、現在整備中のバイパス整備を最優先に進めるが、ルート検討や整備手法などについて、筑西市、つくば市と協議をしていく。</li> </ul>

# 要 望 書

坂東市長 木村 敏文

## 1 要望事項

主要地方道結城坂東線バイパスの整備促進について

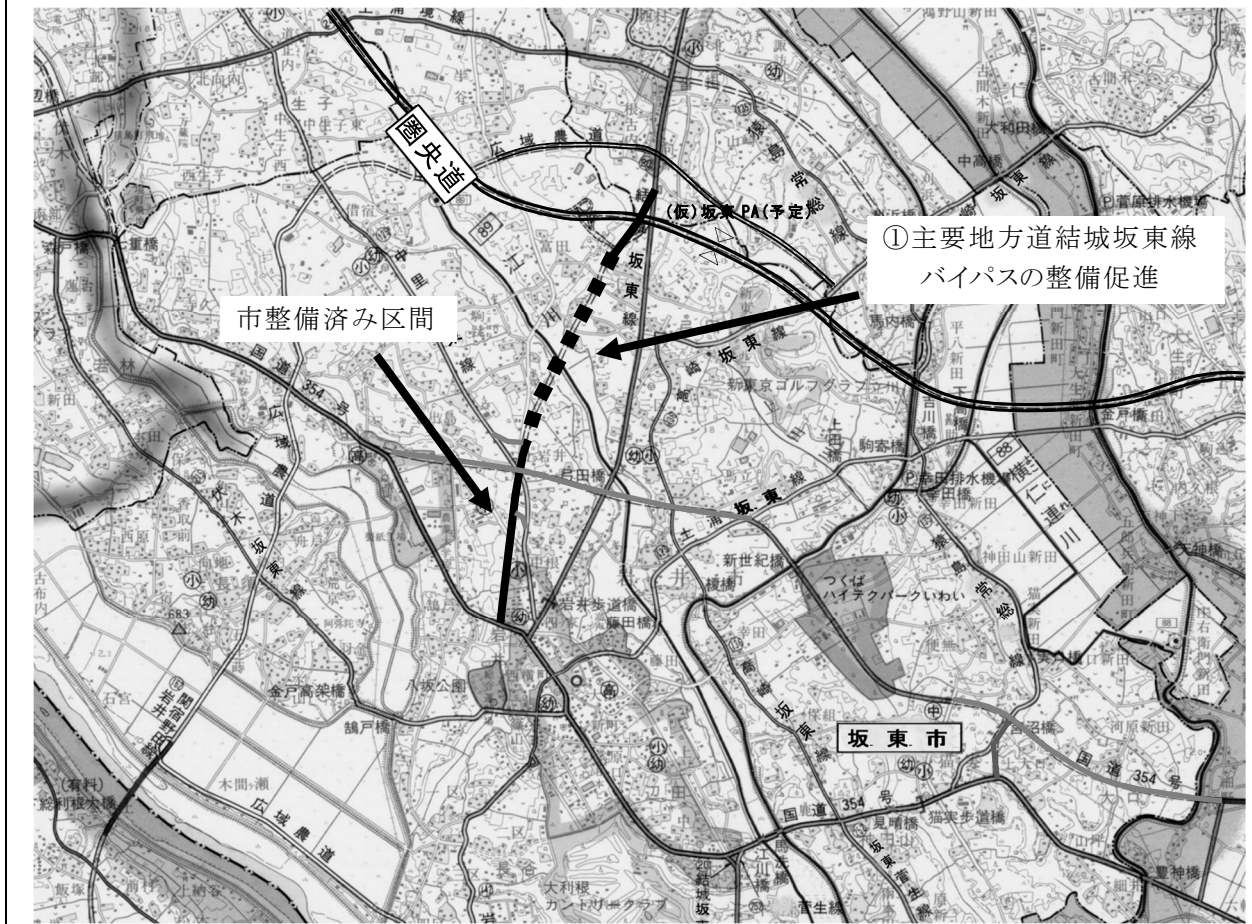
## 2 要望主旨

主要地方道結城坂東線バイパスは、坂東市岩井地域内の中心部から圏央道坂東ICとを連結する路線であり、産業基盤道路としての重要な役割を担っております。

当路線の早期整備により、現在整備・計画中である（仮称）坂東パーキングエリア及び地域利便施設へのアクセス道路となり、地域活性化や周辺開発及び結城坂東線と中里坂東線交差点の慢性的渋滞の緩和が図れるなど、坂東市発展の基盤となる道路です。

令和2年度には、江川渡河の駒橋徒架設が完了するなど鋭意整備をいただいているところではありますが、早期全線開通に向けたより一層の整備促進を要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	坂東市
要望事項	主要地方道結城坂東線バイパス（都市計画道路沓掛橋岩井線）の整備促進
現況	<p>本路線は、結城市から坂東市に至る地域を南北に結ぶ、延長約38kmの主要な幹線道路である。</p> <p>また、首都圏中央連絡自動車道の坂東ICへのアクセス道路である。圏央道の4車線化の整備により交通量の増加が見込まれることから、当該箇所への整備により交通の円滑化を図る。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b>            主要地方道結城坂東線            ・箇所名：坂東市沓掛～岩井            ・延長幅員：L=3,000m W=16m(2車線)            ・事業期間：平成18年度～            ・事業費：約34億円</p> <p><b>【進捗状況】</b>            H27年度：L=380m 供用            H28年度：L=740m 供用            H30年度：L=1,880m補助事業化</p> <p>R3まで 事業費2,440百万円（進捗率72%）            用地取得、河川護岸工事、橋梁上部工事、道路改良舗装工事            R4 事業費 392百万円（進捗率78%）            道路改良舗装工事            R5 事業費 250百万円（進捗率88%）            道路改良舗装工事</p>
今後の対応・課題等	<p>・圏央道4車線化の整備進捗を見ながら整備を推進していく。</p>



# 要 望 書

稲敷市長 笥 信太郎

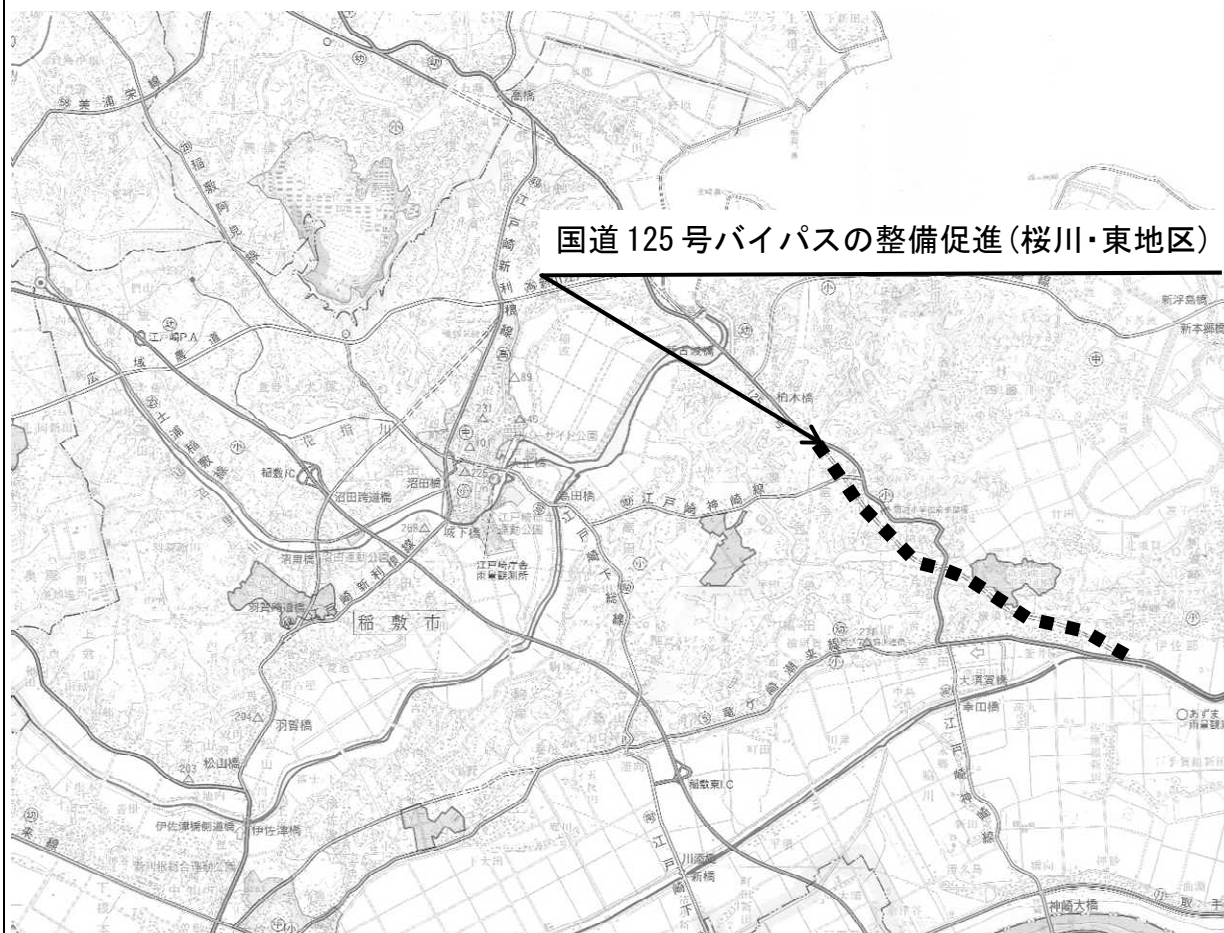
## 1. 要望事項

国道125号バイパスの整備促進（桜川・東地区）

## 2. 要望主旨

国道125号は、稲敷市から土浦方面及び鹿嶋方面を結ぶ幹線道路であり、用地等の協力体制を整え、順調に事業の推進が図られております。また、首都圏中央連絡自動車道茨城県内区間全線開通に伴い成田空港からの観光アクセスの向上、大型物流施設の生産性の向上等に大きく発展が期待できることから、早急な周辺道路の整備を必要としています。特に現道の狭隘で見通しが悪い危険箇所解消と、歩道未整備区間における地元住民の安全な生活道路の確保のために重要な路線でありますので、早急な整備促進を要望いたします。

## 3. 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	稲敷市																
要望事項	国道125号バイパスの整備促進（桜川・東地区）																
現況	本路線の整備により、線形不良区間の迂回を図り、交通混雑の緩和及び安全で円滑な交通が確保されるとともに、緊急輸送道路に指定していることから、災害時における代替路としての活用が図られるため、早期に整備を行う必要がある。																
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>①一般国道125号 桜川バイパス</td> <td>②一般国道125号 (仮称) 東バイパス</td> </tr> <tr> <td>箇所名</td> <td>稲敷市阿波～稲敷市神宮寺</td> <td>稲敷市伊佐部～稲敷市阿波</td> </tr> <tr> <td>延長幅員</td> <td>L=2,400m W=23m (4車線)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>H16年度～</td> <td>未着手</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約37億円</td> <td>—</td> </tr> </table> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>① 一般国道125号 桜川バイパス</p> <p>R3まで 事業費 2,929百万円 (進捗率79%) 測量、設計、地質調査、用地取得、地盤改良工事、道路改良工事 埋蔵文化財発掘調査</p> <p>R4 事業費 316百万円 (進捗率88%) 用地取得、道路改良工事</p> <p>R5 事業費 370百万円 (進捗率98%) 用地取得、道路改良工事</p>		事業名	①一般国道125号 桜川バイパス	②一般国道125号 (仮称) 東バイパス	箇所名	稲敷市阿波～稲敷市神宮寺	稲敷市伊佐部～稲敷市阿波	延長幅員	L=2,400m W=23m (4車線)	—	事業期間	H16年度～	未着手	事業費	約37億円	—
事業名	①一般国道125号 桜川バイパス	②一般国道125号 (仮称) 東バイパス															
箇所名	稲敷市阿波～稲敷市神宮寺	稲敷市伊佐部～稲敷市阿波															
延長幅員	L=2,400m W=23m (4車線)	—															
事業期間	H16年度～	未着手															
事業費	約37億円	—															
今後の対応・課題等	<p>① 一般国道125号 桜川バイパス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・残る用地の取得に努めるとともに、まとまった用地が確保された箇所の工事を進め、早期の供用を目指す。</li> <li>・令和5年度は、用地取得及び道路改良工事を進める。</li> </ul> <p>② 一般国道125号 (仮称) 東バイパス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・桜川バイパスの事業進捗や、交通量の推移を見ながら検討していく。</li> </ul>																

# 要 望 書

かすみがうら市長 宮嶋 謙

## 1 要望事項

一般県道 牛渡馬場山土浦線の歩道整備促進

## 2 要望主旨

一般県道牛渡馬場山土浦線（央倉・下稲吉）は3市（かすみがうら市・土浦市・石岡市）が一体となって整備を進めている災害拠点病院である土浦協同病院（土浦市おおつ野地区）へのアクセスする広域的な幹線道路の一部を構成する道路であります。（当市整備路線は、歩車分離道路）

当区間は市街化区域でありながら歩道未整備区間があり、地元や学校関係者からも強い歩道設置要望が出されております。また、ウエルネスプラザ（市保健福祉施設）のアクセス路線にもなっていることや神立駅橋上化に伴い、当駅からの近接地でもあることから歩行者の往来も高まっております。

このため、歩行者及び自転車の安全と交通の円滑化を図るためにも当区間の歩道整備の早期促進を要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路維持課

市町村	かすみがうら市
要望事項	県道牛渡馬場山土浦線の歩道整備促進
現況	本路線は、かすみがうら市から土浦市を結ぶ幹線道路である。当該箇所は、市立霞ヶ浦南小学校の通学路として利用されているが、歩道がないため通学児童及び自転車が車道にはみ出して通行しており大変危険な状況にある。
対応状況	<p>全体計画 延長幅員：L=1,100m、W=2.0m(両側) 事業期間：令和2年度～ 事業費：350百万円 進捗率：21% (R4末時点)</p> <p>(交付金工区) 延長幅員：L=430m、W=2.0m×2(両側) 事業期間：令和2年度～ 事業費：150百万円</p> <p>R3まで 事業費38百万円(進捗率25%) 路線測量、設計、用地補償</p> <p>R4 事業費17百万円(進捗率37%) 用地測量、工事、用地補償</p> <p>R5 事業費45百万円(進捗率67%) 工事、用地補償</p> <p>(個別補助工区) 延長幅員：L=670m、W=2.0m(両側) 事業期間：令和4年度～ 事業費：200百万円</p> <p>R4 事業費18百万円(進捗率9%) 路線測量、設計、用地測量</p> <p>R5 事業費15百万円(進捗率17%) 用地補償</p>
今後の対応・課題等	引き続き、事業進捗を図っていく。

# 要 望 書

桜川市長 大塚 秀喜

## 1 要望事項

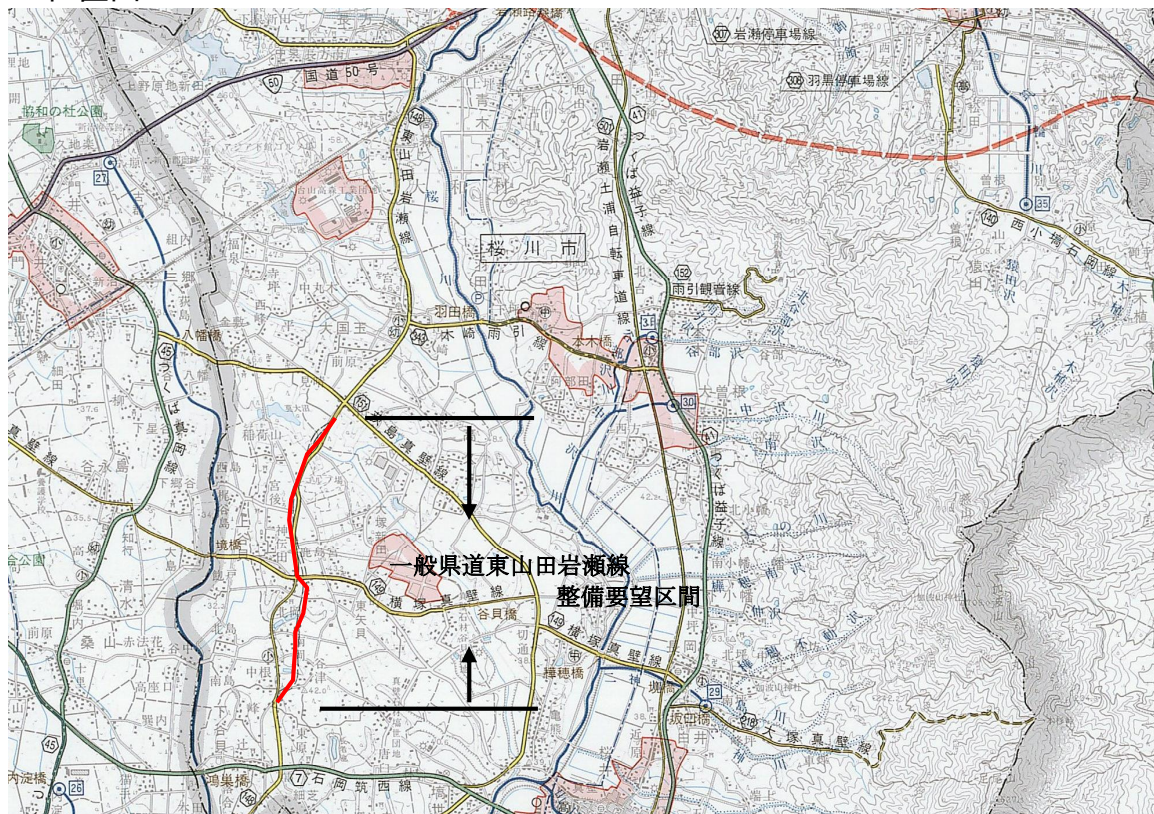
一般県道東山田岩瀬線整備事業の促進について

## 2 要望主旨

一般県道東山田岩瀬線は、桜川市真壁町東山田から、筑西市(旧明野町)・谷貝地区・大和地区を経て国道50号に至り、さらに北関東自動車道桜川筑西ICへのアクセス道路であります。また、周辺住民の生活道路としても、大変重要な役割を果たす基幹道路であります。また、現道の幅員は狭隘で、整備要望区間はセンターラインも無く見通しが悪いため危険な状況であります。また北関東自動車道が全線開通したことにより交通量が増加し事故が多発しております。

用地買収の済んだ区間から、順次工事に取り組んでいただいているところであり、整備要望区間については、現道への歩道整備を進めていただきましたが、更なる用地取得を図り、順次工事を促進していただきたく要望いたします。災害防止、安全・円滑な交通の確保を図るため早期整備に向けて優先的に取り組んでいただくことを要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	桜川市									
要望事項	一般県道東山田岩瀬線整備事業促進									
現況	一般県道東山田岩瀬線は、桜川市大国玉～筑西市宮後経て国道 50 号に至る生活道路であるとともに、谷貝小の通学路にもなっており、幅員も狭く、歩道もないことから、現道拡幅工事やバイパス工事を進めている。									
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <p>一般県道東山田岩瀬線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 箇所名：桜川市大国玉～筑西市宮後</li> <li>・ 延長幅員：L=8,280m W=12m(2車線)</li> <li>・ 事業期間：平成7年度～</li> <li>・ 事業費：約55億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 供用延長：L=5,480m</li> </ul> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>1 工区</td> <td>： 2,540m (筑西市宮後地内)</td> <td>L=2,540m 供用</td> </tr> <tr> <td>2 工区</td> <td>： 2,680m (桜川市下谷貝地内)</td> <td>L=1,040m 供用</td> </tr> <tr> <td>3 工区</td> <td>： 3,060m (桜川市上谷貝地内)</td> <td>L=1,900m 供用</td> </tr> </table> <p>R3 まで 事業費 4,004 百万円 (進捗率 73%)          用地取得、道路改良舗装工事</p> <p>R4 事業費 73 百万円 (進捗率 74%)          地質調査、道路改良舗装工事</p> <p>R5 事業費 53 百万円 (進捗率 75%)          用地取得、道路改良舗装工事</p>	1 工区	： 2,540m (筑西市宮後地内)	L=2,540m 供用	2 工区	： 2,680m (桜川市下谷貝地内)	L=1,040m 供用	3 工区	： 3,060m (桜川市上谷貝地内)	L=1,900m 供用
1 工区	： 2,540m (筑西市宮後地内)	L=2,540m 供用								
2 工区	： 2,680m (桜川市下谷貝地内)	L=1,040m 供用								
3 工区	： 3,060m (桜川市上谷貝地内)	L=1,900m 供用								
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 工区については、H29.3 に全線供用済み。</li> <li>・ 2、3 工区については、用地取得を推進するとともに、用地のまとまった区間から順次工事を実施していく。</li> </ul>									

# 要 望 書

神栖市長 石田 進

## 1 要望事項

県道深芝浜波崎線拡幅整備（波崎消防署付近）

## 2 要望主旨

県道深芝浜波崎線は、幅員が狭隘で拡幅が望まれています。現在植松（交差点）地区まで拡幅工事が進行してきていますが、鹿島臨海工業地帯への通勤者で慢性的な混雑が発生しており、全線において、早期拡幅整備が必要であります。

特に、未拡幅区間において、波崎消防署付近の交差点の一部整備に伴い、より円滑な動線確保する必要があるため、前後区間の拡幅整備を要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課・道路維持課

市町村	神栖市																						
要望事項	県道深芝浜波崎線拡幅整備（波崎消防署付近）																						
現況	一般県道深芝浜波崎線は、神栖市を南北に縦貫し、国道124号を補完する道路であり、鹿島臨海工業地帯へのアクセス機能の充実、朝夕の交通混雑の緩和、通学児童の安全確保など、地域経済活動に多大な効果が期待されることから整備が求められている。																						
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>各事業概要</th> <th>① 【西松下交差点～市道2158号線】</th> <th>② 【市道2158号線～東舎利交差点】</th> <th>【東舎利交差点～県道波崎港線との交差点（波崎消防署付近含）】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画延長</td> <td>2,360m</td> <td>3,900m</td> <td>2,890m</td> </tr> <tr> <td>計画幅員</td> <td>W=14m（2車線）</td> <td>W=14m（2車線）</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>H18～</td> <td>H27～</td> <td>～H25（歩道のみ）</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約16億</td> <td>検討中</td> <td>約11億（歩道のみ）</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【進捗状況】</b>          &lt;&lt;道路建設課&gt;&gt;          ① 事業中区間（西松下交差点から市道2158号線まで）          R2：L=1,560m 供用          R3まで 事業費1,265百万円（進捗率79%）              道路改良舗装工事、用地取得          R4 事業費18百万円（進捗率81%）          R5 事業費35百万円（進捗率83%）              用地取得          ②未整備区間（市道2158号線から東舎利交差点まで）          R1まで 事業費46百万円              測量設計、用地取得、補償調査、              道路改良工事（神栖市波崎（舎利）狭小区間）          ③未整備区間（東舎利交差点から県道波崎港線との交差点まで）          H25：歩道整備のみ完了          H25まで事業費1,093百万円              測量・設計、用地取得、歩道整備工事、交差点改良工事</p>			各事業概要	① 【西松下交差点～市道2158号線】	② 【市道2158号線～東舎利交差点】	【東舎利交差点～県道波崎港線との交差点（波崎消防署付近含）】	計画延長	2,360m	3,900m	2,890m	計画幅員	W=14m（2車線）	W=14m（2車線）	-	事業期間	H18～	H27～	～H25（歩道のみ）	事業費	約16億	検討中	約11億（歩道のみ）
各事業概要	① 【西松下交差点～市道2158号線】	② 【市道2158号線～東舎利交差点】	【東舎利交差点～県道波崎港線との交差点（波崎消防署付近含）】																				
計画延長	2,360m	3,900m	2,890m																				
計画幅員	W=14m（2車線）	W=14m（2車線）	-																				
事業期間	H18～	H27～	～H25（歩道のみ）																				
事業費	約16億	検討中	約11億（歩道のみ）																				
今後の対応・課題等	① 事業中区間 ・県単予算で用地取得を行っていく。 ・用地買収箇所から整備を進めていく。 ②未整備区間 ・①工区の整備を優先とし、交通状況を勘案しながら検討していく。 ③未整備（歩道整備済み）区間【波崎消防署付近】 ・①、②工区の整備を優先とし、交通状況を勘案しながら検討していく。																						





# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課・道路維持課

市町村	行方市																																		
要望事項	主要地方道水戸神栖線の整備促進																																		
現況	<p>主要地方道水戸神栖線は、水戸市から神栖市を結ぶ、南北方向の幹線道路であり、災害時における国道 355 号の代替路としての活用が図られる路線である。</p> <p>当該路線の整備により、歩道のない区間が解消され、安全で円滑な交通の確保が図られるため、早期に整備を行う必要がある。</p>																																		
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>①芹沢 (上山交差点)</th> <th>②手賀</th> <th>③玉造甲 、井上藤井</th> <th>④井貝</th> <th>⑤小高</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長</td> <td>440m</td> <td>2,100m</td> <td>3,340m</td> <td>350m</td> <td>1,460m</td> </tr> <tr> <td>幅員 (車線)</td> <td>12.5m (2車線)</td> <td>15m (2車線)</td> <td>15m (2車線)</td> <td>10.5m (2車線)</td> <td>15m (2車線)</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>H17～H28</td> <td>H29～</td> <td>H8～</td> <td>H19～H26</td> <td>H16～H25</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約 3.7 億円</td> <td>約 6.5 億円</td> <td>約 22 億円</td> <td>約 1.3 億円</td> <td>約 7.7 億円</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>①、④、⑤地区については、事業が完了している。</p> <p>②手賀地内  R3 まで 事業費 141 百万円 (進捗率 21%)  詳細設計、用地測量、物件調査、用地取得  R4 事業費 50 百万円 (進捗率 24%)  用地取得  R5 事業費 190 百万円 (進捗率 59%)  工事</p> <p>③玉造甲、井上藤井地内  R3 まで 事業費 592 百万円 (進捗率 27%)  路線測量、地質調査、詳細設計、用地測量、用地取得、工事  R4 事業費 8 百万円 (進捗率 28%)  流末測量設計  R5 事業費 78 百万円 (進捗率 31%)  流末用地測量</p>					地区名	①芹沢 (上山交差点)	②手賀	③玉造甲 、井上藤井	④井貝	⑤小高	延長	440m	2,100m	3,340m	350m	1,460m	幅員 (車線)	12.5m (2車線)	15m (2車線)	15m (2車線)	10.5m (2車線)	15m (2車線)	事業期間	H17～H28	H29～	H8～	H19～H26	H16～H25	事業費	約 3.7 億円	約 6.5 億円	約 22 億円	約 1.3 億円	約 7.7 億円
地区名	①芹沢 (上山交差点)	②手賀	③玉造甲 、井上藤井	④井貝	⑤小高																														
延長	440m	2,100m	3,340m	350m	1,460m																														
幅員 (車線)	12.5m (2車線)	15m (2車線)	15m (2車線)	10.5m (2車線)	15m (2車線)																														
事業期間	H17～H28	H29～	H8～	H19～H26	H16～H25																														
事業費	約 3.7 億円	約 6.5 億円	約 22 億円	約 1.3 億円	約 7.7 億円																														
今後の対応・課題等	<p>②手賀地区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、スクールバス停留所付近の約 740m 区間を優先的に進めており、今年度は、工事を進めていく。</li> </ul> <p>③玉造甲、井上藤井地区</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>井上藤井交差点を含む優先区間約 860m 区間の工事が R4.3 に完了。</li> <li>引き続き手賀地内と井上藤井工区の事業を進めていく。</li> </ul>																																		

# 要 望 書

銚田市長 岸田一夫

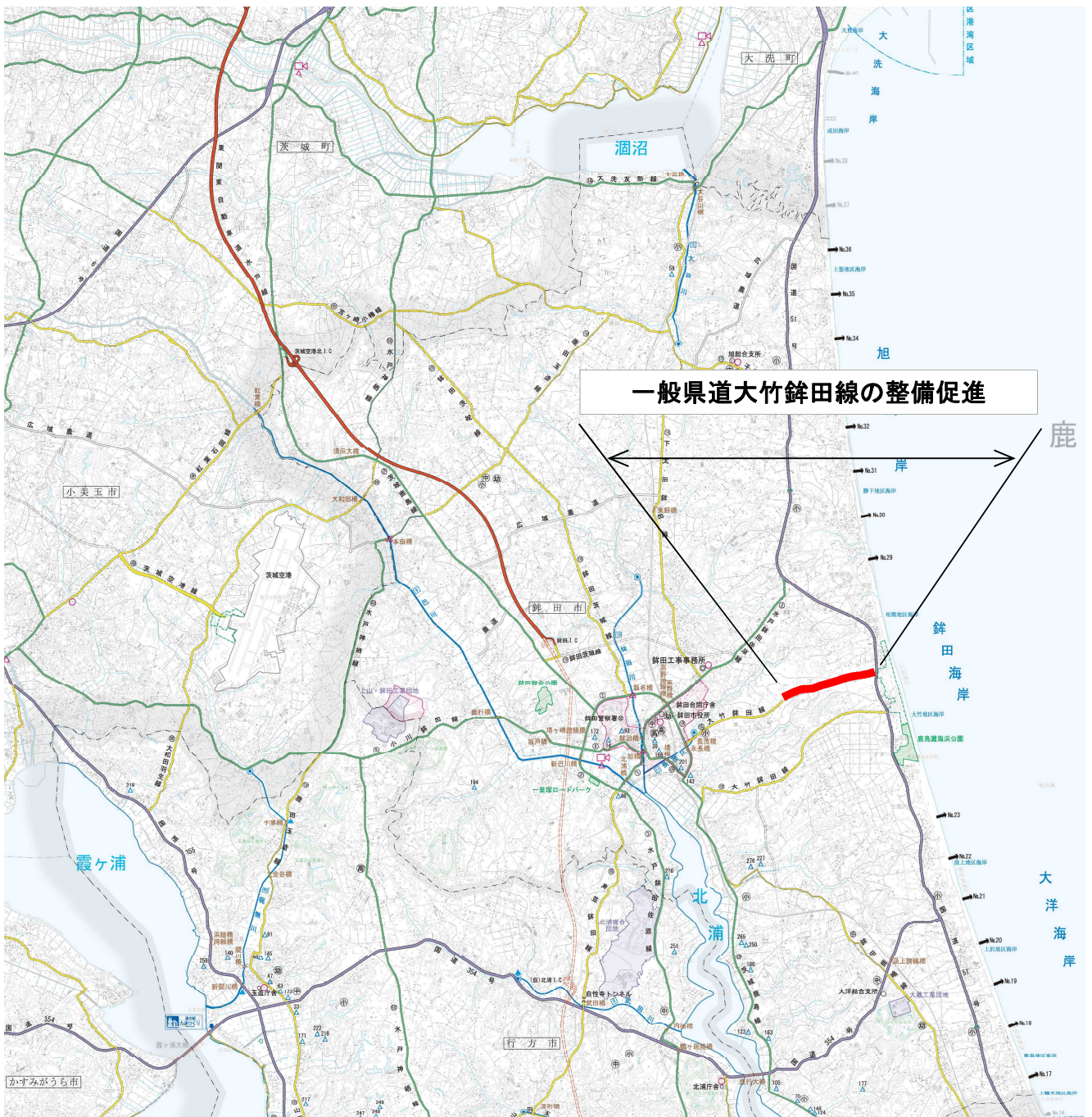
## 1 要望事項

一般県道大竹銚田線（バイパス）の整備促進

## 2 要望主旨

一般県道大竹銚田線（バイパス）は、海水浴シーズンの渋滞緩和や鹿島灘海浜公園へのアクセス道路となるなど、市民の生活環境の向上や産業基盤の強化のためにも早期完成を強く望むものです。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	銚田市
要望事項	一般県道大竹銚田線（バイパス）の整備促進
現況	<p>一般県道大竹銚田線は、銚田市臨海部の国道51号から銚田市の中心部を結ぶ地域の幹線道路である。</p> <p>しかしながら、現道は幅員が5.0mと狭く、歩道もないため、大型車の通行や、付近にある銚田南小学校の通学児童にとっても交通安全上危険な箇所となっていることから、バイパス整備を実施している。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <p>①一般県道 大竹銚田線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箇所名：銚田市畑田</li> <li>・延長幅員：L=2,850m W=12～15m（2車線）</li> <li>・事業期間：平成15年度～</li> <li>・事業費：約9.8億円</li> </ul> <p>②一般県道 大竹銚田線（先線）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箇所名：銚田市白塚</li> <li>・全体延長：L=1,820m</li> <li>・事業期間：R1～</li> <li>・事業費：約31億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>①一般県道 大竹銚田線</p> <p>R1まで 事業費 982百万円（進捗率100%） 用地取得、工事</p> <p>R2 L=2,850m 供用</p> <p>②一般県道 大竹銚田線（先線）</p> <p>R3まで 事業費 89百万円（進捗率3%） 道路概略設計、交通量推計、路線測量、道路予備設計</p> <p>R4 事業費 21百万円（進捗率4%） 橋梁詳細設計</p> <p>R5 事業費 57百万円（進捗率5%） 用地測量</p>
今後の対応・課題等	<p>①：令和2年9月に供用</p> <p>②：調査設計を実施し、事業の推進を図る。</p>

# 要 望 書

つくばみらい市長 小田川 浩

## 1. 要望事項

主要地方道つくば野田線整備促進について

## 2. 要望主旨

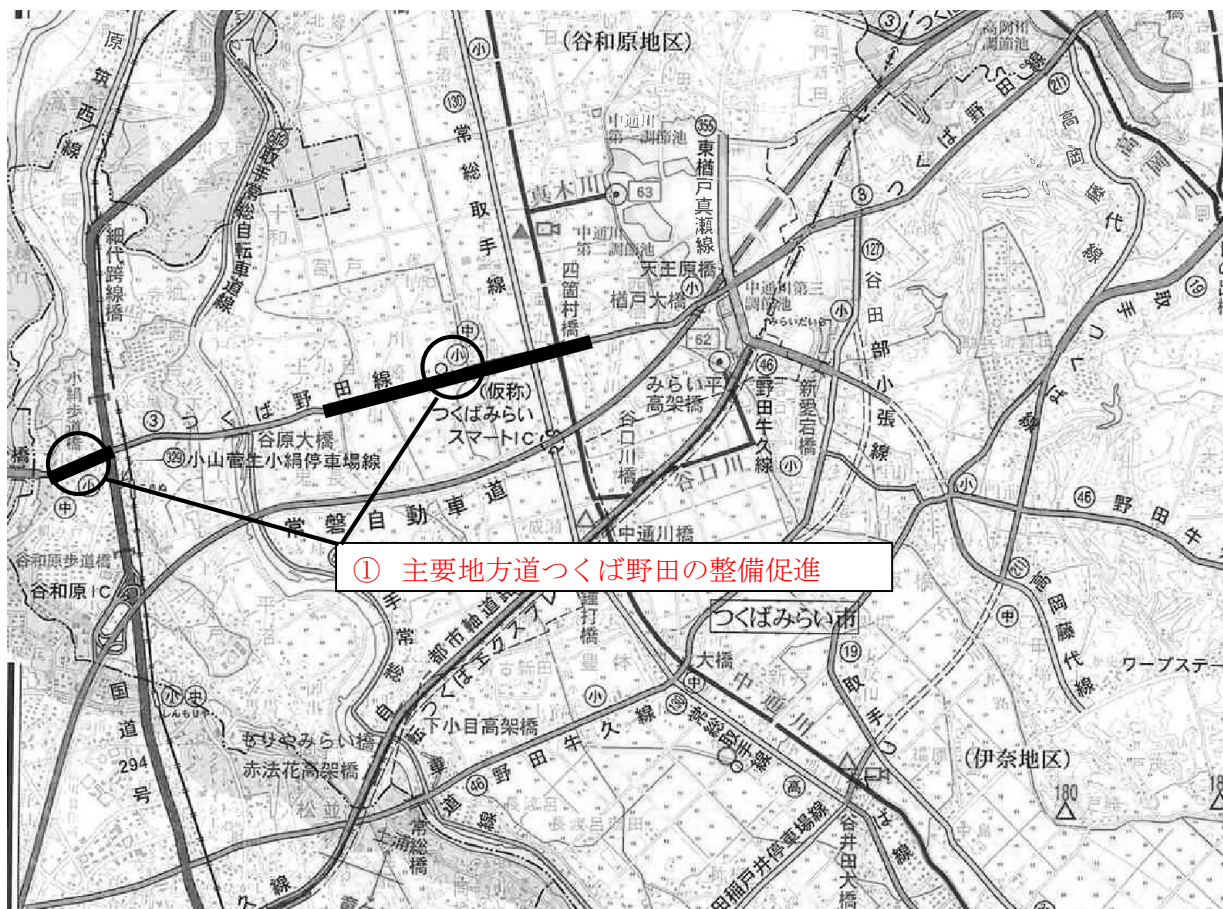
つくば野田線は、つくば市を起点に当市を經由して千葉県野田市に至る全長約27kmの広域的な主要幹線道です。

つくばエクスプレス線の開業に伴うみらい平地区や沿線開発の進展により、大型車を含めた交通量は年々増加しており、国道294号交差点では交通渋滞が慢性化していることから、渋滞緩和のために国道294号小絹東交差点から玉台橋東交差点間の4車線化が必要と考えられます。

また、当路線は、すでに茨城県により道路改良工事が進められておりますが、東櫛戸から上小目間においては、幅員が狭い箇所や歩道が未整備の箇所が点在し、歩行者や自転車が安全に通行できる状況にありません。

(仮称)つくばみらいスマートICが事業化されたこともあり、ますます交通量が増加することが見込まれることから、今後とも整備のより一層の進捗を図るとともに、早期の全線改良工事完成を要望いたします。

## 3. 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	つくばみらい市																			
要望事項	主要地方道つくば野田線整備促進																			
現況	<p>つくば野田線は、つくば市を起点に千葉県野田市に至る全長約27kmの広域的な主要幹線道である。</p> <p>国道294号交差点では交通渋滞が慢性化していることから、渋滞緩和のために国道294号小絹東交差点から玉台橋東交差点間の4車線化を進めている。</p> <p>東檜戸から上小目間においては、幅員が狭い箇所や歩道が未整備の箇所が点在しており、歩行者や自転車の安全確保のため整備を進めている。</p>																			
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区名</th> <th>①主要地方道 つくば野田線</th> <th>②都市計画道路 玉台橋・西檜戸線</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>箇所名</td> <td>つくばみらい市加藤</td> <td>つくばみらい市小絹</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>道路事業</td> <td>街路事業</td> </tr> <tr> <td>延長幅員</td> <td>L=4,370m W=18~16m (2車線)</td> <td>L=595m W=25m (4車線)</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>H4~</td> <td>R2~</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約76億円</td> <td>約7億円</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>① (主)つくば野田線</p> <p>R3まで 事業費：6,026百万円 (進捗率79%) 用地取得、工事</p> <p>R4 事業費：100百万円 (進捗率81%) 用地取得、工事</p> <p>R5 事業費：39百万円 (進捗率81%) 用地取得、工事</p> <p>② (都)玉台橋・西檜戸線</p> <p>R3まで 事業費：49百万円 (進捗率：7%) 設計、測量、補償調査</p> <p>R4 事業費：49百万円 (進捗率：14%) 用地取得</p> <p>R5 事業費：50百万円 (進捗率：21%) 用地取得</p>		地区名	①主要地方道 つくば野田線	②都市計画道路 玉台橋・西檜戸線	箇所名	つくばみらい市加藤	つくばみらい市小絹	区分	道路事業	街路事業	延長幅員	L=4,370m W=18~16m (2車線)	L=595m W=25m (4車線)	事業期間	H4~	R2~	事業費	約76億円	約7億円
地区名	①主要地方道 つくば野田線	②都市計画道路 玉台橋・西檜戸線																		
箇所名	つくばみらい市加藤	つくばみらい市小絹																		
区分	道路事業	街路事業																		
延長幅員	L=4,370m W=18~16m (2車線)	L=595m W=25m (4車線)																		
事業期間	H4~	R2~																		
事業費	約76億円	約7億円																		
今後の対応・課題等	<p><b>【主要地方道 つくば野田線】</b></p> <p>・道路改良舗装工事を進め、未整備区間については用地測量・用地取得に着手していく。</p> <p><b>【都市計画道路 玉台橋・西檜戸線】</b></p> <p>・引き続き用地取得を進め、まとまった用地が確保できた箇所から順次工事に着手していく。</p>																			

# 要 望 書

小美玉市長 島 田 幸 三

## 1 要望事項

主要地方道玉里水戸線バイパスの整備促進

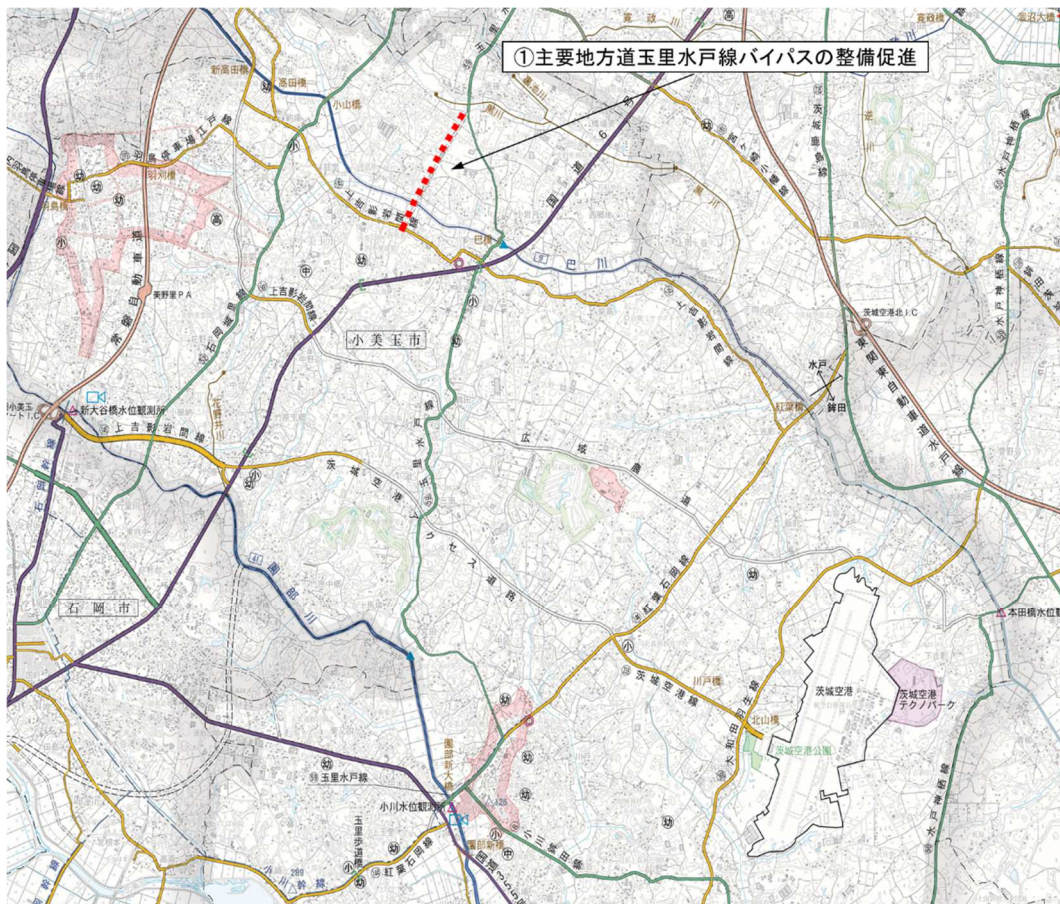
## 2 要望主旨

平成22年3月に開港した『茨城空港』は、多岐にわたる波及効果が期待できるとともに、今後のまちづくりを展開していくうえで、最も重要な役割を担うものと考えております。また、道路は豊かな生活文化、活力ある経済社会活動を支える最も基本的かつ重要な社会資本であり、その整備に地域住民の熱い期待が寄せられております。

本路線は、国道6号と常磐自動車道の間に位置し、これらを補完する役割を担っているとともに沿線地域の経済及び生活の基盤として利用されています。しかしながら、本路線は幅員狭小箇所があり度々渋滞などの障害を起し、一般通行や付近住民の生活に多大な影響を及ぼしている状況です。

つきましては、道路が産業経済発展の基盤となる大変重要なものであることや、本路線の整備によって「茨城空港」へのアクセスルートの一つになることから、バイパス区間の整備推進を強く要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	小美玉市
要望事項	主要地方道玉里水戸線バイパスの整備促進
現況	本路線は、小美玉市の国道 355 号から水戸市の国道 50 号に至る幹線道路である。小美玉市先後から堅倉地内においては、現道の幅員が狭く、屈曲し、歩道がないなど、歩行者や自動車の安全で円滑な通行に支障が生じている状況であることから、バイパス整備を実施している。
対応状況	<p><b>【概要】</b>            主要地方道玉里水戸線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箇所名：小美玉市先後～堅倉</li> <li>・延長幅員：L=2,220m W=15m (2車線)</li> <li>・事業期間：平成6年度～</li> <li>・事業費：約16億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>R3 まで 事業費 536 百万円 (進捗率 34%)            測量、設計、用地取得</p> <p>R4 事業費 101 百万円 (進捗率 40%)            用地取得、道路改良工事</p> <p>R5 事業費 160 百万円 (進捗率 50%)            用地取得、道路改良工事</p>
今後の対応・課題等	・引き続き、用地取得、道路改良工事を進める。



# 要 望 書

茨城町長 小林 宣夫

## 1 要望事項

主要地方道大洗友部線（駒渡～小鶴）の整備促進について

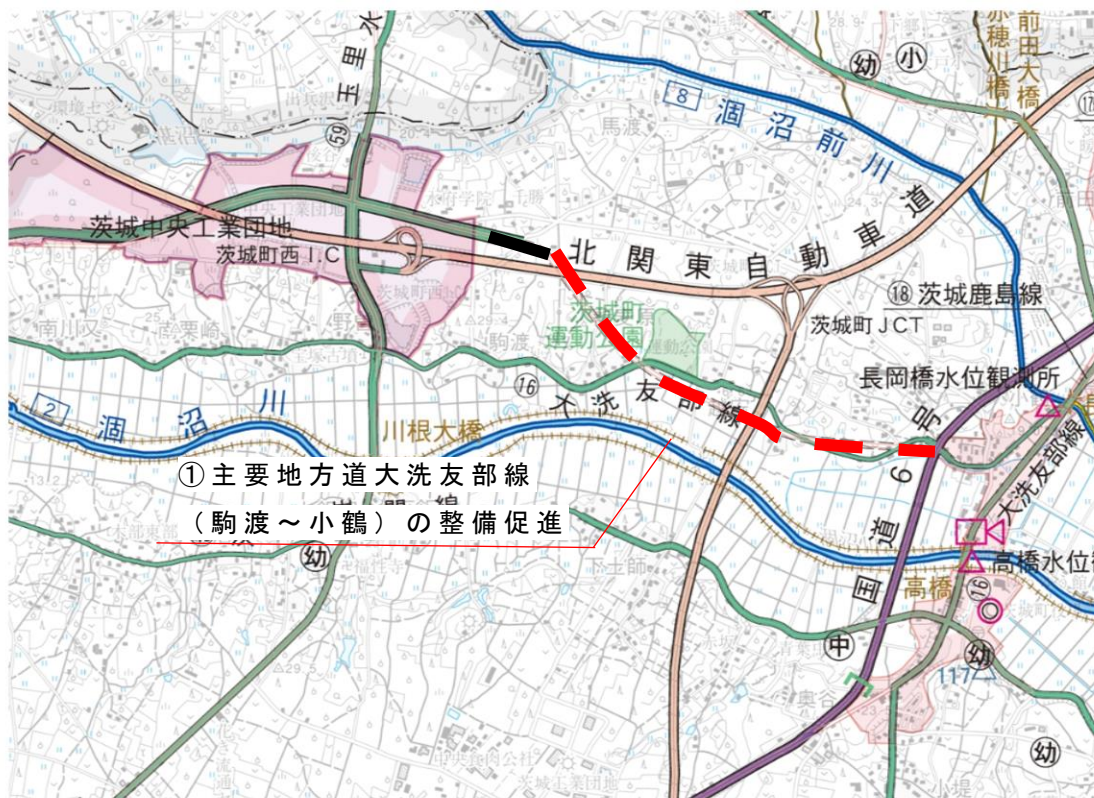
## 2 要望主旨

主要地方道大洗友部線は、旧友部町から当町を經由して、国道6号を結ぶ幹線道路であり、沿線住民の生活道路としてはもちろんのこと、茨城中央工業団地及び北関東自動車道（茨城町西IC）へのアクセス道路としても重要な役割を担っており、町の発展には欠かせない路線でございます。

しかしながら、当該路線は狭隘で屈曲箇所が多いことから、車両同士のすれ違いに支障をきたしております。また、歩道についても一部を除き未整備となっており、歩行者の安全確保が危惧されております。

このような中、現在精力的に用地買収及び改良工事が進められており、既に茨城中央工業団地区間が開通し、令和2年度には更に400mの区間（駒渡地内）が開通いたしました。全線開通に向け一層の整備促進を要望致します。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	茨城町
要望事項	主要地方道大洗友部線（駒渡～小鶴）の整備促進
現況	<p>本路線は、大洗町から国道6号を経由して、笠間市に至る県央部の東西方向の幹線道路である。現道は、未改良部分が多く、幅員が狭小で、大型車のすれ違いが困難であるなど、幹線道路としての機能を十分に発揮していない状況であることから、バイパス整備を実施している。</p> <p>また、本バイパス沿線には、茨城中央工業団地（H12分譲開始）が事業中であり、本バイパスの整備により、茨城町西IC、国道6号への連絡強化が図られ、企業立地の促進に寄与することが期待される。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b>            主要地方道 大洗友部線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箇所名：茨城町小鶴～笠間市仁古田</li> <li>・延長幅員：L=6,850m W=27.0m（4車線）</li> <li>・事業期間：平成7年度～</li> <li>・事業費：約105億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>H12：L=1,720m 供用            H15：L=1,140m 供用            H22：L= 860m 供用            R2：L= 400m 供用</p> <p>R3まで 事業費 8,503百万円（進捗率81%）            測量、設計、用地取得、道路改良工</p> <p>R4 事業費 993百万円（進捗率90%）            用地取得、道路改良舗装工</p> <p>R5 事業費 750百万円（進捗率98%）            用地取得、道路改良舗装工</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、用地取得、道路改良工事を進める。</li> <li>・茨城中央工業団地から茨城町運動公園までの約900m区間については、部分供用を目指し、早期整備を図る。</li> </ul>

# 要 望 書

大洗町長 國井 豊

## 1 要望事項

都市計画道路「吉沼磯浜線」の早期事業化

## 2 要望主旨

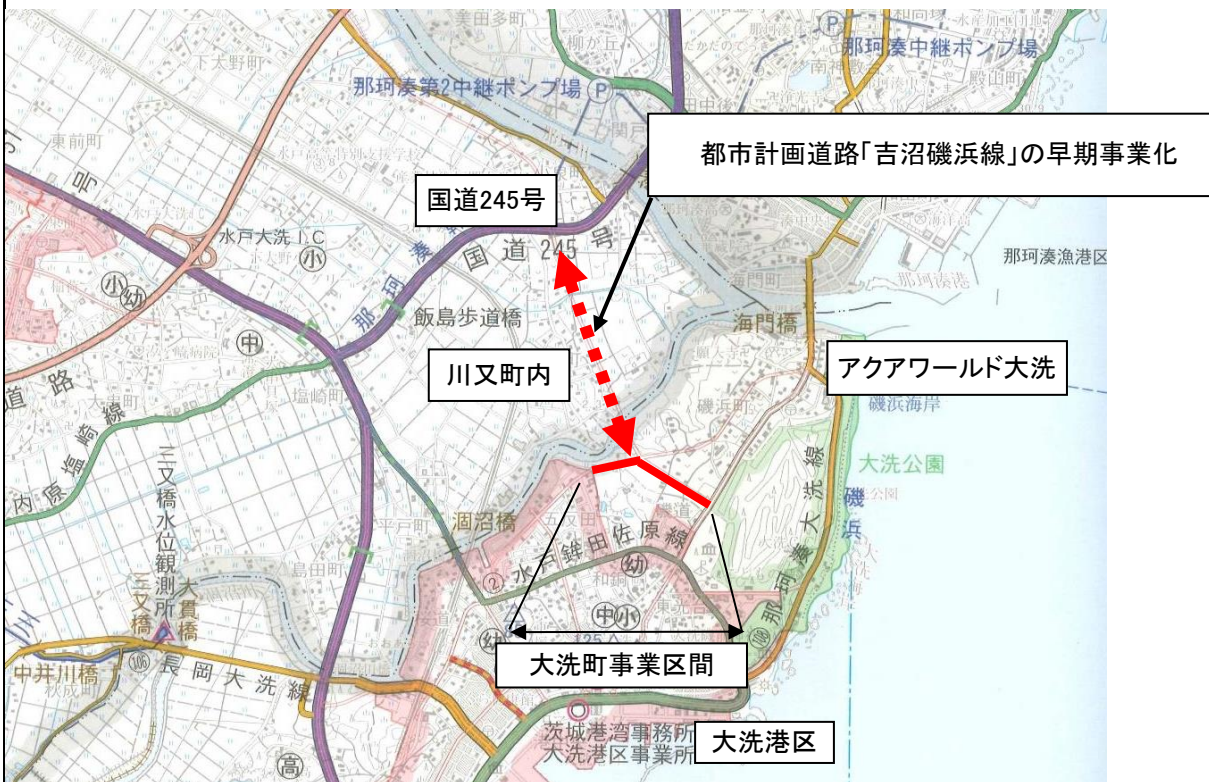
本町の道路事情は、北関東自動車道や東関東自動車道水戸線の整備により東京圏との結びつきが強化され、大洗サンビーチや大洗港周辺から、アクアワールド茨城県大洗水族館やひたちなか市の臨海部を周遊する来訪者が増加したことで慢性的な渋滞が発生し、特に週末などは町民の日常生活にも支障をきたすほどの混雑が生じております。

また、原子力研究開発施設が立地する地域特性から、観光客が集中した状況のなかでの原子力事故等を想定すると、緊急時の円滑な避難ルートを確認するための新しい広域アクセス道路が必要となっております。

過去には、東日本大震災において海門橋、湊沼橋が通行止めになった事例もあり、震災時に町の孤立を防ぐことに加え、対岸の水戸市川又町内からの円滑な高台避難の観点からも市町村の枠を超えた広域的な防災体制の確立が求められており、広域的な幹線道路ネットワークとしての機能を有した新たな道路の整備が急務であることから、令和3年度には町単独事業にて本路線の概略設計を実施し、具体的な道路構造及び概算事業費等の検討を行いました。

このようなことから、平常時のみならず緊急時における交通機能強化を図るため、新しいアクセス道路として、都市計画道路吉沼磯浜線(大洗町～国道245号)の早期事業化を要望します。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	大洗町
要望事項	都市計画道路「吉沼磯浜線」の早期事業化
現況	都市計画道路 吉沼磯浜線 ・箇所名：水戸市～大洗町 ・延長幅員：L=1,700m W=16m ※未着手
対応状況	H26～R5 大洗町から要望（未着手）
今後の対応・課題等	・整備主体や手法等について、市町と協議しながら検討していく。

# 要 望 書

城里町長 上遠野 修

## 1 要望事項

国道123号バイパス(那珂川大橋架替事業含む)の整備促進について

## 2 要望主旨

国道123号は、水戸市と栃木県宇都宮市を結ぶ広域幹線道路であり、本町を南北に縦断し、町の骨格を形成する道路であります。城里町坏地区から粟地区の区間につきましては、一部着工はしていますが国道123号との連絡道路が狭隘な危険箇所となっており更なる交通渋滞が予想されています。

平成22年2月より工事着手していただき、令和2年4月には優先整備区間が開通し、交通の支障となっていた手這坂や市街地の渋滞の解消が図られました。引き続き、危険箇所及び渋滞の解消のため本事業の一刻も早い完成が望まれていることから、本町の重要課題として国道123号バイパス(那珂川大橋架替事業含む)の整備促進を要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	城里町																
要望事項	国道123号バイパス(那珂川大橋架替事業含む)の整備促進																
現況	<p>本路線は、緊急輸送道路にも指定されており、通常時だけでなく緊急時にも地域の輸送等を支える道路である。</p> <p>那珂川大橋架替事業は、那珂川大橋の幅員狭小が解消されるとともに、災害時に代替路としての活用が図られる。また、桂常北バイパスは、手這坂の冬季交通困難の解消や城里市街地の交通混雑の緩和など、円滑な交通の確保が図られる。</p>																
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>①一般国道123号 那珂川大橋</td> <td>②一般国道123号 桂常北バイパス</td> </tr> <tr> <td>箇所名</td> <td>常陸大宮市野口～城里町御前山</td> <td>城里町粟～城里町石塚</td> </tr> <tr> <td>延長幅員</td> <td>L=800m W=12m (2車線)</td> <td>L=3,300m W=28m (暫定2車線)</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>R2年度～</td> <td>H12年度～</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約65億円</td> <td>約60億円</td> </tr> </table> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>① 一般国道123号那珂川大橋  R3まで 事業費 318百万円 (進捗率5%) 地質調査、設計、用地測量  R4 事業費 156百万円 (進捗率7%) 物件調査、用地測量  R5 事業費 100百万円 (進捗率9%) 用地取得</p> <p>② 一般国道123号桂常北バイパス  H26 : L=820m 供用  H27 : L=680m 供用  R2 : L=500m 供用  R3まで 事業費 4,480百万円 (進捗率75%)  調査、設計、用地取得、改良舗装工、橋梁工(城里高架橋)  R4 事業費 1百万円 (進捗率75%) 用地取得  R5 事業費 56百万円 (進捗率76%) 用地取得</p>		事業名	①一般国道123号 那珂川大橋	②一般国道123号 桂常北バイパス	箇所名	常陸大宮市野口～城里町御前山	城里町粟～城里町石塚	延長幅員	L=800m W=12m (2車線)	L=3,300m W=28m (暫定2車線)	事業期間	R2年度～	H12年度～	事業費	約65億円	約60億円
事業名	①一般国道123号 那珂川大橋	②一般国道123号 桂常北バイパス															
箇所名	常陸大宮市野口～城里町御前山	城里町粟～城里町石塚															
延長幅員	L=800m W=12m (2車線)	L=3,300m W=28m (暫定2車線)															
事業期間	R2年度～	H12年度～															
事業費	約65億円	約60億円															
今後の対応・課題等	<p>① 一般国道123号那珂川大橋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は、物件調査、用地取得を進める。</li> <li>・那珂川大橋の架け替えについて、常陸河川国道事務所と協議中。</li> </ul> <p>② 一般国道123号桂常北バイパス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・城里町市街地の交通支障箇所である、手這坂及びクランク型交差点を迂回するバイパス区間の2.0km区間が供用した。</li> <li>・引き続き残区間の用地取得を進める。</li> </ul>																

# 要 望 書

東海村長 山田 修

## 1 要望事項

「国道245号久慈大橋」の4車線化に向けた整備促進について

## 2 要望主旨

国道245号は、重要港湾である茨城港常陸那珂港区と日立港区を結ぶことから、広域的な産業経済の活性化に加え、災害時の区域避難や緊急輸送道路の役割を担う重要な路線であります。

現在、ひたちなか市から久慈大橋手前までの区間については、令和5年3月末に4車線化が完了しておりますが、久慈大橋の2車線区間を要因とした慢性的な交通渋滞が地域経済活動の停滞や日常生活に影響を及ぼしております。

また、老朽化した久慈大橋の架け替えにあわせ、下流側に4車線一体橋梁を新たに架設することから、引き続き、地元住民の理解を得ながら整備推進を図る必要がございます。

つきましては、国道245号久慈大橋の4車線化の早期完成に向け、整備促進を要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	東海村
要望事項	国道245号久慈大橋の4車線化に向けた整備促進
現況	<p>一般国道245号は、水戸市から日立市へ至る茨城県北部地域の沿岸部を南北に縦断する緊急輸送道路であることから、津波等の災害時には地域の復興道路として大変重要な路線である。</p> <p>久慈大橋は、個別補助を活用し、整備推進を図る。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b>            一般国道245号久慈大橋</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箇所名 : 東海村豊岡 ~ 日立市留町</li> <li>・延長幅員 : L=1,000m W=22m (4車線)</li> <li>・事業期間 : 令和元年度 ~</li> <li>・事業費 : 約100億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>R3まで 事業費 400百万円 (進捗率4%)            路線測量、地質調査、橋梁詳細設計、道路詳細設計、用地取得</p> <p>R4 事業費 14百万円 (進捗率4%) 用地取得</p> <p>R5 事業費 50百万円 (進捗率5%) 測量設計</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長約1.0kmについて、令和元年度に新規補助事業化。</li> <li>・令和5年度は、用地取得に向けた作業を進める。</li> </ul>



# 要 望 書

大子町長 高 梨 哲 彦

## 1 要望事項

一級河川久慈川の改修促進について

## 2 要望主旨

久慈川は、その水源を県内最高峰の八溝山に発する流域面積1,490k㎡を有する一級河川ですが、台風や集中豪雨の際には、久慈川の氾濫による浸水被害が度々発生しており、平成3年9月洪水を契機として、平成4年度から洪水防止のため全体計画5,500mの河川改修事業（築堤、護岸、河床掘削）に着手し、小久慈工区（550m）、北田気工区（830m）、大子工区（1,200m）の区間が平成21年度までに完成しております。

しかしながら、令和元年東日本台風の際には記録的な豪雨により、久慈川の河道流域の多くの地区に浸水被害が発生するとともに、久慈川に並行して走る国道118号や主要地方道大子那須線が冠水し、近年の激甚化する豪雨災害の被害が今後一層懸念されている状況であります。

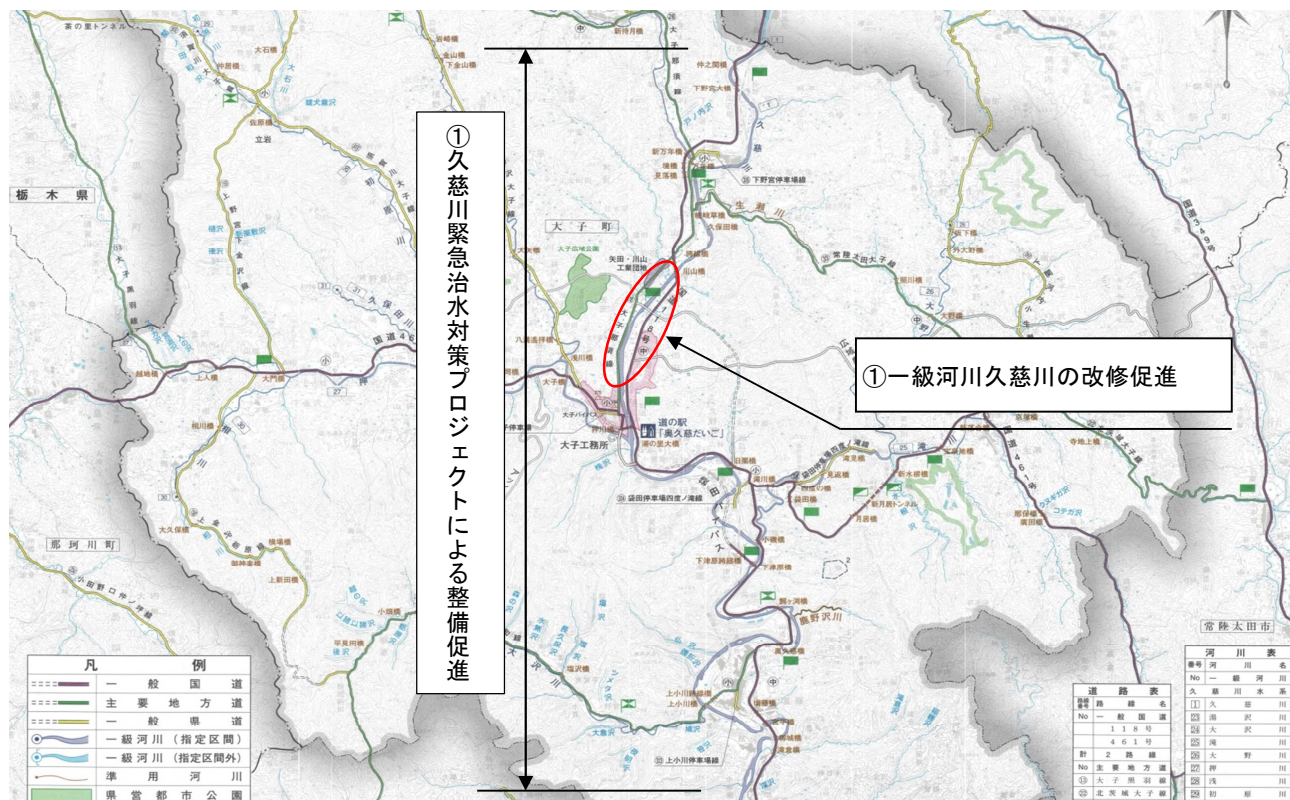
これらのことから、一級河川久慈川の河川改修事業の促進及び久慈川緊急治水対策プロジェクトによる早急な整備を要望いたします。

久慈川改修全体計画（北田気～川山）L=5,500m

要望箇所 矢田工区 L=2,370m

池田工区 L=1,400m

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	大子町									
要望事項	一級河川久慈川の改修促進									
現況	久慈川は、大子町池田地先の市道池田橋から同川山地先の国道118号川山橋までの2,500m区間について、河川改修を進めている。									
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業延長 : 2,500m (平成27年度着手)</li> <li>・全体事業費 : 2,920百万円</li> <li>・国においては、久慈川緊急治水対策プロジェクトとして、令和8年度までに県事業区間の上下流部の整備を行う計画である</li> </ul> <table border="0"> <tr> <td>R3年度まで : 工事、用地買収等</td> <td>事業費 1,700百万円</td> <td>進捗率 73.6%</td> </tr> <tr> <td>R4年度 : 工事、測量等 (R3補正含む)</td> <td>事業費 496百万円</td> <td>進捗率 84.1%</td> </tr> <tr> <td>R5年度 : 工事、測量等 (R4補正)</td> <td>事業費 260百万円</td> <td>進捗率 84.1%</td> </tr> </table> <p>(概略図)</p>	R3年度まで : 工事、用地買収等	事業費 1,700百万円	進捗率 73.6%	R4年度 : 工事、測量等 (R3補正含む)	事業費 496百万円	進捗率 84.1%	R5年度 : 工事、測量等 (R4補正)	事業費 260百万円	進捗率 84.1%
R3年度まで : 工事、用地買収等	事業費 1,700百万円	進捗率 73.6%								
R4年度 : 工事、測量等 (R3補正含む)	事業費 496百万円	進捗率 84.1%								
R5年度 : 工事、測量等 (R4補正)	事業費 260百万円	進捗率 84.1%								
今後の対応・課題等	・池田橋から上流区間について、順次、用地取得及び改修を進めていく。									

1. 要望事項

国道125号バイパスの整備（美浦村大谷地区）

2. 要望主旨

国道125号は、茨城県南部地域の産業・経済活動及び地域振興を支える広域的幹線道路であるとともに、住民の生活道路としても重要な役割を担っております。しかし、大谷地区につきましては、幅員狭小、線形不良区間による慢性的な渋滞、車両や歩行者通行の危険箇所が存在し、幹線道路に期待される機能が確保できていないという現状であります。茨城県により本路線の早期完成を目指し、整備を推進していただいております。平成30年度に宮地地区から大谷地区区間が開通したところです。改めて、美浦村大谷地区から稲敷市に至る区間の早期完成を要望いたします。

3. 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	美浦村
要望事項	国道125号バイパスの整備（美浦村大谷地区）
現況	<p>一般国道125号大谷BPは、災害時にも地域の輸送等を支える道路である。</p> <p>当該箇所の整備により、線形不良区間の迂回を図り、交通混雑の緩和及び安全で円滑な交通が確保されるとともに、緊急輸送道路に指定していることから、災害時における代替路としての活用が図られるため、早期に整備を行う必要がある。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <p>一般国道125号大谷バイパス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・箇所名： 稲敷市佐倉 ～ 美浦村大谷</li> <li>・延長幅員： L=2,600m W=25m（暫定2車線整備）</li> <li>・事業期間： 平成7年度 ～</li> <li>・事業費： 約71億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>H28：L=380m 供用  H30：L=580m 供用  R4：L=1,100m 供用  R3まで 事業費 6,476百万円（進捗率91%）  測量、設計、用地取得、埋蔵文化財調査、道路改良舗装工、  橋梁下部・上部工  R4 事業費 20百万円（進捗率92%）  道路改良舗装工  R5 事業費 16百万円（進捗率92%）  測量</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年3月に、村役場東交差点から東側の0.38kmを供用。</li> <li>・平成30年12月に、これに続く東側から大谷中央交差点までの0.58kmを供用。</li> <li>・令和4年11月に大谷中央交差点から（主）江戸崎新利根線交差点部までの1.1kmを供用。</li> <li>・令和5年度は、（主）江戸崎新利根線より東側の残る0.5kmの測量を実施し、早期供用開始を目指す。</li> </ul>

# 要 望 書

阿見町長 千葉 繁

## 1. 要望事項

主要地方道土浦竜ヶ崎線バイパス（都市計画道路阿見・小池線）の整備促進について

## 2. 要望主旨

主要地方道土浦竜ヶ崎線は、本町と隣接市を南北に結ぶ重要な路線であり、幅員が狭小であるにもかかわらず、朝夕の通勤時間帯には交通量が多いことから交通事故等の危険性が懸念されています。また、圏央道が全線開通し、現在進められている4車線化により更なる交通量の増加が予想されています。

主要地方道土浦竜ヶ崎線バイパスは、牛久市から圏央道牛久阿見ICにアクセスし、国道125号バイパスまで南北に結ぶ骨格となる道路であり、現在、圏央道牛久阿見ICから南側区間が供用開始されています。未整備区間である本町区間沿線のうち特に、荒川本郷地内において民間による住宅開発等の新市街地の形成が進められており、当該事業促進のためにも本バイパスの早期整備が期待されているところです。

つきましては、広域的な道路ネットワークの構築、安全性の確保、沿線で計画されている新市街地の整備促進の観点からも土浦竜ヶ崎線バイパスの特に、圏央道牛久阿見ICから荒川本郷区間の早急な整備を要望致します。

## 3. 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	阿見町
要望事項	主要地方道土浦竜ヶ崎線バイパス（都市計画道路阿見・小池線）の整備促進
現況	<p>本路線は、土浦市と龍ヶ崎市を結ぶ地域の幹線道路であり、暫定2車線で開通した首都圏中央連絡自動車道の牛久阿見ICへのアクセス道路でもある。</p> <p>圏央道の4車線化の整備により交通量の増加が見込まれることから、当該箇所の整備により交通の円滑化を図る。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b>            主要地方道土浦竜ヶ崎線            ・箇所名：阿見町実穀～牛久市結束町            ・延長幅員：L=5,350m W=30～25m（4車線）            ・事業期間：平成8年度～            ・事業費：約109億円</p> <p><b>【進捗状況】</b>            H18：牛久阿見IC～現道間 L=400m                国道408号～現道交差 L=1,420m 供用（完成4車線）            H20：牛久市道7号線～国道408号までのL=910mを供用（暫定2車線）            H21：現道～牛久市道7号線までのL=930mを供用（暫定2車線）            H30：土浦稲敷線～国道408号までのL=3,930mを補助事業化            R2：国道408号～現道までのL=1,840mを供用（完成4車線）</p> <p>R3まで 事業費 8,772百万円（進捗率80%）                用地取得、伐採工事、測量、設計、                用地取得、設計、道路改良舗装工事</p> <p>R4 事業費 574百万円（進捗率86%）                用地取得、測量、設計、道路改良舗装工事</p> <p>R5 事業費 298百万円（進捗率88%）                用地取得、測量、設計、道路改良舗装工事</p>
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏央道4車線化の整備進捗を見ながら整備を推進していく。</li> <li>・土浦稲敷線バイパスから圏央道牛久阿見ICまでのL=約1.2km区間について重点的に整備を進める。</li> <li>・国道125号から土浦稲敷線までの未着手区間については、事業中区間の進捗状況をふまえ検討していく。</li> </ul>

# 要 望 書

河内町長 野澤 良治

## 1. 要望事項

主要地方道取手東線生板バイパスの整備促進について  
(河内町生板地区：延長2,300m)

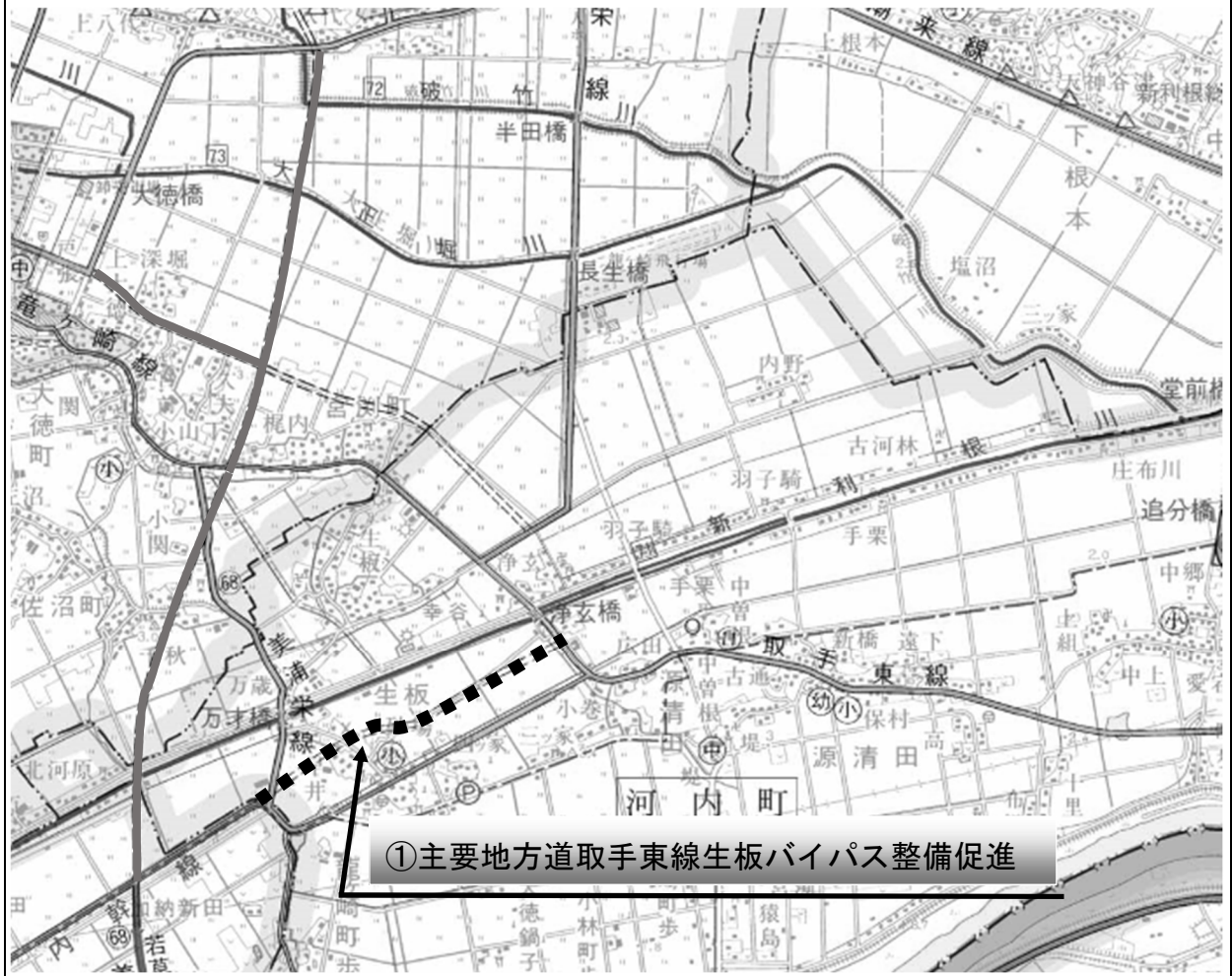
## 2. 要望主旨

当町を東西に横断する主要地方道取手東線は、言わば当町の背骨にあたります。この幹線道路の生板地区は幅員が狭く屈曲していることもあり、車等のすれ違いにも不便をきたしております。

また、若草大橋が開通し、美浦栄線バイパスの整備が進む中で、今後、益々アクセス道路として、交通需要の高まりが予想されます。

県におかれましては、平成25年度から工事着手して頂いているところですが、早期完成に向けた事業推進を要望いたします。

## 3. 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	河内町
要望事項	主要地方道取手東線生板バイパス整備促進
現況	主要地方道取手東線は、河内町を東西に横断する幹線道路だが、生板地区の現道は幅員が非常に狭く屈曲しており、人家連担であることからバイパス整備を実施している。
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 主要地方道取手東線</li> <li>・ 箇所名：河内町生板</li> <li>・ 延長幅員：L=2,300m W=10m (2車線)</li> <li>・ 事業期間：平成8年度～</li> <li>・ 事業費：約25億円</li> </ul> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>H23：美浦栄線現道との交差点部 L=280m を供用</p> <p>R3まで 事業費 1,873 百万円 (進捗率 75%) 地盤改良工、道路改良舗装工</p> <p>R4 事業費 355 百万円 (進捗率 89%) 地盤改良工、道路改良舗装工</p> <p>R5 事業費 151 百万円 (進捗率 95%) 地盤改良工、道路改良舗装工</p>
今後の対応・課題等	全線供用に向けて地盤改良を進めるとともに、完了した箇所から改良舗装工事に着手していく。



# 要 望 書

八千代町長 野 村 勇

## 1 要望事項

国道125号（下妻・八千代バイパス）の早期着工について

## 2 要望主旨

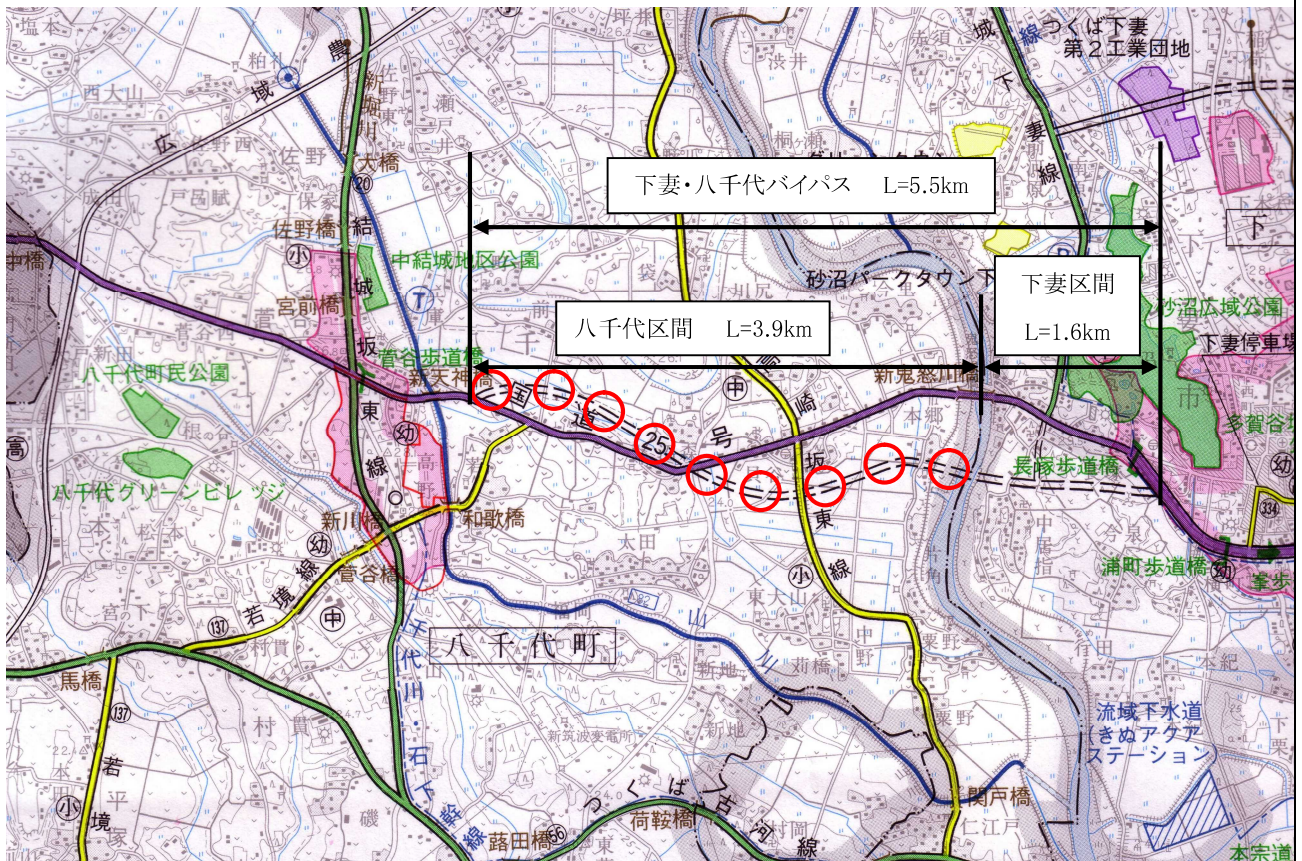
当町は総合計画に基づき、緑につつまれた快適な環境づくりを目指し、対話と協調を基本に町民総参加のまちづくりを推進しております。

交通体系の広域的状況が急速な変化を見せるなか、つくばエクスプレス、圏央道等へのアクセスを容易にする国道125号への幹線道路網の整備を推進しております。そのような中、国道125号の交通量は年々増加の一途をたどり、平成27年度交通量調査では一日当たり17,357台に達しております。なお、道路の幅員も狭く歩道の整備も十分でないため、交通安全対策上大変危険な箇所も多く見受けられます。

以上の状態を早期に解決すべく、国道125号について延長約5.5kmのバイパスの整備を推進するため、平成10年12月に都市計画決定しておりますが、20年以上経った現在でも、未だに工事着工には至っておりません。

つきましては、円滑な交通体系の整備に向けて、工事の早期着工を要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	八千代町
要望事項	国道125号（下妻・八千代バイパス）の早期着工
現況	<p>国道125号は、県南・県西地域を東西に結び、物流や観光などの地域の産業や、通勤通学など日常生活を支える重要な幹線道路である。下妻市内及び八千代町内の市街地では交通量が多く、通勤時間帯をはじめ慢性的な渋滞が発生している状況であり、関連事業2箇所の改良事業と併せ、下妻・八千代バイパスの着手に向けた調査を進めている。</p>
対応状況	<p><b>【概要】</b>            一般国道125号下妻八千代バイパス            ・箇所名：下妻市長塚 ～ 八千代町菅谷<sup>すげのや</sup>            ・延長幅員：L=5,500m W=26m（4車線）            ・事業期間：未着手</p> <p><b>【進捗状況】</b>            R3まで 事業費134百万円（県単基礎調査、県単道工調等）            地形図作成、地質調査、中心線測量、予備設計、橋梁予備設計、交通量調査</p> <p>※県西農林事務所と下妻市今泉地区 畑地帯総合整備事業との事業調整協議            R4 事業費 0百万円</p> <p>※県西農林事務所と下妻市今泉地区 畑地帯総合整備事業との事業調整協議            R5 事業費 0百万円</p> <p>※県西農林事務所と下妻市今泉地区 畑地帯総合整備事業との事業調整協議</p>
今後の対応・課題等	<p>・本バイパスは、鬼怒川を渡河する橋梁の整備など事業費が多額となり、整備期間も長期にわたることが想定されることから、当面の渋滞対策として、現道の貝谷交差点及び砂沼公園入口交差点の改良事業を実施した。</p> <p>・貝谷交差点については令和元年9月、砂沼公園入口交差点は令和3年3月にそれぞれ整備が完了したところであり、引き続き、本バイパスの着手に向けて、関係機関との協議調整を進める。</p>

# 要 望 書

五霞町長 知久清志

## 1 要望事項

一般県道西関宿栗橋線の歩道整備について（五霞町大字小福田字西谷地内）

## 2 要望主旨

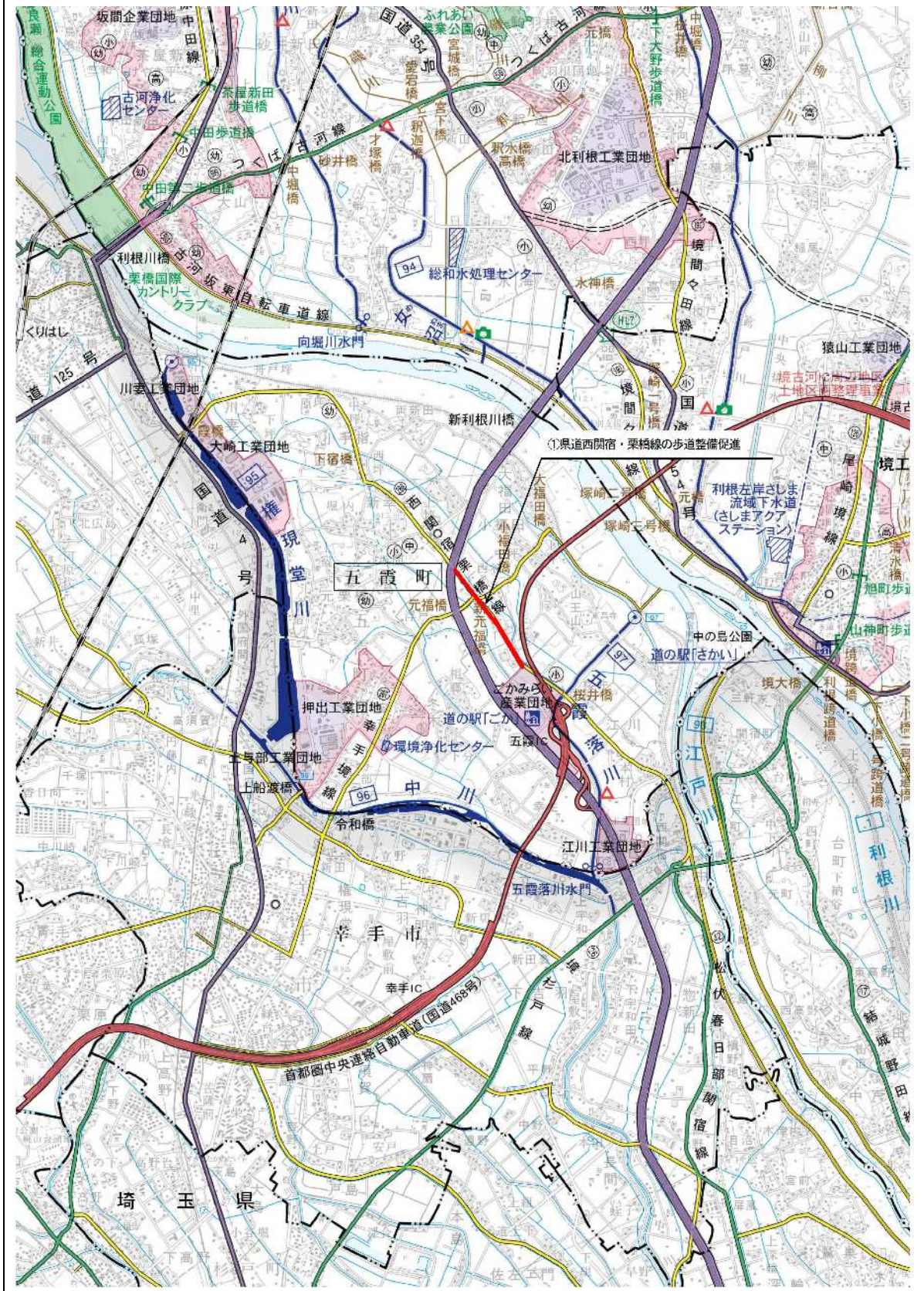
一般県道西関宿栗橋線は、県道杉戸境線（埼玉県幸手市）から国道4号（埼玉県久喜市）までを結ぶ主要な幹線道路であり、路線の大部分が五霞町内の中心部に位置しており、通勤通学に多く利用される重要な路線であります。

本路線は、新4号国道の五霞交差点から埼玉県久喜市の霞橋までの約4km区間については両側に歩道が整備されておりますが、残りの区間の大部分が片側歩道、もしくは歩道が未整備の状態であったことから、特に歩道が未整備であった小福田地内について、歩道整備を要望させていただき、令和5年度には片側歩道が完了予定となっております。

本路線は、五霞交差点から都市計画道路江川・幸主線の交差点までについて平成30年2月に大型車両通行規制の一部解除を行ったことや、ごかみらい産業団地の竣工に伴い、大型車の通過も多くなっており、通学する児童・生徒が危険な状況となっております。

つきましては、両側に歩道を整備することについてご検討いただきたく、交通の利便性の向上と歩行者等の安全性の確保の観点から、本路線のより一層の整備促進を要望する次第であります。

### 3 位置図



## 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路維持課

市町村	五霞町
要望事項	一般県道西関宿栗橋線の歩道整備
現況	本路線は、埼玉県幸手市西関宿を起点に、埼玉県久喜市栗橋の国道4号に至る一般県道で、新4号国道が交差しているところから大型車の流入も多い路線である。当該箇所は、通学路に指定されているが、歩道がなく、通学児童と車両との事故の恐れがある。
対応状況	<p>全体計画 延長幅員：L=320m W=2.5m          事業期間：平成29年度～          事業費：111百万円</p> <p>R3まで 事業費60百万円（進捗率54%）          権利者調査、測量設計、用地測量、用地補償、工事</p> <p>R4 事業費6百万円（進捗率60%）          用地補償</p> <p>R5 事業費45百万円（進捗率100%）          工事</p>
今後の対応・課題等	引き続き、事業進捗を図っていく。

# 要 望 書

境町長 橋本正裕

## 1 要望事項

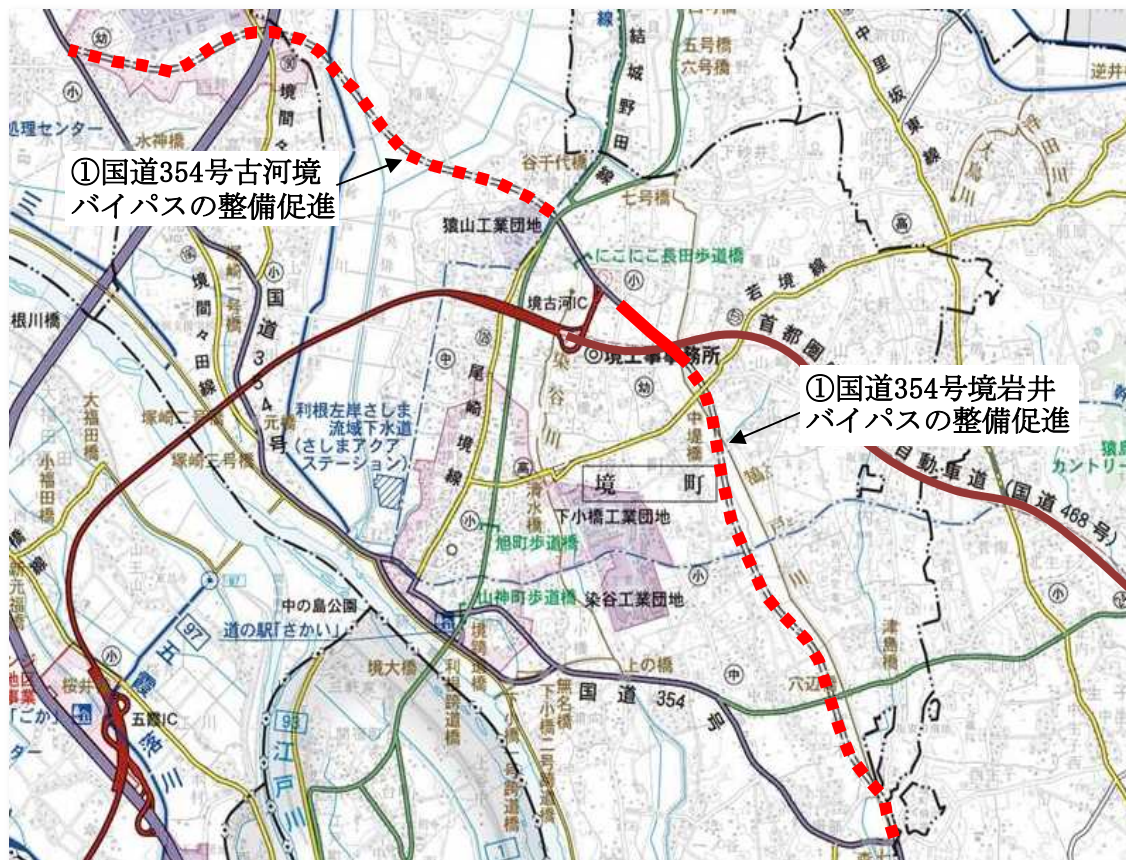
国道354号「境岩井バイパス」及び「古河境バイパス」の整備促進

## 2 要望主旨

国道354号は連帯機能や交通機能・連結機能を有すると同時に、災害時における第一次緊急輸送道路に指定され、バイパスが整備されることにより、極めて重要な役割を果たす広域幹線道路であります。

当地域は、中核的都市である古河市・つくば市等との広域連携を図ることが、各地域の産業活力を高め、地域経済の担い手である企業の活性化、人の交流の活性化など地域集積圏の拡大等に繋がるものであり、先に開通されました首都圏中央連絡自動車道の五霞インターチェンジや境古河インターチェンジ、坂東インターチェンジと、地方都市間を結ぶ、地域高規格道路であります新4号国道との公益交通網を図ることが、極めて大きな効果が期待されることから、本路線の「境岩井バイパス」及び「古河境バイパス」の整備促進をご要望いたします。

## 3 位置図



# 市町村要望に関する対応状況

担当課 道路建設課

市町村	境町																
要望事項	国道354号境岩井バイパス及び古河境バイパスの整備促進																
現況	<p>境岩井バイパスは、現在整備中の圏央道境古河ICに接続し、物流の効率化や交通混雑の緩和に資する道路である。古河境バイパスは、現在整備中の茨城西部・宇都宮広域連絡道路（新4号国道）の（仮称）高野ICに接続し、北利根工業団地と圏央道を結ぶ道路である。古河・境地域においては、新4号国道や圏央道の整備に合わせ開発が進んでおり、今後も更に工場の立地及び交通需要が見込まれることから、バイパスの整備により、物流の効率化や交通の分散による渋滞の緩和を早期に発現させる必要がある。</p>																
対応状況	<p><b>【概要】</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td>①一般国道354号 境岩井バイパス</td> <td>②一般国道354号 古河境バイパス</td> </tr> <tr> <td>箇所名</td> <td>境町猿山～坂東市生子</td> <td>古河市高野～境町猿山</td> </tr> <tr> <td>延長幅員</td> <td>L=6,300m W=25m（4車線） （暫定2車線整備）</td> <td>L=3,200m W=25m（4車線） （暫定2車線整備）</td> </tr> <tr> <td>事業期間</td> <td>H13年度～</td> <td>H30年度～</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>約110億円</td> <td>約70億円</td> </tr> </table> <p><b>【進捗状況】</b></p> <p>①一般国道354号 境岩井バイパス  H26：L=940m 供用  R2：L=800m 供用  R3まで 事業費 8,916百万円（進捗率81%）  路線測量、道路詳細設計、用地測量、用地取得、道路改良舗装工事  R4 事業費 687百万円（進捗率87%） 用地取得、道路改良舗装工事  R5 事業費 871百万円（進捗率95%） 道路改良舗装工事</p> <p>②一般国道354号 古河境バイパス  R3まで 事業費 996百万円（進捗率14%）  道路詳細設計、橋梁詳細設計、用地測量、地質調査  R4 事業費 361百万円（進捗率19%）  用地取得、道路改良工事  R5 事業費 195百万円（進捗率22%）  設計、用地取得</p>		事業名	①一般国道354号 境岩井バイパス	②一般国道354号 古河境バイパス	箇所名	境町猿山～坂東市生子	古河市高野～境町猿山	延長幅員	L=6,300m W=25m（4車線） （暫定2車線整備）	L=3,200m W=25m（4車線） （暫定2車線整備）	事業期間	H13年度～	H30年度～	事業費	約110億円	約70億円
事業名	①一般国道354号 境岩井バイパス	②一般国道354号 古河境バイパス															
箇所名	境町猿山～坂東市生子	古河市高野～境町猿山															
延長幅員	L=6,300m W=25m（4車線） （暫定2車線整備）	L=3,200m W=25m（4車線） （暫定2車線整備）															
事業期間	H13年度～	H30年度～															
事業費	約110億円	約70億円															
今後の対応・課題等	<p>①一般国道354号 境岩井バイパス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでに県道結城野田線から町道までの約1.7kmを供用済み。</li> <li>・令和5年度は、残る区間の道路改良舗装工事を進める。</li> </ul> <p>②一般国道354号 古河境バイパス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は、設計、用地取得を進める。</li> </ul>																

# 要 望 書

利根町長 佐々木 喜章

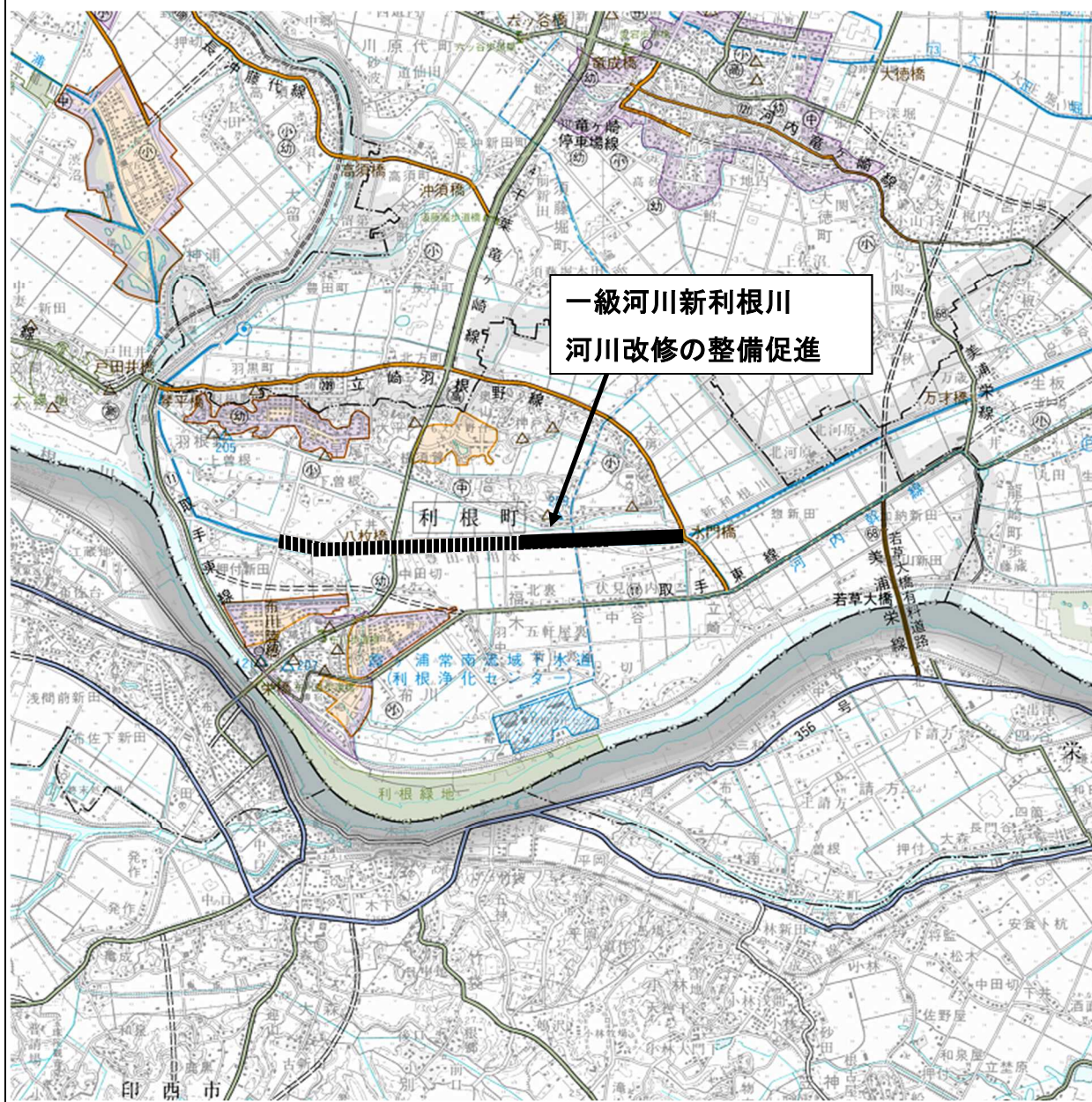
## 1. 要望事項

一級河川新利根川河川改修の整備促進

## 2. 要望主旨

利根町の中央部を東西に横断している新利根川は、町民にとって憩いの原風景であり生活に密接した河川です。しかし現在のところ、大雨による住宅等の冠水被害が発生するなど、住環境及び都市機能が低下している状況にあります。地域住民から排水機能、調節池機能の改善が強く求められております。県におかれましては、継続事業として河道改修工事等が実施されましたが、依然被害が解消されておられませんので、雨水排水の流末である新利根川河川改修及び調節池機能の強化についての早期整備を要望いたします。

## 3. 位置図





# 市町村要望に関する対応状況

担当課 河川課

市町村	利根町
要望事項	一級河川新利根川河川改修の整備促進
現況	新利根川は、霞ヶ浦河口から河内町砂場地先の県道美浦栄線万才橋までの 23,000m 区間の河川改修と、県道立崎羽根野線水門橋から市道学校橋までの 4,000m 区間の調節池整備を進めている。
対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業延長 : 27,000m (昭和 56 年度着手)</li> <li>・全体事業費 : 13,442 百万円 (うち調節池部 2,400 百万円)</li> <li>・平成 5 年度に利根町の市街化に対処するため調節池 (4.0km) の整備に着手</li> <li>・令和 2 年度末までに、下流部 (L=23km) は流下能力の 70~80% を確保。上流部は調節池の 1 池整備完了、2 池暫定整備完了。</li> </ul> <p>R 3 年度まで : 工事、用地買収、調査等 事業費 3,664 百万円 進捗率 27.3%</p> <p>R 4 年度 : 設計 (R3 補正) 事業費 0 百万円 進捗率 27.3%</p> <p>R 5 年度 : 設計 (R4 補正) 事業費 10 百万円 進捗率 27.3%</p> <p>(概略図)</p> 
今後の対応・課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調節池の 1 池と 2 池を繋ぐ河道について、家屋移転等の用地補償を進めるとともに、早期に治水効果を発現するため、暫定的な河道整備を進めていく。</li> </ul>